

# 令和4年度 病院事業決算状況

## 都道府県名 北海道

## 総務省

### - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
-	江差病院	3	苫小牧市	苫小牧市立病院	21	木古内町	国保病院	39
-	羽幌病院	4	稚内市	稚内病院	22	森町	国保病院	40
-	緑ヶ丘病院	5	稚内市	稚内こまどり病院	23	八雲町	八雲総合病院	41
-	向陽ヶ丘病院	6	美唄市	市立美唄病院	24	八雲町	八雲町熊石国民健康保険病院	42
-	北見病院	7	芦別市	芦別病院	25	長万部町	町立病院	43
-	子ども総合医療・療育センタ ー	8	江別市	市立病院	26	厚沢部町	国保病院	44
札幌市	札幌病院	9	赤平市	あかびら市立病院	27	乙部町	国保病院	45
函館市	市立函館病院	10	士別市	士別市立病院	28	奥尻町	国保病院	46
函館市	市立函館恵山病院	11	名寄市	総合病院	29	今金町	国保病院	47
函館市	市立函館南茅部病院	12	名寄市	名寄東病院	30	せたな町	せたな町立国保病院（病院事業分）	48
小樽市	小樽病院	13	三笠市	三笠総合病院	31	黒松内町	黒松内町国民健康保険病院	49
旭川市	市立旭川病院	14	根室市	根室病院	32	南幌町	国保町立病院	50
室蘭市	総合病院	15	千歳市	千歳市民病院	33	奈井江町	奈井江町立国民健康保険病院	51
釧路市	市立釧路総合病院	16	滝川市	市立病院	34	由仁町	町立病院	52
北見市	北見市国民健康保険常呂病院	17	砂川市	市立病院	35	長沼町	町立長沼病院	53
岩見沢市	総合病院	18	歌志内市	市立病院	36	月形町	国保月形町立病院	54
岩見沢市	栗沢病院	19	深川市	市立病院	37	美瑛町	町立病院	55
留萌市	市立病院	20	松前町	松前病院	38	上富良野町	上富良野町立病院	56

# 令和4年度 病院事業決算状況

都道府県名 北海道

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ				
中富良野町	町立病院	57	日高町	門別国保病院	75	利尻島国民健康保険病院 組合 利尻島国保中央病院
和寒町	国保町立和寒病院	58	平取町	国保病院	76	
下川町	下川病院	59	新ひだか町	新ひだか町立静内病院	77	
遠別町	遠別町立国保病院	60	新ひだか町	新ひだか町立三石国民健康保 険病院	78	
天塩町	国保病院	61	土幌町	国保病院	79	
猿払村	国保病院	62	鹿追町	国保病院	80	
浜頓別町	国保病院	63	芽室町	国保芽室病院	81	
中頓別町	国保病院	64	大樹町	国保病院	82	
枝幸町	枝幸町国民健康保険病院	65	広尾町	広尾町国民健康保険病院	83	
豊富町	豊富町国民健康保険病院	66	池田町	十勝いけだ地域医療センター	84	
美幌町	国保病院	67	本別町	国保病院	85	
斜里町	斜里町国民健康保険病院	68	足寄町	国保病院	86	
滝上町	国保病院	69	厚岸町	厚岸病院	87	
興部町	国保病院	70	標茶町	町立病院	88	
雄武町	国保病院	71	別海町	別海病院	89	
豊浦町	国保病院	72	中標津町	中標津病院	90	
白老町	国保病院	73	標津町	標津町国民健康保険標津病院	91	
むかわ町	むかわ町鶴川厚生病院	74	広域紋別病院企業団	広域紋別病院	92	

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名			
病院名	江差病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	12,101 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	146	24.8	24.1	24.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	48	6.2	9.1	11.3
感染症	4	3.8	-	-
計	198	19.9	20.0	20.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	15.1	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,058,479,552	
標準財政規模(千円)	1,358,763,320	
財政力指数	0.44422	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.9
	将来負担比率(%)	311.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,521,305			
1 経常収益	3,520,927			
(1) 医業収益	1,497,235			
(うち修正医業収益)	1,345,482			
入院収益	588,824			
外来収益	702,396			
診療収入計	1,291,220			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	206,015			
(うち他会計負担金)	151,753			
(2) 医業外収益	2,023,692			
(うち国・都道府県補助金)	1,101,350			
(うち他会計補助・負担金)	749,821			
(うち長期前受金戻入)	169,095			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	378			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,259,008			
2 経常費用	3,255,744			
(1) 医業費用	3,044,277			
職員給与費	1,702,904	113.7	59.4	67.0
材料費	289,806	19.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	98,795	6.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	191,011	12.8	11.8	9.4
減価償却費	208,178	13.9	8.7	10.2
経費	839,117	56.0	22.1	28.8
(うち委託料)	370,286	24.7	11.7	13.2
研究研修費	3,358			
資産減耗費	914			
(2) 医業外費用	211,467			
(うち支払利息)	102,775	6.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	3,264			
損益	265,183			
純損益	262,297			
累積欠損金	16,955,875			
経常収支比率	108.1		103.3	104.5
医業収支比率	49.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	44.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	25.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	60.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	25.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	80.5		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,131,409
1 固定資産	18,294,616
(1) 有形固定資産	17,338,171
(2) 無形固定資産	4,734
(3) 投資その他の資産	951,711
2 流動資産	2,836,793
(1) 現金及び預金	761,407
(2) 未収金及び未収収益	2,020,254
(3) 貸倒引当金( )	16,289
(4) 貯蔵品	51,177
3 繰延資産	-
負債合計	73,934,463
1 固定負債	56,625,668
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,529,577
(2) その他の企業債	212,798
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,623,005
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	4,370,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,687,631
(2) その他の企業債	20,285
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	566,903
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,020,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,938,240
(1) 長期前受金	41,112,795
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,174,555
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,803,054
1 資本	1,088,480
2 剰余金	-53,891,534
(1) 資本剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,552,162
負債・資本合計	21,131,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,803,054
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,864,814
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	642,934	901,574
資本勘定繰入	270,983	270,983
計	913,917	1,172,557

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	755.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	58,929
地財法上の資金不足比率(%)	0.8

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 羽幌病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,702 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	120	19.8	22.7	20.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	19.8	22.7	20.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	14.2	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,058,479,552	
標準財政規模(千円)	1,358,763,320	
財政力指数	0.44422	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.9
	将来負担比率(%)	311.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,842,565			
1 経常収益	1,842,366			
(1) 医業収益	880,707			
(うち修正医業収益)	743,904			
入院収益	288,347			
外来収益	420,803			
診療収入計	709,150			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	171,557			
(うち他会計負担金)	136,803			
(2) 医業外収益	961,659			
(うち国・都道府県補助金)	81,447			
(うち他会計補助・負担金)	769,633			
(うち長期前受金戻入)	108,612			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	199			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,837,997			
2 経常費用	1,825,863			
(1) 医業費用	1,680,084			
職員給与費	915,822	104.0	59.4	67.0
材料費	153,835	17.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	67,792	7.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,043	9.8	11.8	9.4
減価償却費	131,427	14.9	8.7	10.2
経費	473,634	53.8	22.1	28.8
(うち委託料)	164,302	18.7	11.7	13.2
研究研修費	2,737			
資産減耗費	2,629			
(2) 医業外費用	145,779			
(うち支払利息)	87,043	9.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	12,134			
損益	16,503			
純損益	4,568			
累積欠損金	15,432,694			
経常収支比率	100.9		103.3	104.5
医業収支比率	52.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	44.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	49.2		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	102.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	49.2		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	51.3		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,131,409
1 固定資産	18,294,616
(1) 有形固定資産	17,338,171
(2) 無形固定資産	4,734
(3) 投資その他の資産	951,711
2 流動資産	2,836,793
(1) 現金及び預金	761,407
(2) 未収金及び未収収益	2,020,254
(3) 貸倒引当金( )	16,289
(4) 貯蔵品	51,177
3 繰延資産	-
負債合計	73,934,463
1 固定負債	56,625,668
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,529,577
(2) その他の企業債	212,798
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,623,005
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,370,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,687,631
(2) その他の企業債	20,285
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	566,903
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,020,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,938,240
(1) 長期前受金	41,112,795
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,174,555
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,803,054
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,891,534
(1) 資本剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,552,162
負債・資本合計	21,131,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,803,054
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,864,814
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	751,218	906,436
資本勘定繰入	148,096	148,096
計	899,314	1,054,532

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	755.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	58,929
地財法上の資金不足比率(%)	0.8

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 緑ヶ丘病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,670 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	168	27.8	28.4	32.1
感染症	-	-	-	-
計	168	27.8	28.4	32.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,058,479,552	
標準財政規模(千円)	1,358,763,320	
財政力指数	0.44422	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.9
	将来負担比率(%)	311.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,579,264			
1 経常収益	1,576,865			
(1) 医業収益	744,965			
(うち修正医業収益)	720,205			
入院収益	432,054			
外来収益	273,400			
診療収入計	705,454			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	39,511			
(うち他会計負担金)	24,760			
(2) 医業外収益	831,900			
(うち国・都道府県補助金)	7,177			
(うち他会計補助・負担金)	720,732			
(うち長期前受金戻入)	103,722			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,399			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,848,580			
2 経常費用	1,846,442			
(1) 医業費用	1,760,831			
職員給与費	1,195,621	160.5	59.4	105.1
材料費	62,081	8.3	26.1	9.8
(うち薬品費)	44,914	6.0	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,167	2.3	11.8	1.6
減価償却費	131,157	17.6	8.7	12.8
経費	368,012	49.4	22.1	35.3
(うち委託料)	237,162	31.8	11.7	17.0
研究研修費	1,942			
資産減耗費	2,018			
(2) 医業外費用	85,611			
(うち支払利息)	37,922	5.1	1.0	2.4
(3) 特別損失	2,138			
経常損益	-269,577			
純損益	-269,316			
累積欠損金	14,407,243			
経常収支比率	85.4		103.3	101.8
医業収支比率	42.3		85.5	61.1
修正医業収支比率	40.9		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	47.3		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	100.1		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	47.2		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	45.0		91.9	68.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,131,409
1 固定資産	18,294,616
(1) 有形固定資産	17,338,171
(2) 無形固定資産	4,734
(3) 投資その他の資産	951,711
2 流動資産	2,836,793
(1) 現金及び預金	761,407
(2) 未収金及び未収収益	2,020,254
(3) 貸倒引当金( )	16,289
(4) 貯蔵品	51,177
3 繰延資産	-
負債合計	73,934,463
1 固定負債	56,625,668
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,529,577
(2) その他の企業債	212,798
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,623,005
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,370,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,687,631
(2) その他の企業債	20,285
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	566,903
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,020,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,938,240
(1) 長期前受金	41,112,795
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,174,555
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,803,054
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,891,534
(1) 資本剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,552,162
負債・資本合計	21,131,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,803,054
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,864,814
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	620,064	745,492
資本勘定繰入	35,638	35,638
計	655,702	781,130

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	755.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	58,929
地財法上の資金不足比率(%)	0.8

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名			
病院名	向陽ヶ丘病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,074 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	1	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	105	45.6	59.2	57.7
感染症	-	-	-	-
計	105	45.6	59.2	57.7
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,058,479,552	
標準財政規模(千円)	1,358,763,320	
財政力指数	0.44422	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.9
	将来負担比率(%)	311.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,183,348			
1 経常収益	1,182,502			
(1) 医業収益	533,726			
(うち修正医業収益)	508,966			
入院収益	282,864			
外来収益	215,713			
診療収入計	498,577			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	35,149			
(うち他会計負担金)	24,760			
(2) 医業外収益	648,776			
(うち国・都道府県補助金)	7,028			
(うち他会計補助・負担金)	538,135			
(うち長期前受金戻入)	103,255			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	846			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,516,629			
2 経常費用	1,515,847			
(1) 医業費用	1,428,756			
職員給与費	857,340	160.6	59.4	105.1
材料費	63,123	11.8	26.1	9.8
(うち薬品費)	45,331	8.5	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,792	3.3	11.8	1.6
減価償却費	174,402	32.7	8.7	12.8
経費	330,458	61.9	22.1	35.3
(うち委託料)	236,910	44.4	11.7	17.0
研究研修費	2,940			
資産減耗費	493			
(2) 医業外費用	87,091			
(うち支払利息)	35,520	6.7	1.0	2.4
(3) 特別損失	782			
経常損益	-333,345			
純損益	-333,281			
累積欠損金	8,986,657			
経常収支比率	78.0		103.3	101.8
医業収支比率	37.4		85.5	61.1
修正医業収支比率	35.6		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	47.6		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	105.5		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	47.6		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	40.9		91.9	68.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,131,409
1 固定資産	18,294,616
(1) 有形固定資産	17,338,171
(2) 無形固定資産	4,734
(3) 投資その他の資産	951,711
2 流動資産	2,836,793
(1) 現金及び預金	761,407
(2) 未収金及び未収収益	2,020,254
(3) 貸倒引当金( )	16,289
(4) 貯蔵品	51,177
3 繰延資産	-
負債合計	73,934,463
1 固定負債	56,625,668
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,529,577
(2) その他の企業債	212,798
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,623,005
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,370,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,687,631
(2) その他の企業債	20,285
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	566,903
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,020,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,938,240
(1) 長期前受金	41,112,795
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,174,555
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,803,054
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,891,534
(1) 資本剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,552,162
負債・資本合計	21,131,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,803,054
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,864,814
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	438,780	562,895
資本勘定繰入	82,655	82,655
計	521,435	645,550

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	755.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	58,929
地財法上の資金不足比率(%)	0.8

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病院名 北見病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,378 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	70	41.7	49.6	49.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	41.7	49.6	49.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,058,479,552	
標準財政規模(千円)	1,358,763,320	
財政力指数	0.44422	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.9
	将来負担比率(%)	311.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	370,586			
1 経常収益	370,586			
(1) 医業収益	24,938			
(うち修正医業収益)	178			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	24,938			
(うち他会計負担金)	24,760			
(2) 医業外収益	345,648			
(うち国・都道府県補助金)	36,000			
(うち他会計補助・負担金)	165,822			
(うち長期前受金戻入)	143,826			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	370,851			
2 経常費用	370,851			
(1) 医業費用	307,368			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	208,978	838.0	8.7	11.5
経費	93,101	373.3	22.1	32.6
(うち委託料)	48,569	194.8	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	5,289			
(2) 医業外費用	63,483			
(うち支払利息)	27,152	108.9	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-265			
純損益	-265			
累積欠損金	2,725,532			
経常収支比率	99.9		103.3	101.5
医業収支比率	8.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	0.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	51.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	764.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	51.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	48.5		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,131,409
1 固定資産	18,294,616
(1) 有形固定資産	17,338,171
(2) 無形固定資産	4,734
(3) 投資その他の資産	951,711
2 流動資産	2,836,793
(1) 現金及び預金	761,407
(2) 未収金及び未収収益	2,020,254
(3) 貸倒引当金( )	16,289
(4) 貯蔵品	51,177
3 繰延資産	-
負債合計	73,934,463
1 固定負債	56,625,668
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,529,577
(2) その他の企業債	212,798
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,623,005
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,370,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,687,631
(2) その他の企業債	20,285
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	566,903
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,020,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,938,240
(1) 長期前受金	41,112,795
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,174,555
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,803,054
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,891,534
(1) 資本剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,552,162
負債・資本合計	21,131,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,803,054
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,864,814
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	170,833	190,582
資本勘定繰入	97,014	127,354
計	267,847	317,936

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	755.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	58,929
地財法上の資金不足比率(%)	0.8

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名					
病 院 名  子ども総合医療・療育センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,116 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	215	53.1	52.5	53.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	215	53.1	52.5	53.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	16.9	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,224,614	
決算規模(千円)	3,058,479,552	
標準財政規模(千円)	1,358,763,320	
財政力指数	0.44422	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.9
	将来負担比率(%)	311.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,888,218			
1 経常収益	6,878,903			
(1) 医業収益	3,540,007			
(うち修正医業収益)	2,692,972			
入院収益	2,050,859			
外来収益	613,657			
診療収入計	2,664,516			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	875,491			
(うち他会計負担金)	847,035			
(2) 医業外収益	3,338,896			
(うち国・都道府県補助金)	113,808			
(うち他会計補助・負担金)	2,074,527			
(うち長期前受金戻入)	459,369			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,315			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,888,218			
2 経常費用	6,866,172			
(1) 医業費用	4,793,349			
職員給与費	3,052,047	86.2	59.4	63.7
材料費	707,620	20.0	26.1	21.0
(うち薬品費)	225,718	6.4	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	481,902	13.6	11.8	10.1
減価償却費	290,494	8.2	8.7	9.7
経費	729,062	20.6	22.1	28.9
(うち委託料)	350,444	9.9	11.7	13.6
研究研修費	10,156			
資産減耗費	3,970			
(2) 医業外費用	2,072,823			
(うち支払利息)	109,848	3.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	22,046			
損益	12,731			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		103.3	101.8
医業収支比率	73.9		85.5	80.8
修正医業収支比率	56.2		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	42.5		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	82.5		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	42.4		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	57.6		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,131,409
1 固定資産	18,294,616
(1) 有形固定資産	17,338,171
(2) 無形固定資産	4,734
(3) 投資その他の資産	951,711
2 流動資産	2,836,793
(1) 現金及び預金	761,407
(2) 未収金及び未収収益	2,020,254
(3) 貸倒引当金( )	16,289
(4) 貯蔵品	51,177
3 繰延資産	-
負債合計	73,934,463
1 固定負債	56,625,668
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,529,577
(2) その他の企業債	212,798
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,748
(6) 引当金	3,623,005
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,370,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,687,631
(2) その他の企業債	20,285
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	566,903
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,020,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,938,240
(1) 長期前受金	41,112,795
(2) 長期前受金収益化累計額( )	28,174,555
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-52,803,054
1 資本金	1,088,480
2 剰余金	-53,891,534
(1) 資本剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-54,552,162
負債・資本合計	21,131,409
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	52,803,054
資本不足額(繰延収益控除後)( )	39,864,814
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	779,285	2,921,562
資本勘定繰入	350,953	384,175
計	1,130,238	3,305,737

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	755.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	58,929
地財法上の資金不足比率(%)	0.8

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	札幌市				
病院名	札幌病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	62,339 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	626	71.1	59.9	59.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	29.8	23.5	27.6
感染症	8	1.1	1.0	2.6
計	672	67.9	57.2	57.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.5	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,973,395	
決算規模(千円)	1,215,838,738	
標準財政規模(千円)	541,516,226	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.9
	将来負担比率(%)	21.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,124,138			
1 経常収益	25,124,138			
(1) 医業収益	20,498,597			
(うち修正医業収益)	20,278,137			
入院収益	13,981,270			
外来収益	6,152,545			
診療収入計	20,133,815			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	364,782			
(うち他会計負担金)	220,460			
(2) 医業外収益	4,625,541			
(うち国・都道府県補助金)	3,015,434			
(うち他会計補助・負担金)	725,820			
(うち長期前受金戻入)	700,915			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,965,674			
2 経常費用	24,965,674			
(1) 医業費用	24,609,227			
職員給与費	11,813,767	57.6	59.4	52.8
材料費	7,155,423	34.9	26.1	31.5
(うち薬品費)	4,223,027	20.6	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,915,354	14.2	11.8	13.9
減価償却費	1,258,153	6.1	8.7	7.7
経費	4,267,056	20.8	22.1	18.0
(うち委託料)	2,768,372	13.5	11.7	10.7
研究研修費	88,702			
資産減耗費	26,126			
(2) 医業外費用	356,447			
(うち支払利息)	194,094	0.9	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	158,464			
純損益	158,464			
累積欠損金	3,587,724			
経常収支比率	100.6		103.3	102.8
医業収支比率	83.3		85.5	90.3
修正医業収支比率	82.4		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	3.8		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	3.8		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	96.8		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,120,534
1 固定資産	23,911,079
(1) 有形固定資産	23,391,603
(2) 無形固定資産	13,641
(3) 投資その他の資産	505,835
2 流動資産	8,209,455
(1) 現金及び預金	2,604,451
(2) 未収金及び未収収益	5,479,804
(3) 貸倒引当金( )	11,249
(4) 貯蔵品	128,877
3 繰延資産	-
負債合計	21,976,713
1 固定負債	9,685,420
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,670,824
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,012,212
(7) 一ス債務	2,384
2 流動負債	8,525,256
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,730,504
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,500,000
(5) 引当金	659,108
(6) リ一ス債務	2,544
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,447,754
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,766,037
(1) 長期前受金	22,772,624
(2) 長期前受金収益化累計額( )	19,006,587
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	10,143,821
1 資本金	5,305,834
2 剰余金	4,837,987
(1) 資本金剰余金	8,425,711
(2) 利益剰余金	-3,587,724
負債・資本合計	32,120,534
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	943,173	946,280
資本勘定繰入	1,895,552	2,086,161
計	2,838,725	3,032,441

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		函館市			
病院名		市立函館病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,712 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	582	76.0	77.3	74.8
療養	-	-	-	-
結核	10	32.3	-	6.1
精神	50	-	-	-
感染症	6	3.6	10.8	19.4
計	648	68.8	69.6	67.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.5	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	146,551,705	
標準財政規模(千円)	70,592,618	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	37.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,627,430			
1 経常収益	24,037,249			
(1) 医業収益	19,564,412			
(うち修正医業収益)	19,164,528			
入院収益	13,759,698			
外来収益	5,123,297			
診療収入計	18,882,995			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	681,417			
(うち他会計負担金)	399,884			
(2) 医業外収益	4,472,837			
(うち国・都道府県補助金)	3,148,274			
(うち他会計補助・負担金)	820,278			
(うち長期前受金戻入)	240,044			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	590,181			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,376,717			
2 経常費用	21,375,717			
(1) 医業費用	19,982,741			
職員給与費	9,471,805	48.4	59.4	52.8
材料費	6,519,814	33.3	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,335,396	17.0	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,079,710	15.7	11.8	13.9
減価償却費	566,738	2.9	8.7	7.7
経費	3,360,114	17.2	22.1	18.0
(うち委託料)	2,179,699	11.1	11.7	10.7
研究研修費	63,835			
資産減耗費	435			
(2) 医業外費用	1,392,976			
(うち支払利息)	206,629	1.1	1.0	0.9
(3) 特別損失	1,000			
経常損益	2,661,532			
純損益	3,250,713			
累積欠損金	5,106,427			
経常収支比率	112.5		103.3	102.8
医業収支比率	97.9		85.5	90.3
修正医業収支比率	95.9		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	5.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	106.7		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,609,535
1 固定資産	8,763,570
(1) 有形固定資産	8,302,858
(2) 無形固定資産	90,388
(3) 投資その他の資産	370,324
2 流動資産	6,845,965
(1) 現金及び預金	1,084,236
(2) 未収金及び未収収益	5,694,256
(3) 貸倒引当金( )	13,838
(4) 貯蔵品	80,251
3 繰延資産	-
負債合計	18,393,749
1 固定負債	13,169,902
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,252,621
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,370,050
(7) 一ス債務	547,231
2 流動負債	3,981,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,380,810
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	606,916
(6) リ一ス債務	262,399
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,654,350
(9) 前受金及び前受収益	9,211
3 繰延収益	1,242,383
(1) 長期前受金	12,908,414
(2) 長期前受金収益化累計額( )	11,666,031
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,784,214
1 資本金	2,799,168
2 剰余金	-5,583,382
(1) 資本剰余金	701,171
(2) 利益剰余金	-6,284,553
負債・資本合計	15,609,535
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,784,214
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,541,831
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,218,821	1,220,162
資本勘定繰入	890,207	898,775
計	2,109,028	2,118,937

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	1,312,957	7.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	函館市				
病院名	市立函館恵山病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,928 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	60	51.1	56.5	61.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	51.1	56.5	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	146,551,705	
標準財政規模(千円)	70,592,618	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	37.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	720,426			
1 経常収益	707,122			
(1) 医業収益	400,626			
(うち修正医業収益)	362,635			
入院収益	242,728			
外来収益	102,562			
診療収入計	345,290			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,336			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	306,496			
(うち国・都道府県補助金)	80,404			
(うち他会計補助・負担金)	216,452			
(うち長期前受金戻入)	8,077			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,304			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	674,432			
2 経常費用	674,410			
(1) 医業費用	646,334			
職員給与費	406,526	101.5	59.4	76.5
材料費	43,314	10.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	21,456	5.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,858	5.5	11.8	6.4
減価償却費	31,817	7.9	8.7	11.5
経費	164,099	41.0	22.1	32.6
(うち委託料)	69,861	17.4	11.7	14.8
研究研修費	420			
資産減耗費	158			
(2) 医業外費用	28,076			
(うち支払利息)	5,578	1.4	1.0	1.3
(3) 特別損失	22			
損益	32,712			
純損益	45,994			
累積欠損金	434,125			
経常収支比率	104.9		103.3	101.5
医業収支比率	62.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	56.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	36.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	63.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	35.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	67.1		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,609,535
1 固定資産	8,763,570
(1) 有形固定資産	8,302,858
(2) 無形固定資産	90,388
(3) 投資その他の資産	370,324
2 流動資産	6,845,965
(1) 現金及び預金	1,084,236
(2) 未収金及び未収収益	5,694,256
(3) 貸倒引当金( )	13,838
(4) 貯蔵品	80,251
3 繰延資産	-
負債合計	18,393,749
1 固定負債	13,169,902
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,252,621
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,370,050
(7) 一ス債務	547,231
2 流動負債	3,981,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,380,810
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	606,916
(6) リ一ス債務	262,399
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,654,350
(9) 前受金及び前受収益	9,211
3 繰延収益	1,242,383
(1) 長期前受金	12,908,414
(2) 長期前受金収益化累計額( )	11,666,031
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,784,214
1 資本金	2,799,168
2 剰余金	-5,583,382
(1) 資本剰余金	701,171
(2) 利益剰余金	-6,284,553
負債・資本合計	15,609,535
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,784,214
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,541,831
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	254,430	254,443
資本勘定繰入	18,243	19,069
計	272,673	273,512

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	1,312,957	7.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	函館市				
病院名	市立函館南茅部病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,898 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	37	65.6	65.5	56.9
療養	22	9.4	19.3	31.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	59	44.7	48.3	47.3
平均在院日数(一般病床のみ)		34.0	33.5	40.9

設立団体の状況		
人口(人)	251,084	
決算規模(千円)	146,551,705	
標準財政規模(千円)	70,592,618	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	37.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	655,618			
1 経常収益	647,528			
(1) 医業収益	341,987			
(うち修正医業収益)	303,996			
入院収益	196,393			
外来収益	91,895			
診療収入計	288,288			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	53,699			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	305,541			
(うち国・都道府県補助金)	8,676			
(うち他会計補助・負担金)	294,602			
(うち長期前受金戻入)	25			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,090			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	618,790			
2 経常費用	618,770			
(1) 医業費用	601,511			
職員給与費	415,713	121.6	59.4	76.5
材料費	61,255	17.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	30,048	8.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,492	6.6	11.8	6.4
減価償却費	3,686	1.1	8.7	11.5
経費	119,825	35.0	22.1	32.6
(うち委託料)	52,875	15.5	11.7	14.8
研究研修費	1,026			
資産減耗費	6			
(2) 医業外費用	17,259			
(うち支払利息)	771	0.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	20			
損益	28,758			
純損益	36,828			
累積欠損金	744,001			
経常収支比率	104.6		103.3	101.5
医業収支比率	56.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	50.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	51.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	97.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	50.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	50.9		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,609,535
1 固定資産	8,763,570
(1) 有形固定資産	8,302,858
(2) 無形固定資産	90,388
(3) 投資その他の資産	370,324
2 流動資産	6,845,965
(1) 現金及び預金	1,084,236
(2) 未収金及び未収収益	5,694,256
(3) 貸倒引当金( )	13,838
(4) 貯蔵品	80,251
3 繰延資産	-
負債合計	18,393,749
1 固定負債	13,169,902
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,252,621
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,370,050
(7) 一ス債務	547,231
2 流動負債	3,981,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,380,810
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	606,916
(6) リ一ス債務	262,399
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,654,350
(9) 前受金及び前受収益	9,211
3 繰延収益	1,242,383
(1) 長期前受金	12,908,414
(2) 長期前受金収益化累計額( )	11,666,031
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,784,214
1 資本金	2,799,168
2 剰余金	-5,583,382
(1) 資本剰余金	701,171
(2) 利益剰余金	-6,284,553
負債・資本合計	15,609,535
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,784,214
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,541,831
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	332,582	332,593
資本勘定繰入	7,388	8,111
計	339,970	340,704

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	1,312,957	7.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	小樽市				
病院名	小樽病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,893 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	302	84.8	81.7	75.4
療養	-	-	-	-
結核	4	33.1	35.6	24.2
精神	80	65.0	69.4	72.2
感染症	2	24.1	23.3	50.0
計	388	79.8	78.4	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	13.4	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	111,299	
決算規模(千円)	64,823,425	
標準財政規模(千円)	31,905,971	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	26.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,910,886			
1 経常収益	11,909,601			
(1) 医業収益	10,333,652			
(うち修正医業収益)	9,881,484			
入院収益	6,639,616			
外来収益	3,067,629			
診療収入計	9,707,245			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	626,407			
(うち他会計負担金)	452,168			
(2) 医業外収益	1,575,949			
(うち国・都道府県補助金)	685,071			
(うち他会計補助・負担金)	623,971			
(うち長期前受金戻入)	73,397			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,285			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,227,998			
2 経常費用	12,225,060			
(1) 医業費用	11,616,665			
職員給与費	5,981,958	57.9	59.4	59.0
材料費	2,717,073	26.3	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,334,730	12.9	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,382,343	13.4	11.8	11.2
減価償却費	753,437	7.3	8.7	8.6
経費	2,077,626	20.1	22.1	21.3
(うち委託料)	1,145,256	11.1	11.7	11.6
研究研修費	31,008			
資産減耗費	55,563			
(2) 医業外費用	608,395			
(うち支払利息)	32,063	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,938			
損益	-315,459			
純損益	-317,112			
累積欠損金	12,167,175			
経常収支比率	97.4		103.3	104.8
医業収支比率	89.0		85.5	87.0
修正医業収支比率	85.1		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	88.6		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,252,392
1 固定資産	10,445,774
(1) 有形固定資産	10,363,919
(2) 無形固定資産	1,175
(3) 投資その他の資産	80,680
2 流動資産	2,806,618
(1) 現金及び預金	689,580
(2) 未収金及び未収収益	2,058,930
(3) 貸倒引当金( )	2,055
(4) 貯蔵品	60,163
3 繰延資産	-
負債合計	16,434,584
1 固定負債	13,255,178
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,944,337
(2) その他の企業債	800,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,510,841
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,139,203
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	724,552
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	318,415
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,015,980
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,040,203
(1) 長期前受金	2,164,352
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,124,149
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-3,182,192
1 資本金	8,143,226
2 剰余金	-11,325,418
(1) 資本剰余金	841,757
(2) 利益剰余金	-12,167,175
負債・資本合計	13,252,392
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	3,182,192
資本不足額(繰延収益控除後)( )	2,141,989
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	1,075,680	1,076,139
資本勘定繰入	365,732	449,111
計	1,441,412	1,525,250

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	117.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	旭川市				
病院名	市立旭川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,805 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	372	48.2	46.6	54.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	44.4	61.7	71.3
感染症	9	9.6	3.4	23.5
計	481	46.7	49.2	57.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	11.3	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	329,306	
決算規模(千円)	188,381,368	
標準財政規模(千円)	83,119,681	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	82.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,696,103			
1 経常収益	12,454,370			
(1) 医業収益	9,150,354			
(うち修正医業収益)	8,945,911			
入院収益	5,632,791			
外来収益	3,137,983			
診療収入計	8,770,774			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	379,580			
(うち他会計負担金)	204,443			
(2) 医業外収益	3,304,016			
(うち国・都道府県補助金)	2,178,151			
(うち他会計補助・負担金)	571,430			
(うち長期前受金戻入)	466,518			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	241,733			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,048,315			
2 経常費用	12,036,766			
(1) 医業費用	11,715,718			
職員給与費	5,997,855	65.5	59.4	57.2
材料費	3,041,533	33.2	26.1	28.0
(うち薬品費)	2,128,097	23.3	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	913,436	10.0	11.8	12.7
減価償却費	717,551	7.8	8.7	8.0
経費	1,890,323	20.7	22.1	19.0
(うち委託料)	1,096,164	12.0	11.7	10.0
研究研修費	38,679			
資産減耗費	29,777			
(2) 医業外費用	321,048			
(うち支払利息)	16,392	0.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	11,549			
経常損益	417,604			
純損益	647,788			
累積欠損金	11,903,031			
経常収支比率	103.5		103.3	103.2
医業収支比率	78.1		85.5	88.6
修正医業収支比率	76.4		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	6.1		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	97.0		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,874,123
1 固定資産	9,762,872
(1) 有形固定資産	8,643,136
(2) 無形固定資産	1,771
(3) 投資その他の資産	1,117,965
2 流動資産	4,111,251
(1) 現金及び預金	1,009,762
(2) 未収金及び未収収益	2,960,031
(3) 貸倒引当金( )	27,264
(4) 貯蔵品	168,525
3 繰延資産	-
負債合計	15,851,748
1 固定負債	11,529,047
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,982,372
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,546,675
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,241,168
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,198,523
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	379,850
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,624,329
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,081,533
(1) 長期前受金	9,135,997
(2) 長期前受金収益化累計額( )	8,054,464
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,977,625
1 資本金	9,925,406
2 剰余金	-11,903,031
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-11,903,031
負債・資本合計	13,874,123
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,977,625
資本不足額(繰延収益控除後)( )	896,092
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	775,873	775,873
資本勘定繰入	593,105	606,030
計	1,368,978	1,381,903

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	130.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	室蘭市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ドI訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,036 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	379	66.7	70.2	68.5
療養	-	-	-	-
結核	24	10.6	8.7	11.6
精神	120	60.4	68.4	68.3
感染症	4	-	-	-
計	527	62.4	66.6	65.4
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	18.9	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	82,383	
決算規模(千円)	46,144,771	
標準財政規模(千円)	22,897,491	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	51.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,991,279			
1 経常収益	9,989,540			
(1) 医業収益	7,735,537			
(うち修正医業収益)	7,626,105			
入院収益	5,555,374			
外来収益	1,910,253			
診療収入計	7,465,627			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	269,910			
(うち他会計負担金)	109,432			
(2) 医業外収益	2,254,003			
(うち国・都道府県補助金)	1,362,283			
(うち他会計補助・負担金)	788,153			
(うち長期前受金戻入)	20,483			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,739			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,914,922			
2 経常費用	9,885,254			
(1) 医業費用	9,433,472			
職員給与費	5,196,273	67.2	59.4	52.8
材料費	1,640,246	21.2	26.1	31.5
(うち薬品費)	737,565	9.5	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	888,857	11.5	11.8	13.9
減価償却費	564,885	7.3	8.7	7.7
経費	1,991,878	25.7	22.1	18.0
(うち委託料)	969,250	12.5	11.7	10.7
研究研修費	24,313			
資産減耗費	15,877			
(2) 医業外費用	451,782			
(うち支払利息)	100,686	1.3	1.0	0.9
(3) 特別損失	29,668			
損益	104,286			
純損益	76,357			
累積欠損金	15,443,981			
経常収支比率	101.1		103.3	102.8
医業収支比率	82.0		85.5	90.3
修正医業収支比率	80.8		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	9.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	92.0		91.9	95.1

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,046,835
1 固定資産	7,732,433
(1) 有形固定資産	7,663,731
(2) 無形固定資産	2,894
(3) 投資その他の資産	65,808
2 流動資産	2,314,402
(1) 現金及び預金	216,284
(2) 未収金及び未収収益	2,055,888
(3) 貸倒引当金( )	12,602
(4) 貯蔵品	54,832
3 繰延資産	-
負債合計	8,668,644
1 固定負債	5,659,335
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,588,791
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,070,544
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,638,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,219,808
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	278,743
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	500,000
(8) 未払金及び未払費用	593,803
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	371,219
(1) 長期前受金	912,119
(2) 長期前受金収益化累計額( )	540,900
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,378,191
1 資本金	16,822,172
2 剰余金	-15,443,981
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-15,443,981
負債・資本合計	10,046,835
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	883,144	897,585
資本勘定繰入	716,713	721,402
計	1,599,857	1,618,987

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	158,234	2.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	199.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	釧路市				
病院名	市立釧路総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	46,688 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	535	72.2	76.3	72.3
療養	-	-	-	-
結核	10	8.5	18.8	6.3
精神	50	38.7	35.1	38.8
感染症	4	-	-	0.3
計	599	66.9	68.9	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.0	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	165,077	
決算規模(千円)	99,630,262	
標準財政規模(千円)	49,600,313	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	49.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,281,440			
1 経常収益	19,180,070			
(1) 医業収益	16,134,854			
(うち修正医業収益)	15,810,169			
入院収益	10,687,980			
外来収益	4,953,926			
診療収入計	15,641,906			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	492,948			
(うち他会計負担金)	324,685			
(2) 医業外収益	3,045,216			
(うち国・都道府県補助金)	1,703,948			
(うち他会計補助・負担金)	1,021,343			
(うち長期前受金戻入)	143,265			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	101,370			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,108,715			
2 経常費用	18,954,940			
(1) 医業費用	17,859,882			
職員給与費	8,415,805	52.2	59.4	52.8
材料費	4,809,481	29.8	26.1	31.5
(うち薬品費)	2,624,618	16.3	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,169,440	13.4	11.8	13.9
減価償却費	1,227,832	7.6	8.7	7.7
経費	3,379,139	20.9	22.1	18.0
(うち委託料)	1,965,541	12.2	11.7	10.7
研究研修費	26,947			
資産減耗費	678			
(2) 医業外費用	1,095,058			
(うち支払利息)	104,359	0.6	1.0	0.9
(3) 特別損失	153,775			
損益	225,130			
純損益	172,725			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.2		103.3	102.8
医業収支比率	90.3		85.5	90.3
修正医業収支比率	88.5		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	7.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	94.1		91.9	95.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,128,746
1 固定資産	11,854,483
(1) 有形固定資産	11,079,324
(2) 無形固定資産	4,478
(3) 投資その他の資産	770,681
2 流動資産	9,274,263
(1) 現金及び預金	5,590,055
(2) 未収金及び未収収益	3,570,199
(3) 貸倒引当金( )	9,295
(4) 貯蔵品	77,257
3 繰延資産	-
負債合計	16,562,027
1 固定負債	12,057,437
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,623,101
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,434,336
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,392,877
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	837,889
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	524,560
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,973,663
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,111,713
(1) 長期前受金	5,131,883
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,020,170
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,566,719
1 資本金	1,288,219
2 剰余金	3,278,500
(1) 資本金剰余金	67,570
(2) 利益剰余金	3,210,930
負債・資本合計	21,128,746
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,345,747	1,346,028
資本勘定繰入	451,250	100,000
計	1,796,997	1,446,028

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	北見市		
病院名	北見市国民健康保険常呂病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	115,480	
決算規模(千円)	76,923,679	
標準財政規模(千円)	36,514,764	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	143.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	856			
1 経常収益	856			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	856			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	856			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	856			
2 経常費用	856			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	856			
(うち支払利息)	856	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	856
資本勘定繰入	-	6,350
計	-	7,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	岩見沢市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,927 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	365	55.7	56.5	59.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	115	60.6	71.7	70.3
感染症	4	-	-	-
計	484	56.4	59.6	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	13.0	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	79,306	
決算規模(千円)	49,378,412	
標準財政規模(千円)	24,770,614	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	76.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,896,880			
1 経常収益	11,896,880			
(1) 医業収益	9,974,215			
(うち修正医業収益)	9,704,223			
入院収益	4,689,285			
外来収益	4,811,317			
診療収入計	9,500,602			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	473,613			
(うち他会計負担金)	269,992			
(2) 医業外収益	1,922,665			
(うち国・都道府県補助金)	1,214,559			
(うち他会計補助・負担金)	539,226			
(うち長期前受金戻入)	57,800			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,884,194			
2 経常費用	11,880,835			
(1) 医業費用	11,185,346			
職員給与費	5,032,798	50.5	59.4	57.2
材料費	3,534,739	35.4	26.1	28.0
(うち薬品費)	2,481,505	24.9	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,038,141	10.4	11.8	12.7
減価償却費	591,025	5.9	8.7	8.0
経費	1,989,045	19.9	22.1	19.0
(うち委託料)	915,073	9.2	11.7	10.0
研究研修費	31,659			
資産減耗費	6,080			
(2) 医業外費用	695,489			
(うち支払利息)	27,511	0.3	1.0	1.0
(3) 特別損失	3,359			
損益	16,045			
純損益	12,686			
累積欠損金	1,613,572			
経常収支比率	100.1		103.3	103.2
医業収支比率	89.2		85.5	88.6
修正医業収支比率	86.8		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	6.8		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	93.3		91.9	93.4

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,625,210
1 固定資産	4,693,107
(1) 有形固定資産	4,643,583
(2) 無形固定資産	5,606
(3) 投資その他の資産	43,918
2 流動資産	4,932,103
(1) 現金及び預金	2,511,062
(2) 未収金及び未収収益	2,372,977
(3) 貸倒引当金( )	372
(4) 貯蔵品	47,936
3 繰延資産	-
負債合計	6,289,657
1 固定負債	4,044,186
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,854,424
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,189,762
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,739,595
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	396,593
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	347,485
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	953,452
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	505,876
(1) 長期前受金	1,261,165
(2) 長期前受金収益化累計額( )	755,289
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,335,553
1 資本金	4,410,561
2 剰余金	-1,075,008
(1) 資本剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-1,207,567
負債・資本合計	9,625,210
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,011,180	809,218
資本勘定繰入	308,998	-
計	1,320,178	809,218

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	岩見沢市				
病院名	栗沢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,174 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	85	48.8	55.8	74.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	85	48.8	55.8	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	79,306	
決算規模(千円)	49,378,412	
標準財政規模(千円)	24,770,614	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	76.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	564,930			
1 経常収益	564,930			
(1) 医業収益	439,867			
(うち修正医業収益)	393,777			
入院収益	245,221			
外来収益	124,634			
診療収入計	369,855			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	70,012			
(うち他会計負担金)	46,090			
(2) 医業外収益	125,063			
(うち国・都道府県補助金)	3,112			
(うち他会計補助・負担金)	113,910			
(うち長期前受金戻入)	3,599			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	757,377			
2 経常費用	757,377			
(1) 医業費用	730,988			
職員給与費	464,968	105.7	59.4	76.5
材料費	96,542	21.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	80,079	18.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,043	3.2	11.8	6.4
減価償却費	20,574	4.7	8.7	11.5
経費	147,959	33.6	22.1	32.6
(うち委託料)	63,538	14.4	11.7	14.8
研究研修費	945			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,389			
(うち支払利息)	597	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-192,447			
純損失	-192,447			
累積欠損金	1,240,591			
経常収支比率	74.6		103.3	101.5
医業収支比率	60.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	53.9		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	36.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	28.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	53.5		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,625,210
1 固定資産	4,693,107
(1) 有形固定資産	4,643,583
(2) 無形固定資産	5,606
(3) 投資その他の資産	43,918
2 流動資産	4,932,103
(1) 現金及び預金	2,511,062
(2) 未収金及び未収収益	2,372,977
(3) 貸倒引当金( )	372
(4) 貯蔵品	47,936
3 繰延資産	-
負債合計	6,289,657
1 固定負債	4,044,186
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,854,424
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,189,762
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,739,595
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	396,593
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	347,485
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	953,452
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	505,876
(1) 長期前受金	1,261,165
(2) 長期前受金収益化累計額( )	755,289
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,335,553
1 資本金	4,410,561
2 剰余金	-1,075,008
(1) 資本剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-1,207,567
負債・資本合計	9,625,210
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	198,584	160,000
資本勘定繰入	10,159	-
計	208,743	160,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	留萌市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,146 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	246	51.8	56.2	58.0
療養	50	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	300	42.5	46.1	47.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	13.7	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	20,114	
決算規模(千円)	15,764,347	
標準財政規模(千円)	7,691,472	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	4.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,286,408			
1 経常収益	6,277,155			
(1) 医業収益	4,141,665			
(うち修正医業収益)	3,927,211			
入院収益	2,284,024			
外来収益	1,501,814			
診療収入計	3,785,838			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	355,827			
(うち他会計負担金)	214,454			
(2) 医業外収益	2,135,490			
(うち国・都道府県補助金)	1,082,338			
(うち他会計補助・負担金)	475,075			
(うち長期前受金戻入)	167,000			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,253			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,123,065			
2 経常費用	6,122,400			
(1) 医業費用	5,811,531			
職員給与費	2,693,947	65.0	59.4	59.0
材料費	1,008,584	24.4	26.1	25.6
(うち薬品費)	531,286	12.8	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	473,095	11.4	11.8	11.2
減価償却費	383,603	9.3	8.7	8.6
経費	1,708,406	41.2	22.1	21.3
(うち委託料)	869,188	21.0	11.7	11.6
研究研修費	12,175			
資産減耗費	4,816			
(2) 医業外費用	310,869			
(うち支払利息)	61,051	1.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	665			
経常損益	154,755			
純損益	163,343			
累積欠損金	10,155,419			
経常収支比率	102.5		103.3	104.8
医業収支比率	71.3		85.5	87.0
修正医業収支比率	67.6		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	11.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	91.3		91.9	95.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,392,879
1 固定資産	4,764,137
(1) 有形固定資産	4,761,588
(2) 無形固定資産	1,858
(3) 投資その他の資産	691
2 流動資産	1,628,742
(1) 現金及び預金	427,780
(2) 未収金及び未収収益	1,180,500
(3) 貸倒引当金( )	5,278
(4) 貯蔵品	25,646
3 繰延資産	-
負債合計	7,123,207
1 固定負債	4,627,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,741,892
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	885,909
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,370,126
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	605,848
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	164,330
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	578,786
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,125,280
(1) 長期前受金	1,950,269
(2) 長期前受金収益化累計額( )	824,989
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-730,328
1 資本金	7,951,107
2 剰余金	-8,681,435
(1) 資本剰余金	1,473,984
(2) 利益剰余金	-10,155,419
負債・資本合計	6,392,879
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	730,328
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	689,356	689,529
資本勘定繰入	347,424	360,937
計	1,036,780	1,050,466

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	245.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	苫小牧市				
病院名	苫小牧市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,323 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	378	51.0	53.9	57.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	218.6	51.9	39.7
計	382	52.7	53.8	57.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.2	9.5	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	170,113	
決算規模(千円)	84,213,211	
標準財政規模(千円)	40,924,240	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	63.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,554,420			
1 経常収益	12,527,370			
(1) 医業収益	8,610,334			
(うち修正医業収益)	8,162,357			
入院収益	5,105,130			
外来収益	2,715,050			
診療収入計	7,820,180			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	790,154			
(うち他会計負担金)	447,977			
(2) 医業外収益	3,917,036			
(うち国・都道府県補助金)	2,386,157			
(うち他会計補助・負担金)	784,638			
(うち長期前受金戻入)	610,111			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,050			
(うち他会計繰入金)	27,050			
総費用	11,655,185			
2 経常費用	11,539,443			
(1) 医業費用	10,966,495			
職員給与費	5,169,293	60.0	59.4	59.0
材料費	2,039,018	23.7	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,071,079	12.4	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	909,850	10.6	11.8	11.2
減価償却費	955,091	11.1	8.7	8.6
経費	2,757,595	32.0	22.1	21.3
(うち委託料)	1,360,766	15.8	11.7	11.6
研究研修費	36,990			
資産減耗費	8,508			
(2) 医業外費用	572,948			
(うち支払利息)	155,723	1.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	115,742			
経常損益	987,927			
純損益	899,235			
累積欠損金	5,082,715			
経常収支比率	108.6		103.3	104.8
医業収支比率	78.5		85.5	87.0
修正医業収支比率	74.4		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	10.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	97.9		91.9	95.1

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,342,311
1 固定資産	8,606,661
(1) 有形固定資産	8,071,406
(2) 無形固定資産	19,549
(3) 投資その他の資産	515,706
2 流動資産	3,735,650
(1) 現金及び預金	1,103,314
(2) 未収金及び未収収益	2,564,947
(3) 貸倒引当金( )	9,281
(4) 貯蔵品	76,670
3 繰延資産	-
負債合計	13,158,250
1 固定負債	9,753,093
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,425,537
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,209,193
(7) 一時的借入金	118,363
2 流動負債	2,092,078
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	866,521
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	364,761
(6) リース債務	34,537
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	786,403
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,313,079
(1) 長期前受金	7,814,346
(2) 長期前受金収益化累計額( )	6,501,267
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-815,939
1 資本金	4,188,458
2 剰余金	-5,004,397
(1) 資本剰余金	78,318
(2) 利益剰余金	-5,082,715
負債・資本合計	12,342,311
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	815,939
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,198,942	1,259,665
資本勘定繰入	466,766	466,766
計	1,665,708	1,726,431

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	226,008	2.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	59.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	稚内市				
病院名	稚内病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,356 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	258	42.8	41.9	42.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	70	30.9	38.5	51.0
感染症	4	112.6	111.6	51.0
計	332	41.1	42.0	44.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	9.8	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	33,563	
決算規模(千円)	29,188,834	
標準財政規模(千円)	12,715,671	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	40.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,449,813			
1 経常収益	7,441,279			
(1) 医業収益	5,064,660			
(うち修正医業収益)	4,845,841			
入院収益	2,419,157			
外来収益	2,287,578			
診療収入計	4,706,735			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	357,925			
(うち他会計負担金)	218,819			
(2) 医業外収益	2,376,619			
(うち国・都道府県補助金)	1,081,703			
(うち他会計補助・負担金)	1,223,986			
(うち長期前受金戻入)	47,159			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,534			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,510,028			
2 経常費用	7,434,970			
(1) 医業費用	7,122,232			
職員給与費	3,507,743	69.3	59.4	59.0
材料費	1,442,010	28.5	26.1	25.6
(うち薬品費)	851,169	16.8	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	590,841	11.7	11.8	11.2
減価償却費	492,328	9.7	8.7	8.6
経費	1,642,806	32.4	22.1	21.3
(うち委託料)	584,545	11.5	11.7	11.6
研究研修費	23,726			
資産減耗費	13,619			
(2) 医業外費用	312,738			
(うち支払利息)	6,046	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	75,058			
損益	6,309			
純損益	-60,215			
累積欠損金	8,799,800			
経常収支比率	100.1		103.3	104.8
医業収支比率	71.1		85.5	87.0
修正医業収支比率	68.0		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.4		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	28.5		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	19.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	80.7		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,642,410
1 固定資産	5,134,415
(1) 有形固定資産	4,684,069
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	447,067
2 流動資産	2,507,995
(1) 現金及び預金	745,305
(2) 未収金及び未収収益	1,534,120
(3) 貸倒引当金( )	2,769
(4) 貯蔵品	769
3 繰延資産	-
負債合計	5,703,050
1 固定負債	3,904,244
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,264,669
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,638,533
(7) 一ス債務	1,042
2 流動負債	1,323,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	429,374
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	257,780
(6) リ一ス債務	2,502
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	369,805
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	475,499
(1) 長期前受金	1,275,218
(2) 長期前受金収益化累計額( )	799,719
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,939,360
1 資本金	10,139,691
2 剰余金	-8,200,331
(1) 資本剰余金	863,981
(2) 利益剰余金	-9,064,312
負債・資本合計	7,642,410
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,441,556	1,442,805
資本勘定繰入	194,067	291,697
計	1,635,623	1,734,502

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	177.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	稚内市		
病院名	稚内こまどり病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,570 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	1	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	45	-	45.8	76.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	-	45.8	76.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	33,563	
決算規模(千円)	29,188,834	
標準財政規模(千円)	12,715,671	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	40.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	228,110			
1 経常収益	114,641			
(1) 医業収益	40,115			
(うち修正医業収益)	40,115			
入院収益	-			
外来収益	35,467			
診療収入計	35,467			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	4,648			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	74,526			
(うち国・都道府県補助金)	540			
(うち他会計補助・負担金)	73,582			
(うち長期前受金戻入)	246			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	113,469			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	111,904			
2 経常費用	111,901			
(1) 医業費用	108,124			
職員給与費	62,489	155.8	59.4	87.7
材料費	4,612	11.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	1,413	3.5	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,199	8.0	11.8	5.9
減価償却費	2,391	6.0	8.7	12.7
経費	38,618	96.3	22.1	45.1
(うち委託料)	15,195	37.9	11.7	21.3
研究研修費	14			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,777			
(うち支払利息)	45	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	3			
損益	2,740			
純損益	116,206			
累積欠損金	264,512			
経常収支比率	102.4		103.3	101.7
医業収支比率	37.1		85.5	62.5
修正医業収支比率	37.1		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	64.2		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	183.4		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	32.3		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	36.7		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,642,410
1 固定資産	5,134,415
(1) 有形固定資産	4,684,069
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	447,067
2 流動資産	2,507,995
(1) 現金及び預金	745,305
(2) 未収金及び未収収益	1,534,120
(3) 貸倒引当金( )	2,769
(4) 貯蔵品	769
3 繰延資産	-
負債合計	5,703,050
1 固定負債	3,904,244
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,264,669
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,638,533
(7) 一ス債務	1,042
2 流動負債	1,323,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	429,374
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	257,780
(6) リ一ス債務	2,502
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	369,805
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	475,499
(1) 長期前受金	1,275,218
(2) 長期前受金収益化累計額( )	799,719
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,939,360
1 資本金	10,139,691
2 剰余金	-8,200,331
(1) 資本剰余金	863,981
(2) 利益剰余金	-9,064,312
負債・資本合計	7,642,410
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	73,576	73,582
資本勘定繰入	1,461	1,958
計	75,037	75,540

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	177.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美唄市				
病院名	市立美唄病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,261 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	53	30.8	31.2	34.4
療養	45	47.6	54.8	65.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	38.5	42.0	48.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	14.5	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	20,413	
決算規模(千円)	19,107,822	
標準財政規模(千円)	8,865,584	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	76.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,544,536			
1 経常収益	1,523,917			
(1) 医業収益	1,114,912			
(うち修正医業収益)	966,517			
入院収益	399,335			
外来収益	504,200			
診療収入計	903,535			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	211,377			
(うち他会計負担金)	148,395			
(2) 医業外収益	409,005			
(うち国・都道府県補助金)	107,373			
(うち他会計補助・負担金)	290,780			
(うち長期前受金戻入)	4,171			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,619			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,507,878			
2 経常費用	1,478,185			
(1) 医業費用	1,433,980			
職員給与費	808,876	72.6	59.4	76.5
材料費	146,992	13.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	63,958	5.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	71,455	6.4	11.8	6.4
減価償却費	52,938	4.7	8.7	11.5
経費	421,081	37.8	22.1	32.6
(うち委託料)	98,512	8.8	11.7	14.8
研究研修費	1,679			
資産減耗費	2,414			
(2) 医業外費用	44,205			
(うち支払利息)	620	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	29,693			
損益	45,732			
純損益	36,658			
累積欠損金	2,125,347			
経常収支比率	103.1		103.3	101.5
医業収支比率	77.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	67.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	39.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	28.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	73.4		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,888,970
1 固定資産	956,334
(1) 有形固定資産	916,454
(2) 無形固定資産	522
(3) 投資その他の資産	39,358
2 流動資産	932,636
(1) 現金及び預金	724,680
(2) 未収金及び未収収益	207,125
(3) 貸倒引当金( )	134
(4) 貯蔵品	955
3 繰延資産	-
負債合計	1,475,026
1 固定負債	1,192,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	543,602
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	648,783
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	240,186
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,259
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	59,901
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	87,631
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	42,455
(1) 長期前受金	106,550
(2) 長期前受金収益化累計額( )	64,095
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	413,944
1 資本金	2,533,470
2 剰余金	-2,119,526
(1) 資本剰余金	5,821
(2) 利益剰余金	-2,125,347
負債・資本合計	1,888,970
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	432,763	439,175
資本勘定繰入	41,089	77,499
計	473,852	516,674

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	190.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	芦別市				
病院名	芦別病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,574 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	輸		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	73.7	68.8	69.0
療養	39	61.1	61.8	59.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	68.7	66.0	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		26.7	22.7	23.0

設立団体の状況		
人口(人)	12,555	
決算規模(千円)	12,428,853	
標準財政規模(千円)	6,189,801	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	67.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,047,813			
1 経常収益	1,927,093			
(1) 医業収益	1,487,114			
(うち修正医業収益)	1,348,811			
入院収益	786,103			
外来収益	525,209			
診療収入計	1,311,312			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	175,802			
(うち他会計負担金)	138,303			
(2) 医業外収益	439,979			
(うち国・都道府県補助金)	79,001			
(うち他会計補助・負担金)	284,902			
(うち長期前受金戻入)	63,936			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	120,720			
(うち他会計繰入金)	100,000			
総費用	1,890,425			
2 経常費用	1,885,049			
(1) 医業費用	1,818,188			
職員給与費	982,731	66.1	59.4	76.5
材料費	221,259	14.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	116,926	7.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	104,333	7.0	11.8	6.4
減価償却費	101,998	6.9	8.7	11.5
経費	507,137	34.1	22.1	32.6
(うち委託料)	205,375	13.8	11.7	14.8
研究研修費	1,724			
資産減耗費	3,339			
(2) 医業外費用	66,861			
(うち支払利息)	3,237	0.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	5,376			
損益	42,044			
純損益	157,388			
累積欠損金	1,171,582			
経常収支比率	102.2		103.3	101.5
医業収支比率	81.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	74.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	28.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	25.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	79.8		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,986,268
1 固定資産	1,628,582
(1) 有形固定資産	1,499,335
(2) 無形固定資産	1,583
(3) 投資その他の資産	127,664
2 流動資産	357,686
(1) 現金及び預金	13,836
(2) 未収金及び未収収益	343,333
(3) 貸倒引当金( )	162
(4) 貯蔵品	491
3 繰延資産	-
負債合計	1,783,143
1 固定負債	391,840
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	286,800
(2) その他の企業債	105,040
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	641,980
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	78,875
(2) その他の企業債	8,754
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,779
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	360,000
(8) 未払金及び未払費用	120,768
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	749,323
(1) 長期前受金	3,425,854
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,676,531
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	203,125
1 資本金	1,219,906
2 剰余金	-1,016,781
(1) 資本剰余金	154,801
(2) 利益剰余金	-1,171,582
負債・資本合計	1,986,268
不良債務	205,419
実質資金不足額	205,419
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	423,205	523,205
資本勘定繰入	36,835	41,271
計	460,040	564,476

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	205,419	13.8
令和3年度	325,712	23.1
令和2年度	321,158	23.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	78.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	310,459
地財法上の資金不足比率(%)	20.8

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	江別市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,989 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	278	54.2	68.0	67.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	59	41.0	74.6	79.5
感染症	-	-	-	-
計	337	51.9	68.9	69.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.6	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	121,056	
決算規模(千円)	53,269,100	
標準財政規模(千円)	27,192,012	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,513,603			
1 経常収益	7,377,693			
(1) 医業収益	6,257,210			
(うち修正医業収益)	5,891,812			
入院収益	3,118,719			
外来収益	1,851,466			
診療収入計	4,970,185			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,287,025			
(うち他会計負担金)	365,398			
(2) 医業外収益	1,120,483			
(うち国・都道府県補助金)	82,304			
(うち他会計補助・負担金)	713,985			
(うち長期前受金戻入)	58,911			
(うち資本費繰入収益)	228,780			
(3) 特別利益	135,910			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,962,227			
2 経常費用	6,948,409			
(1) 医業費用	6,553,385			
職員給与費	3,524,137	56.3	59.4	59.0
材料費	891,057	14.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	378,802	6.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	508,925	8.1	11.8	11.2
減価償却費	386,723	6.2	8.7	8.6
経費	1,657,011	26.5	22.1	21.3
(うち委託料)	761,794	12.2	11.7	11.6
研究研修費	19,116			
資産減耗費	75,341			
(2) 医業外費用	395,024			
(うち支払利息)	66,338	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	13,818			
損益	429,284			
純損益	551,376			
累積欠損金	314,754			
経常収支比率	106.2		103.3	104.8
医業収支比率	95.5		85.5	87.0
修正医業収支比率	89.9		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	14.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	90.6		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,546,179
1 固定資産	8,066,296
(1) 有形固定資産	7,931,025
(2) 無形固定資産	853
(3) 投資その他の資産	134,418
2 流動資産	1,479,883
(1) 現金及び預金	235,484
(2) 未収金及び未収収益	1,245,308
(3) 貸倒引当金( )	11,259
(4) 貯蔵品	10,350
3 繰延資産	-
負債合計	9,652,374
1 固定負債	6,642,074
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,873,562
(2) その他の企業債	607,500
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,150,500
(6) 引当金	10,512
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,496,536
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	654,925
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	125,062
(5) 引当金	205,449
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,486,525
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	513,764
(1) 長期前受金	675,903
(2) 長期前受金収益化累計額( )	162,139
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-106,195
1 資本金	161,980
2 剰余金	-268,175
(1) 資本金剰余金	46,579
(2) 利益剰余金	-314,754
負債・資本合計	9,546,179
不良債務	361,728
実質資金不足額	361,728
資本不足額( )	106,195
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,000,466	1,079,383
資本勘定繰入	338,180	388,120
計	1,338,646	1,467,503

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	361,728	5.8
令和3年度	459,295	7.9
令和2年度	886,952	17.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	969,228
地財法上の資金不足比率(%)	15.4

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	赤平市				
病院名	あかびら市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,451 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	73.5	78.9	83.9
療養	60	76.1	82.9	85.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	74.8	80.9	84.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	10.5	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	9,698	
決算規模(千円)	11,125,146	
標準財政規模(千円)	5,207,053	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	76.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,450,821			
1 経常収益	2,437,948			
(1) 医業収益	1,862,243			
(うち修正医業収益)	1,574,235			
入院収益	1,008,134			
外来収益	479,143			
診療収入計	1,487,277			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	374,966			
(うち他会計負担金)	288,008			
(2) 医業外収益	575,705			
(うち国・都道府県補助金)	167,045			
(うち他会計補助・負担金)	244,171			
(うち長期前受金戻入)	149,751			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,873			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,356,750			
2 経常費用	2,285,625			
(1) 医業費用	2,201,666			
職員給与費	1,078,621	57.9	59.4	67.0
材料費	223,274	12.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	104,880	5.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	117,965	6.3	11.8	9.4
減価償却費	243,606	13.1	8.7	10.2
経費	651,459	35.0	22.1	28.8
(うち委託料)	266,152	14.3	11.7	13.2
研究研修費	3,549			
資産減耗費	1,157			
(2) 医業外費用	83,959			
(うち支払利息)	16,245	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	71,125			
損益	152,323			
純損益	94,071			
累積欠損金	867,700			
経常収支比率	106.7		103.3	104.5
医業収支比率	84.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	71.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	28.6		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	21.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	83.4		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,549,377
1 固定資産	4,668,794
(1) 有形固定資産	4,485,977
(2) 無形固定資産	819
(3) 投資その他の資産	181,998
2 流動資産	1,880,583
(1) 現金及び預金	1,402,310
(2) 未収金及び未収収益	474,291
(3) 貸倒引当金( )	406
(4) 貯蔵品	4,388
3 繰延資産	-
負債合計	5,089,521
1 固定負債	2,769,222
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,302,705
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,466,517
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	600,156
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	424,228
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	68,955
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	95,391
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,720,143
(1) 長期前受金	3,262,981
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,542,838
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,459,856
1 資本金	2,101,697
2 剰余金	-641,841
(1) 資本剰余金	225,859
(2) 利益剰余金	-867,700
負債・資本合計	6,549,377
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	502,661	532,179
資本勘定繰入	288,694	358,128
計	791,355	890,307

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	士別市				
病院名	士別市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	15,895 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	76.3	73.0	75.7
療養	78	73.2	80.5	83.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	133	74.5	77.4	80.0
平均在院日数(一般病床のみ)		24.0	16.5	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	17,858	
決算規模(千円)	17,339,012	
標準財政規模(千円)	10,108,871	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	102.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,252,699			
1 経常収益	3,247,808			
(1) 医業収益	2,339,834			
(うち修正医業収益)	2,163,341			
入院収益	1,058,869			
外来収益	958,230			
診療収入計	2,017,099			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	322,735			
(うち他会計負担金)	176,493			
(2) 医業外収益	907,974			
(うち国・都道府県補助金)	123,842			
(うち他会計補助・負担金)	593,832			
(うち長期前受金戻入)	130,916			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,891			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,307,198			
2 経常費用	3,302,180			
(1) 医業費用	3,208,860			
職員給与費	1,669,131	71.3	59.4	67.0
材料費	350,543	15.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	94,228	4.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	230,162	9.8	11.8	9.4
減価償却費	225,389	9.6	8.7	10.2
経費	949,093	40.6	22.1	28.8
(うち委託料)	375,781	16.1	11.7	13.2
研究研修費	10,710			
資産減耗費	3,994			
(2) 医業外費用	93,320			
(うち支払利息)	2,190	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	5,018			
損益				
経常収支比率	98.4		103.3	104.5
医業収支比率	72.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	67.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	23.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	32.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	75.0		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,079,518
1 固定資産	2,648,960
(1) 有形固定資産	2,496,005
(2) 無形固定資産	1,954
(3) 投資その他の資産	151,001
2 流動資産	1,430,558
(1) 現金及び預金	878,349
(2) 未収金及び未収収益	540,879
(3) 貸倒引当金( )	86
(4) 貯蔵品	11,416
3 繰延資産	-
負債合計	4,557,730
1 固定負債	1,370,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,315,020
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	55,216
2 流動負債	1,060,475
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	148,342
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	114,169
(6) リリース債務	18,306
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	765,864
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,127,019
(1) 長期前受金	3,583,873
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,456,854
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-478,212
1 資本金	149,058
2 剰余金	-627,270
(1) 資本剰余金	469,467
(2) 利益剰余金	-1,096,737
負債・資本合計	4,079,518
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	478,212
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	658,016	770,325
資本勘定繰入	70,095	70,095
計	728,111	840,420

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	名寄市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,127 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	300	62.4	61.4	64.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	55	71.0	85.2	88.0
感染症	4	-	-	0.2
計	359	63.0	64.4	67.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.3	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	27,282	
決算規模(千円)	24,702,214	
標準財政規模(千円)	12,919,413	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	5.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,278,499			
1 経常収益	10,154,671			
(1) 医業収益	8,219,573			
(うち修正医業収益)	7,818,884			
入院収益	5,285,762			
外来収益	2,407,377			
診療収入計	7,693,139			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	526,434			
(うち他会計負担金)	400,689			
(2) 医業外収益	1,935,098			
(うち国・都道府県補助金)	1,027,570			
(うち他会計補助・負担金)	534,682			
(うち長期前受金戻入)	116,988			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	123,828			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,075,390			
2 経常費用	10,031,676			
(1) 医業費用	9,645,113			
職員給与費	5,418,553	65.9	59.4	59.0
材料費	2,229,671	27.1	26.1	25.6
(うち薬品費)	824,701	10.0	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,323,783	16.1	11.8	11.2
減価償却費	619,041	7.5	8.7	8.6
経費	1,346,308	16.4	22.1	21.3
(うち委託料)	417,895	5.1	11.7	11.6
研究研修費	24,137			
資産減耗費	7,403			
(2) 医業外費用	386,563			
(うち支払利息)	33,581	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	43,714			
損益	122,995			
純損益	203,109			
累積欠損金	5,241,699			
経常収支比率	101.2		103.3	104.8
医業収支比率	85.2		85.5	87.0
修正医業収支比率	81.1		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.4		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.1		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	91.9		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,273,199
1 固定資産	8,560,271
(1) 有形固定資産	8,395,716
(2) 無形固定資産	13,595
(3) 投資その他の資産	150,960
2 流動資産	2,712,928
(1) 現金及び預金	631,772
(2) 未収金及び未収収益	1,987,679
(3) 貸倒引当金( )	2,007
(4) 貯蔵品	94,984
3 繰延資産	-
負債合計	7,433,172
1 固定負債	4,336,626
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,168,236
(2) その他の企業債	43,009
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,125,381
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,605,039
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	590,848
(2) その他の企業債	15,040
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	357,423
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	602,602
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,491,507
(1) 長期前受金	2,651,008
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,159,501
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,840,027
1 資本金	8,195,190
2 剰余金	-4,355,163
(1) 資本剰余金	641,334
(2) 利益剰余金	-4,996,497
負債・資本合計	11,273,199
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	954,602	935,371
資本勘定繰入	336,341	295,121
計	1,290,943	1,230,492

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	名寄市		
病院名	名寄東病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,895 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	105	85.1	84.7	86.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	85.1	84.7	86.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	27,282
決算規模(千円)	24,702,214
標準財政規模(千円)	12,919,413
財政力指数	0.27
経常収支比率(%)	96.4
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	695,935			
1 経常収益	695,755			
(1) 医業収益	552,797			
(うち修正医業収益)	552,797			
入院収益	486,730			
外来収益	52,756			
診療収入計	539,486			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	13,311			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	142,958			
(うち国・都道府県補助金)	17,365			
(うち他会計補助・負担金)	115,854			
(うち長期前受金戻入)	8,150			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	180			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	696,522			
2 経常費用	696,522			
(1) 医業費用	673,496			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	30,717	5.6	8.7	10.2
経費	642,779	116.3	22.1	28.8
(うち委託料)	230,119	41.6	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	23,026			
(うち支払利息)	87	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-767			
純損益	-587			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		103.3	104.5
医業収支比率	82.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	82.1		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	21.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	83.3		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,273,199
1 固定資産	8,560,271
(1) 有形固定資産	8,395,716
(2) 無形固定資産	13,595
(3) 投資その他の資産	150,960
2 流動資産	2,712,928
(1) 現金及び預金	631,772
(2) 未収金及び未収収益	1,987,679
(3) 貸倒引当金( )	2,007
(4) 貯蔵品	94,984
3 繰延資産	-
負債合計	7,433,172
1 固定負債	4,336,626
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,168,236
(2) その他の企業債	43,009
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,125,381
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,605,039
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	590,848
(2) その他の企業債	15,040
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	357,423
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	602,602
(8) 未払金及び未払費用	602,602
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,491,507
(1) 長期前受金	2,651,008
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,159,501
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,840,027
1 資本金	8,195,190
2 剰余金	-4,355,163
(1) 資本剰余金	641,334
(2) 利益剰余金	-4,996,497
負債・資本合計	11,273,199
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	115,854	115,854
資本勘定繰入	-	-
計	115,854	115,854

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	三笠市				
病院名	三笠総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,780 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	91	54.1	47.8	41.0
療養	43	70.5	71.1	68.8
結核	-	-	-	-
精神	65	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	61.7	59.1	52.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	10.8	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	8,040	
決算規模(千円)	13,984,612	
標準財政規模(千円)	4,997,273	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	24.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,976,505			
1 経常収益	1,623,443			
(1) 医業収益	1,051,405			
(うち修正医業収益)	879,138			
入院収益	540,114			
外来収益	300,832			
診療収入計	840,946			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	210,459			
(うち他会計負担金)	172,267			
(2) 医業外収益	572,038			
(うち国・都道府県補助金)	78,369			
(うち他会計補助・負担金)	436,388			
(うち長期前受金戻入)	22,182			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	353,062			
(うち他会計繰入金)	302,000			
総費用	2,070,048			
2 経常費用	1,970,048			
(1) 医業費用	1,954,554			
職員給与費	995,861	94.7	59.4	67.0
材料費	189,619	18.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	62,456	5.9	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	110,043	10.5	11.8	9.4
減価償却費	111,630	10.6	8.7	10.2
経費	654,615	62.3	22.1	28.8
(うち委託料)	221,043	21.0	11.7	13.2
研究研修費	2,409			
資産減耗費	420			
(2) 医業外費用	15,494			
(うち支払利息)	1,232	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	100,000			
損益	-346,605			
純損益	-93,543			
累積欠損金	1,522,914			
経常収支比率	82.4		103.3	104.5
医業収支比率	53.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	45.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	37.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	57.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	46.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	51.5		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,477,616
1 固定資産	1,250,972
(1) 有形固定資産	1,236,746
(2) 無形固定資産	246
(3) 投資その他の資産	13,980
2 流動資産	226,644
(1) 現金及び預金	35,330
(2) 未収金及び未収収益	188,477
(3) 貸倒引当金( )	657
(4) 貯蔵品	3,494
3 繰延資産	-
負債合計	1,882,342
1 固定負債	1,215,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	548,570
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	666,472
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	286,930
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,942
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,188
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	117,881
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	380,370
(1) 長期前受金	2,088,506
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,708,136
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-404,726
1 資本金	1,039,582
2 剰余金	-1,444,308
(1) 資本剰余金	78,606
(2) 利益剰余金	-1,522,914
負債・資本合計	1,477,616
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	404,726
資本不足額(繰延収益控除後)( )	24,356
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	252,421	910,655
資本勘定繰入	24,330	29,813
計	276,751	940,468

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	144.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	根室市				
病院名	根室病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	13,281 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救感災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	131	57.8	57.9	71.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	95.4	73.6	24.0
計	135	59.0	58.4	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	17.2	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	24,636	
決算規模(千円)	48,070,865	
標準財政規模(千円)	9,205,648	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,056,913			
1 経常収益	5,035,822			
(1) 医業収益	2,851,172			
(うち修正医業収益)	2,727,993			
入院収益	1,260,117			
外来収益	1,385,310			
診療収入計	2,645,427			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	205,745			
(うち他会計負担金)	123,179			
(2) 医業外収益	2,184,650			
(うち国・都道府県補助金)	630,905			
(うち他会計補助・負担金)	1,103,328			
(うち長期前受金戻入)	370,803			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21,091			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,034,863			
2 経常費用	5,033,773			
(1) 医業費用	4,834,062			
職員給与費	2,220,198	77.9	59.4	67.0
材料費	807,918	28.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	443,217	15.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	364,701	12.8	11.8	9.4
減価償却費	376,718	13.2	8.7	10.2
経費	1,391,763	48.8	22.1	28.8
(うち委託料)	495,544	17.4	11.7	13.2
研究研修費	33,946			
資産減耗費	3,519			
(2) 医業外費用	199,711			
(うち支払利息)	3,857	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,090			
経常損益	2,049			
純損益	22,050			
累積欠損金	2,704,084			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	59.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	56.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	24.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	43.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	24.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	75.7		91.9	88.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,027,230
1 固定資産	3,073,649
(1) 有形固定資産	3,063,031
(2) 無形固定資産	742
(3) 投資その他の資産	9,876
2 流動資産	953,581
(1) 現金及び預金	57,382
(2) 未収金及び未収収益	870,536
(3) 貸倒引当金( )	4,205
(4) 貯蔵品	25,355
3 繰延資産	-
負債合計	6,204,427
1 固定負債	3,272,023
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,323,454
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	874,611
(7) 一ス債務	73,958
2 流動負債	1,133,934
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	260,420
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	137,241
(6) リ一ス債務	42,590
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	241,007
(9) 前受金及び前受収益	220,083
3 繰延収益	1,798,470
(1) 長期前受金	2,422,502
(2) 長期前受金収益化累計額( )	624,032
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,177,197
1 資本金	335,757
2 剰余金	-2,512,954
(1) 資本剰余金	191,130
(2) 利益剰余金	-2,704,084
負債・資本合計	4,027,230
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,177,197
資本不足額(繰延収益控除後)( )	378,727
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,030,212	1,226,507
資本勘定繰入	151,517	303,034
計	1,181,729	1,529,541

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	千歳市				
病院名	千歳市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,590 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	190	63.0	65.1	56.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	190	63.0	65.1	56.7
平均在院日数(一般病床のみ)		8.6	8.9	8.8

設立団体の状況		
人口(人)	97,950	
決算規模(千円)	53,231,337	
標準財政規模(千円)	25,385,616	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	88.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,710,951			
1 経常収益	6,695,569			
(1) 医業収益	5,500,652			
(うち修正医業収益)	5,048,054			
入院収益	2,975,829			
外来収益	1,753,065			
診療収入計	4,728,894			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	771,758			
(うち他会計負担金)	452,598			
(2) 医業外収益	1,194,917			
(うち国・都道府県補助金)	528,240			
(うち他会計補助・負担金)	577,081			
(うち長期前受金戻入)	68,837			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,382			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,721,265			
2 経常費用	6,715,024			
(1) 医業費用	6,403,026			
職員給与費	3,385,348	61.5	59.4	67.0
材料費	1,196,819	21.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	542,084	9.9	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	654,735	11.9	11.8	9.4
減価償却費	502,597	9.1	8.7	10.2
経費	1,293,918	23.5	22.1	28.8
(うち委託料)	539,453	9.8	11.7	13.2
研究研修費	17,156			
資産減耗費	7,188			
(2) 医業外費用	311,998			
(うち支払利息)	76,026	1.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	6,241			
経常損益	-19,455			
純損益	-10,314			
累積欠損金	2,619,763			
経常収支比率	99.7		103.3	104.5
医業収支比率	85.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	78.8		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	18.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	84.4		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,780,363
1 固定資産	6,196,802
(1) 有形固定資産	5,918,679
(2) 無形固定資産	1,881
(3) 投資その他の資産	276,242
2 流動資産	2,583,561
(1) 現金及び預金	1,475,490
(2) 未収金及び未収収益	1,065,133
(3) 貸倒引当金( )	766
(4) 貯蔵品	43,704
3 繰延資産	-
負債合計	7,663,932
1 固定負債	6,000,985
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,755,248
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,245,737
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,308,644
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	650,596
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	211,466
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	444,273
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	354,303
(1) 長期前受金	658,372
(2) 長期前受金収益化累計額( )	304,069
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,116,431
1 資本金	3,633,367
2 剰余金	-2,516,936
(1) 資本剰余金	102,827
(2) 利益剰余金	-2,619,763
負債・資本合計	8,780,363
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,060,890	1,029,679
資本勘定繰入	317,562	-
計	1,378,452	1,029,679

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	滝川市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,080 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	270	57.9	53.1	53.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	44	47.8	46.7	49.8
感染症	-	-	-	-
計	314	56.5	52.2	53.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	13.3	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	39,490	
決算規模(千円)	23,307,845	
標準財政規模(千円)	11,990,836	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	32.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,215,621			
1 経常収益	8,025,115			
(1) 医業収益	5,753,634			
(うち修正医業収益)	5,593,209			
入院収益	3,304,002			
外来収益	2,153,224			
診療収入計	5,457,226			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	296,408			
(うち他会計負担金)	160,425			
(2) 医業外収益	2,271,481			
(うち国・都道府県補助金)	1,280,494			
(うち他会計補助・負担金)	668,741			
(うち長期前受金戻入)	37,639			
(うち資本費繰入収益)	207,721			
(3) 特別利益	190,506			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,123,036			
2 経常費用	7,123,036			
(1) 医業費用	6,849,207			
職員給与費	3,723,683	64.7	59.4	59.0
材料費	1,430,236	24.9	26.1	25.6
(うち薬品費)	495,634	8.6	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	880,423	15.3	11.8	11.2
減価償却費	514,504	8.9	8.7	8.6
経費	1,138,424	19.8	22.1	21.3
(うち委託料)	503,778	8.8	11.7	11.6
研究研修費	20,263			
資産減耗費	22,097			
(2) 医業外費用	273,829			
(うち支払利息)	130,846	2.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	902,079			
純損益	1,092,585			
累積欠損金	2,980,556			
経常収支比率	112.7		103.3	104.8
医業収支比率	84.0		85.5	87.0
修正医業収支比率	81.7		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	10.1		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	101.0		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,941,181
1 固定資産	6,166,617
(1) 有形固定資産	6,086,014
(2) 無形固定資産	2,068
(3) 投資その他の資産	78,535
2 流動資産	1,774,564
(1) 現金及び預金	178,812
(2) 未収金及び未収収益	1,574,714
(3) 貸倒引当金( )	2,255
(4) 貯蔵品	23,293
3 繰延資産	-
負債合計	9,075,051
1 固定負債	7,216,224
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,809,772
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	406,452
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,060,408
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	456,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	218,696
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	357,854
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	798,419
(1) 長期前受金	1,102,243
(2) 長期前受金収益化累計額( )	303,824
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,133,870
1 資本金	1,316,316
2 剰余金	-2,450,186
(1) 資本剰余金	155,370
(2) 利益剰余金	-2,605,556
負債・資本合計	7,941,181
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,133,870
資本不足額(繰延収益控除後)( )	335,451
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,107,020	829,166
資本勘定繰入	222,883	215,735
計	1,329,903	1,044,901

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	48,966	0.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	砂川市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	53,186 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	408	65.0	74.4	71.3
療養	-	-	-	-
結核	6	20.7	12.2	10.3
精神	80	57.2	65.0	59.5
感染症	4	11.7	19.6	36.2
計	498	62.8	71.7	68.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.2	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	16,486	
決算規模(千円)	15,689,417	
標準財政規模(千円)	7,238,368	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	83.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	48.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,155,641			
1 経常収益	14,143,183			
(1) 医業収益	11,912,200			
(うち修正医業収益)	11,652,660			
入院収益	7,652,944			
外来収益	3,700,928			
診療収入計	11,353,872			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	558,328			
(うち他会計負担金)	259,540			
(2) 医業外収益	2,230,983			
(うち国・都道府県補助金)	1,111,672			
(うち他会計補助・負担金)	882,594			
(うち長期前受金戻入)	95,228			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,458			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,946,642			
2 経常費用	14,877,517			
(1) 医業費用	14,632,682			
職員給与費	7,472,867	62.7	59.4	57.2
材料費	3,536,604	29.7	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,695,654	14.2	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,731,706	14.5	11.8	12.7
減価償却費	991,942	8.3	8.7	8.0
経費	2,566,524	21.5	22.1	19.0
(うち委託料)	1,083,073	9.1	11.7	10.0
研究研修費	48,885			
資産減耗費	15,860			
(2) 医業外費用	244,835			
(うち支払利息)	70,816	0.6	1.0	1.0
(3) 特別損失	69,125			
損益	-734,334			
純損益	-791,001			
累積欠損金	7,701,536			
経常収支比率	95.1		103.3	103.2
医業収支比率	81.4		85.5	88.6
修正医業収支比率	79.6		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	8.1		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	87.4		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,986,480
1 固定資産	12,978,540
(1) 有形固定資産	12,474,897
(2) 無形固定資産	3,362
(3) 投資その他の資産	500,281
2 流動資産	4,007,940
(1) 現金及び預金	1,479,074
(2) 未収金及び未収収益	2,518,982
(3) 貸倒引当金( )	2,287
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	14,289,216
1 固定負債	10,806,485
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,801,967
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,518
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,908,802
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	842,377
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	469,126
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	529,057
(9) 前受金及び前受収益	6,601
3 繰延収益	1,573,929
(1) 長期前受金	2,394,865
(2) 長期前受金収益化累計額( )	820,936
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,697,264
1 資本金	9,072,578
2 剰余金	-6,375,314
(1) 資本剰余金	379,330
(2) 利益剰余金	-6,754,644
負債・資本合計	16,986,480
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,559,877	1,142,134
資本勘定繰入	514,455	510,383
計	3,074,332	1,652,517

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	64.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	歌志内市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,998 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	60	72.8	70.9	78.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	72.8	70.9	78.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,989
決算規模(千円)	5,041,985
標準財政規模(千円)	2,357,872
財政力指数	0.10
経常収支比率(%)	93.3
健全化	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
判断比率	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	617,897			
1 経常収益	617,897			
(1) 医業収益	379,290			
(うち修正医業収益)	379,290			
入院収益	267,347			
外来収益	64,586			
診療収入計	331,933			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	47,357			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	238,607			
(うち国・都道府県補助金)	3,952			
(うち他会計補助・負担金)	229,329			
(うち長期前受金戻入)	4,624			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	605,056			
2 経常費用	605,056			
(1) 医業費用	576,918			
職員給与費	261,636	69.0	59.4	76.5
材料費	49,430	13.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	14,484	3.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,167	7.7	11.8	6.4
減価償却費	27,816	7.3	8.7	11.5
経費	236,466	62.3	22.1	32.6
(うち委託料)	79,047	20.8	11.7	14.8
研究研修費	539			
資産減耗費	1,031			
(2) 医業外費用	28,138			
(うち支払利息)	3,624	1.0	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	12,841			
純損益	12,841			
累積欠損金	762,973			
経常収支比率	102.1		103.3	101.5
医業収支比率	65.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	65.7		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	37.1		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	60.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	37.1		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	64.2		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,182,551
1 固定資産	449,686
(1) 有形固定資産	449,421
(2) 無形固定資産	265
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	732,865
(1) 現金及び預金	660,698
(2) 未収金及び未収収益	69,382
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,785
3 繰延資産	-
負債合計	521,907
1 固定負債	317,672
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	317,672
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	123,373
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,365
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,409
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	70,028
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	80,862
(1) 長期前受金	143,599
(2) 長期前受金収益化累計額( )	62,737
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	660,644
1 資本金	1,411,118
2 剰余金	-750,474
(1) 資本剰余金	12,499
(2) 利益剰余金	-762,973
負債・資本合計	1,182,551
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	204,450	229,329
資本勘定繰入	26,231	26,231
計	230,681	255,560

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	201.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	深川市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,954 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	57.2	67.9	68.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	56.6	40.7	29.4
計	203	57.2	67.4	67.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.7	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	20,039	
決算規模(千円)	19,912,306	
標準財政規模(千円)	9,296,065	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	84.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	121.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,006,655			
1 経常収益	5,006,630			
(1) 医業収益	3,666,233			
(うち修正医業収益)	3,583,151			
入院収益	1,991,923			
外来収益	1,451,696			
診療収入計	3,443,619			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	222,614			
(うち他会計負担金)	83,082			
(2) 医業外収益	1,340,397			
(うち国・都道府県補助金)	780,323			
(うち他会計補助・負担金)	487,987			
(うち長期前受金戻入)	7,361			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,811,946			
2 経常費用	4,798,610			
(1) 医業費用	4,523,382			
職員給与費	2,324,374	63.4	59.4	63.7
材料費	723,539	19.7	26.1	21.0
(うち薬品費)	451,036	12.3	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	272,503	7.4	11.8	10.1
減価償却費	390,193	10.6	8.7	9.7
経費	1,066,482	29.1	22.1	28.9
(うち委託料)	427,936	11.7	11.7	13.6
研究研修費	13,317			
資産減耗費	5,477			
(2) 医業外費用	275,228			
(うち支払利息)	102,817	2.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	13,336			
損益	208,020			
純損益	194,709			
累積欠損金	8,878,318			
経常収支比率	104.3		103.3	101.8
医業収支比率	81.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	79.2		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.6		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	11.4		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	92.4		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,693,196
1 固定資産	5,250,667
(1) 有形固定資産	5,149,676
(2) 無形固定資産	1,863
(3) 投資その他の資産	99,128
2 流動資産	1,442,529
(1) 現金及び預金	306,024
(2) 未収金及び未収収益	1,091,381
(3) 貸倒引当金( )	455
(4) 貯蔵品	45,555
3 繰延資産	-
負債合計	6,449,035
1 固定負債	5,274,813
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,234,521
(2) その他の企業債	40,292
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,005,150
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	617,314
(2) その他の企業債	5,754
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	161,928
(6) リ一ス債務	3,688
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	188,412
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	169,072
(1) 長期前受金	296,555
(2) 長期前受金収益化累計額( )	127,483
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	244,161
1 資本金	8,247,916
2 剰余金	-8,003,755
(1) 資本金剰余金	874,563
(2) 利益剰余金	-8,878,318
負債・資本合計	6,693,196
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	533,175	571,069
資本勘定繰入	383,334	383,334
計	916,509	954,403

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	242.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	松前町				
病院名	松前病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,060 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	93	53.3	51.4	65.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	93	53.3	51.4	65.7
平均在院日数(一般病床のみ)		23.5	22.5	25.0

設立団体の状況		
人口(人)	6,260	
決算規模(千円)	5,961,609	
標準財政規模(千円)	3,826,764	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	86.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	4.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,265,013			
1 経常収益	1,263,102			
(1) 医業収益	975,372			
(うち修正医業収益)	939,078			
入院収益	494,512			
外来収益	373,159			
診療収入計	867,671			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	107,701			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	287,730			
(うち国・都道府県補助金)	3,551			
(うち他会計補助・負担金)	229,888			
(うち長期前受金戻入)	44,148			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,911			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,332,030			
2 経常費用	1,329,377			
(1) 医業費用	1,290,012			
職員給与費	711,526	72.9	59.4	76.5
材料費	128,167	13.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	68,818	7.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	59,349	6.1	11.8	6.4
減価償却費	62,829	6.4	8.7	11.5
経費	385,643	39.5	22.1	32.6
(うち委託料)	119,613	12.3	11.7	14.8
研究研修費	1,823			
資産減耗費	24			
(2) 医業外費用	39,365			
(うち支払利息)	1,331	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	2,653			
損益	経常損益	-66,275		
	純損益	-67,017		
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.0		103.3	101.5
医業収支比率	75.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	72.8		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	21.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	75.0		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,473,726
1 固定資産	620,789
(1) 有形固定資産	605,478
(2) 無形固定資産	55
(3) 投資その他の資産	15,256
2 流動資産	852,937
(1) 現金及び預金	688,841
(2) 未収金及び未収収益	151,160
(3) 貸倒引当金( )	1,720
(4) 貯蔵品	14,656
3 繰延資産	-
負債合計	559,987
1 固定負債	105,932
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	94,104
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	11,828
2 流動負債	130,446
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,213
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,084
(6) リース債務	4,478
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	45,114
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	323,609
(1) 長期前受金	1,387,035
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,063,426
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	913,739
1 資本金	646,298
2 剰余金	267,441
(1) 資本剰余金	210,480
(2) 利益剰余金	56,961
負債・資本合計	1,473,726
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	284,262	266,182
資本勘定繰入	20,650	33,249
計	304,912	299,431

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	木古内町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,945 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	99	24.4	24.8	26.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	24.4	24.8	26.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	11.9	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	3,832	
決算規模(千円)	4,550,627	
標準財政規模(千円)	2,872,943	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	63.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,054,391			
1 経常収益	2,051,282			
(1) 医業収益	816,948			
(うち修正医業収益)	772,923			
入院収益	357,183			
外来収益	365,922			
診療収入計	723,105			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	93,843			
(うち他会計負担金)	44,025			
(2) 医業外収益	1,234,334			
(うち国・都道府県補助金)	824,745			
(うち他会計補助・負担金)	332,305			
(うち長期前受金戻入)	67,352			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,109			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,358,244			
2 経常費用	1,357,554			
(1) 医業費用	1,303,167			
職員給与費	863,068	105.6	59.4	76.5
材料費	127,521	15.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	57,276	7.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,245	8.6	11.8	6.4
減価償却費	130,383	16.0	8.7	11.5
経費	178,334	21.8	22.1	32.6
(うち委託料)	95,563	11.7	11.7	14.8
研究研修費	3,157			
資産減耗費	704			
(2) 医業外費用	54,387			
(うち支払利息)	14,445	1.8	1.0	1.3
(3) 特別損失	690			
損益	693,728			
純損益	696,147			
累積欠損金	-			
経常収支比率	151.1		103.3	101.5
医業収支比率	62.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	59.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	46.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	18.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	123.4		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,589,774
1 固定資産	1,726,651
(1) 有形固定資産	1,488,062
(2) 無形固定資産	1,477
(3) 投資その他の資産	237,112
2 流動資産	2,863,123
(1) 現金及び預金	2,224,299
(2) 未収金及び未収収益	598,832
(3) 貸倒引当金( )	767
(4) 貯蔵品	40,759
3 繰延資産	-
負債合計	1,685,227
1 固定負債	954,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	828,129
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	125,966
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	202,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	69,383
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	87,002
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,575
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	529,037
(1) 長期前受金	2,333,818
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,804,781
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,904,547
1 資本金	327,194
2 剰余金	2,577,353
(1) 資本金剰余金	57,903
(2) 利益剰余金	2,519,450
負債・資本合計	4,589,774
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	370,630	376,330
資本勘定繰入	34,269	34,269
計	404,899	410,599

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	森町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,984 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	36.6	36.7	47.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	36.6	36.7	47.6
平均在院日数(一般病床のみ)		21.9	19.1	22.7

設立団体の状況		
人口(人)	14,338	
決算規模(千円)	14,302,004	
標準財政規模(千円)	6,120,733	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	927,878			
1 経常収益	927,076			
(1) 医業収益	562,854			
(うち修正医業収益)	526,560			
入院収益	265,651			
外来収益	215,453			
診療収入計	481,104			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	81,750			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	364,222			
(うち国・都道府県補助金)	67,028			
(うち他会計補助・負担金)	287,666			
(うち長期前受金戻入)	4,030			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	802			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	900,085			
2 経常費用	900,085			
(1) 医業費用	893,300			
職員給与費	565,969	100.6	59.4	76.5
材料費	68,204	12.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	32,567	5.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,267	5.0	11.8	6.4
減価償却費	49,763	8.8	8.7	11.5
経費	208,958	37.1	22.1	32.6
(うち委託料)	51,910	9.2	11.7	14.8
研究研修費	406			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,785			
(うち支払利息)	6,365	1.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	26,991			
純損益	27,793			
累積欠損金	1,519,700			
経常収支比率	103.0		103.3	101.5
医業収支比率	63.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	58.9		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	34.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	57.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	34.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	67.0		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,172,791
1 固定資産	755,052
(1) 有形固定資産	754,743
(2) 無形固定資産	309
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	417,739
(1) 現金及び預金	273,021
(2) 未収金及び未収収益	152,542
(3) 貸倒引当金( )	21,216
(4) 貯蔵品	13,392
3 繰延資産	-
負債合計	335,887
1 固定負債	106,838
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	106,838
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	186,691
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	120,194
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,653
(6) リース債務	1,284
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,962
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	42,358
(1) 長期前受金	116,281
(2) 長期前受金収益化累計額( )	73,923
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	836,904
1 資本金	2,356,214
2 剰余金	-1,519,310
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,519,310
負債・資本合計	1,172,791
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	285,016	323,960
資本勘定繰入	75,217	75,246
計	360,233	399,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	270.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	八雲町		
病院名	八雲総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,850 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	183	55.9	66.3	61.7
療養	40	62.6	74.5	85.1
結核	-	-	-	-
精神	100	75.4	80.9	82.9
感染症	4	54.0	30.6	34.2
計	327	62.7	71.3	70.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	15,826	
決算規模(千円)	15,822,256	
標準財政規模(千円)	8,104,486	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,730,801			
1 経常収益	5,711,981			
(1) 医業収益	3,902,823			
(うち修正医業収益)	3,799,841			
入院収益	2,404,771			
外来収益	1,236,649			
診療収入計	3,641,420			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	261,403			
(うち他会計負担金)	102,982			
(2) 医業外収益	1,809,158			
(うち国・都道府県補助金)	913,876			
(うち他会計補助・負担金)	817,973			
(うち長期前受金戻入)	48,779			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,820			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,292,003			
2 経常費用	5,270,874			
(1) 医業費用	5,083,644			
職員給与費	2,806,794	71.9	59.4	59.0
材料費	722,613	18.5	26.1	25.6
(うち薬品費)	354,701	9.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	314,565	8.1	11.8	11.2
減価償却費	345,212	8.8	8.7	8.6
経費	1,192,329	30.6	22.1	21.3
(うち委託料)	188,298	4.8	11.7	11.6
研究研修費	6,926			
資産減耗費	9,770			
(2) 医業外費用	187,230			
(うち支払利息)	25,681	0.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	21,129			
損益	441,107			
純損益	438,798			
累積欠損金	5,556,330			
経常収支比率	108.4		103.3	104.8
医業収支比率	76.8		85.5	87.0
修正医業収支比率	74.7		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	23.6		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	16.1		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	90.9		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,680,255
1 固定資産	6,834,429
(1) 有形固定資産	6,661,152
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	171,520
2 流動資産	3,845,826
(1) 現金及び預金	2,567,603
(2) 未収金及び未収収益	1,225,483
(3) 貸倒引当金( )	6,182
(4) 貯蔵品	58,922
3 繰延資産	-
負債合計	8,881,269
1 固定負債	6,163,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,981,365
(2) その他の企業債	823,583
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	355,492
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,077,790
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	394,202
(2) その他の企業債	134,772
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	197,198
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	315,441
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,640,039
(1) 長期前受金	2,264,590
(2) 長期前受金収益化累計額( )	624,551
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,798,986
1 資本金	6,913,067
2 剰余金	-5,114,081
(1) 資本剰余金	1,093,437
(2) 利益剰余金	-6,207,518
負債・資本合計	10,680,255
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	920,955	920,955
資本勘定繰入	180,880	192,160
計	1,101,835	1,113,115

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	138.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	八雲町		
病院名	八雲町熊石国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,262 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	99	36.9	49.1	49.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	36.9	49.1	49.9
平均在院日数(一般病床のみ)		71.5	53.7	57.1

設立団体の状況		
人口(人)	15,826	
決算規模(千円)	15,822,256	
標準財政規模(千円)	8,104,486	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	879,833			
1 経常収益	857,222			
(1) 医業収益	587,776			
(うち修正医業収益)	545,778			
入院収益	267,440			
外来収益	260,082			
診療収入計	527,522			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	60,254			
(うち他会計負担金)	41,998			
(2) 医業外収益	269,446			
(うち国・都道府県補助金)	135,191			
(うち他会計補助・負担金)	120,960			
(うち長期前受金戻入)	8,037			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,611			
(うち他会計繰入金)	18,638			
総費用	876,582			
2 経常費用	874,291			
(1) 医業費用	837,641			
職員給与費	444,011	75.5	59.4	76.5
材料費	203,998	34.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	173,624	29.5	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,374	5.2	11.8	6.4
減価償却費	32,558	5.5	8.7	11.5
経費	153,841	26.2	22.1	32.6
(うち委託料)	69,195	11.8	11.7	14.8
研究研修費	1,157			
資産減耗費	2,076			
(2) 医業外費用	36,650			
(うち支払利息)	2,559	0.4	1.0	1.3
(3) 特別損失	2,291			
損益	経常損益	-17,069		
	純損益	3,251		
累積欠損金	651,188			
経常収支比率	98.0		103.3	101.5
医業収支比率	70.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	65.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	20.6		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	79.4		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,680,255
1 固定資産	6,834,429
(1) 有形固定資産	6,661,152
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	171,520
2 流動資産	3,845,826
(1) 現金及び預金	2,567,603
(2) 未収金及び未収収益	1,225,483
(3) 貸倒引当金( )	6,182
(4) 貯蔵品	58,922
3 繰延資産	-
負債合計	8,881,269
1 固定負債	6,163,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,981,365
(2) その他の企業債	823,583
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	355,492
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,077,790
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	394,202
(2) その他の企業債	134,772
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	197,198
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	315,441
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,640,039
(1) 長期前受金	2,264,590
(2) 長期前受金収益化累計額( )	624,551
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,798,986
1 資本金	6,913,067
2 剰余金	-5,114,081
(1) 資本金剰余金	1,093,437
(2) 利益剰余金	-6,207,518
負債・資本合計	10,680,255
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	160,138	181,596
資本勘定繰入	27,256	33,421
計	187,394	215,017

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	138.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	長万部町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,669 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	37.3	38.5	30.4
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	20.7	21.4	16.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.6	19.4	17.8

設立団体の状況	
人口(人)	5,109
決算規模(千円)	6,927,094
標準財政規模(千円)	3,230,248
財政力指数	0.23
経常収支比率(%)	89.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 10.7 27.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	641,527			
1 経常収益	641,527			
(1) 医業収益	302,159			
(うち修正医業収益)	259,574			
入院収益	89,333			
外来収益	128,421			
診療収入計	217,754			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	84,405			
(うち他会計負担金)	42,585			
(2) 医業外収益	339,368			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	332,887			
(うち長期前受金戻入)	4,048			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	674,126			
2 経常費用	674,126			
(1) 医業費用	672,955			
職員給与費	383,600	127.0	59.4	76.5
材料費	47,359	15.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	32,935	10.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,424	4.8	11.8	6.4
減価償却費	28,131	9.3	8.7	11.5
経費	212,892	70.5	22.1	32.6
(うち委託料)	98,473	32.6	11.7	14.8
研究研修費	498			
資産減耗費	475			
(2) 医業外費用	1,171			
(うち支払利息)	178	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-32,599		
	純損益	-32,599		
累積欠損金	555,752			
経常収支比率	95.2		103.3	101.5
医業収支比率	44.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	38.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	58.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	124.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	58.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	39.5		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	499,281
1 固定資産	446,617
(1) 有形固定資産	445,814
(2) 無形固定資産	803
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	52,664
(1) 現金及び預金	9,263
(2) 未収金及び未収収益	39,860
(3) 貸倒引当金( )	16
(4) 貯蔵品	3,557
3 繰延資産	-
負債合計	101,791
1 固定負債	35,293
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,161
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	8,132
2 流動負債	55,958
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,597
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,528
(6) リース債務	2,188
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,115
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,540
(1) 長期前受金	75,422
(2) 長期前受金収益化累計額( )	64,882
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	397,490
1 資本金	942,843
2 剰余金	-545,353
(1) 資本剰余金	10,399
(2) 利益剰余金	-555,752
負債・資本合計	499,281
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	375,472	375,472
資本勘定繰入	6,896	4,528
計	382,368	380,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	183.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	厚沢部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,455 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	45	29.9	32.9	47.1
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	69	19.5	21.5	30.7
平均在院日数(一般病床のみ)		30.9	33.2	41.7

設立団体の状況		
人口(人)	3,592	
決算規模(千円)	5,405,971	
標準財政規模(千円)	3,076,886	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	78.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	492,336			
1 経常収益	492,336			
(1) 医業収益	258,461			
(うち修正医業収益)	199,481			
入院収益	95,234			
外来収益	67,482			
診療収入計	162,716			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	95,745			
(うち他会計負担金)	58,980			
(2) 医業外収益	233,875			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	200,996			
(うち長期前受金戻入)	24,682			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	492,317			
2 経常費用	492,317			
(1) 医業費用	489,035			
職員給与費	325,653	126.0	59.4	76.5
材料費	25,507	9.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	10,013	3.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,494	6.0	11.8	6.4
減価償却費	31,425	12.2	8.7	11.5
経費	106,191	41.1	22.1	32.6
(うち委託料)	61,597	23.8	11.7	14.8
研究研修費	93			
資産減耗費	166			
(2) 医業外費用	3,282			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	19			
純損益	19			
累積欠損金	350,515			
経常収支比率	100.0		103.3	101.5
医業収支比率	52.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	40.8		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	52.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	100.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	52.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	47.2		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	616,998
1 固定資産	380,696
(1) 有形固定資産	380,582
(2) 無形固定資産	114
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	236,302
(1) 現金及び預金	45,662
(2) 未収金及び未収収益	188,234
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,406
3 繰延資産	-
負債合計	284,635
1 固定負債	16,800
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,800
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	101,576
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,828
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	67,271
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	166,259
(1) 長期前受金	875,916
(2) 長期前受金収益化累計額( )	709,657
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	332,363
1 資本金	682,878
2 剰余金	-350,515
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-350,515
負債・資本合計	616,998
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	259,976	259,976
資本勘定繰入	11,445	22,890
計	271,421	282,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	135.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	乙部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,784 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	58	20.7	25.9	35.6
療養	4	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	62	19.4	24.2	31.6
平均在院日数(一般病床のみ)		33.1	29.7	45.1

設立団体の状況		
人口(人)	3,403	
決算規模(千円)	4,824,341	
標準財政規模(千円)	2,538,540	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	66.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	531,961			
1 経常収益	529,759			
(1) 医業収益	237,853			
(うち修正医業収益)	201,559			
入院収益	88,568			
外来収益	77,195			
診療収入計	165,763			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	72,090			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	291,906			
(うち国・都道府県補助金)	130,186			
(うち他会計補助・負担金)	125,714			
(うち長期前受金戻入)	18,066			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,202			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	434,441			
2 経常費用	433,011			
(1) 医業費用	415,207			
職員給与費	276,010	116.0	59.4	76.5
材料費	35,798	15.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	12,284	5.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,372	8.1	11.8	6.4
減価償却費	32,881	13.8	8.7	11.5
経費	66,283	27.9	22.1	32.6
(うち委託料)	21,017	8.8	11.7	14.8
研究研修費	3,567			
資産減耗費	668			
(2) 医業外費用	17,804			
(うち支払利息)	703	0.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,430			
損益	96,748			
純損益	97,520			
累積欠損金	9,807			
経常収支比率	122.3		103.3	101.5
医業収支比率	57.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	48.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	30.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	68.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	30.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	84.9		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	799,964
1 固定資産	378,760
(1) 有形固定資産	367,422
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	11,338
2 流動資産	421,204
(1) 現金及び預金	312,358
(2) 未収金及び未収収益	105,733
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,113
3 繰延資産	-
負債合計	294,258
1 固定負債	104,123
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	104,123
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	72,182
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,629
(2) その他の企業債	1,531
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,562
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,460
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	117,953
(1) 長期前受金	243,544
(2) 長期前受金収益化累計額( )	125,591
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	505,706
1 資本金	515,513
2 剰余金	-9,807
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-9,807
負債・資本合計	799,964
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	162,008	162,008
資本勘定繰入	19,472	21,288
計	181,480	183,296

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	奥尻町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,236 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	17	50.1	39.7	69.9
療養	23	42.8	37.4	45.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	46.0	38.4	55.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	16.1	15.4

設立団体の状況	
人口(人)	2,410
決算規模(千円)	5,113,676
標準財政規模(千円)	2,471,881
財政力指数	0.13
経常収支比率(%)	89.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 8.8 8.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	721,544			
1 経常収益	721,544			
(1) 医業収益	367,759			
(うち修正医業収益)	342,990			
入院収益	111,427			
外来収益	200,471			
診療収入計	311,898			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,861			
(うち他会計負担金)	24,769			
(2) 医業外収益	353,785			
(うち国・都道府県補助金)	61,920			
(うち他会計補助・負担金)	271,186			
(うち長期前受金戻入)	8,579			
(うち資本費繰入収益)	3,898			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	760,510			
2 経常費用	757,050			
(1) 医業費用	730,270			
職員給与費	420,025	114.2	59.4	87.7
材料費	140,711	38.3	26.1	13.6
(うち薬品費)	96,618	26.3	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,295	9.9	11.8	5.9
減価償却費	39,490	10.7	8.7	12.7
経費	129,672	35.3	22.1	45.1
(うち委託料)	75,784	20.6	11.7	21.3
研究研修費	372			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,780			
(うち支払利息)	528	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	3,460			
経常損失	-35,506			
純損失	-38,966			
累積欠損金	678,805			
経常収支比率	95.3		103.3	101.7
医業収支比率	50.4		85.5	62.5
修正医業収支比率	47.0		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	41.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	80.5		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	41.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	56.2		91.9	67.5

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	500,695
1 固定資産	328,328
(1) 有形固定資産	321,500
(2) 無形固定資産	262
(3) 投資その他の資産	6,566
2 流動資産	172,367
(1) 現金及び預金	70,940
(2) 未収金及び未収収益	94,893
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,534
3 繰延資産	-
負債合計	249,143
1 固定負債	97,796
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,119
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	2,677
2 流動負債	151,624
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,154
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,095
(6) リ一ス債務	5,796
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,569
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-277
(1) 長期前受金	261,201
(2) 長期前受金収益化累計額( )	261,478
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	251,552
1 資本金	930,357
2 剰余金	-678,805
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-678,805
負債・資本合計	500,695
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	277
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	295,955	295,955
資本勘定繰入	4,997	4,997
計	300,952	300,952

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	184.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	今金町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,003 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	33	68.6	71.2	57.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	33	68.6	71.2	57.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	20.3	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,072	
決算規模(千円)	7,910,287	
標準財政規模(千円)	3,683,633	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	79.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	811,998			
1 経常収益	811,998			
(1) 医業収益	488,686			
(うち修正医業収益)	442,355			
入院収益	252,053			
外来収益	142,291			
診療収入計	394,344			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	94,342			
(うち他会計負担金)	46,331			
(2) 医業外収益	323,312			
(うち国・都道府県補助金)	43,606			
(うち他会計補助・負担金)	264,715			
(うち長期前受金戻入)	11,761			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	811,991			
2 経常費用	808,939			
(1) 医業費用	791,611			
職員給与費	457,555	93.6	59.4	87.7
材料費	63,882	13.1	26.1	13.6
(うち薬品費)	22,399	4.6	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,731	8.3	11.8	5.9
減価償却費	38,520	7.9	8.7	12.7
経費	228,663	46.8	22.1	45.1
(うち委託料)	111,652	22.8	11.7	21.3
研究研修費	655			
資産減耗費	2,336			
(2) 医業外費用	17,328			
(うち支払利息)	483	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	3,052			
損益	3,059			
純損益	7			
累積欠損金	6,397			
経常収支比率	100.4		103.3	101.7
医業収支比率	61.7		85.5	62.5
修正医業収支比率	55.9		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	38.3		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	63.6		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	38.3		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	61.9		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,105,289
1 固定資産	629,607
(1) 有形固定資産	629,356
(2) 無形固定資産	251
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	475,682
(1) 現金及び預金	112,696
(2) 未収金及び未収収益	342,156
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,866
3 繰延資産	-
負債合計	256,780
1 固定負債	101,150
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	101,150
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	81,360
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,779
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,760
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	74,270
(1) 長期前受金	180,424
(2) 長期前受金収益化累計額( )	106,154
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	848,509
1 資本金	760,290
2 剰余金	88,219
(1) 資本剰余金	29,922
(2) 利益剰余金	58,297
負債・資本合計	1,105,289
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	311,046	311,046
資本勘定繰入	-	2,080
計	311,046	313,126

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	せたな町		
病院名	せたな町立国保病院(病院事業分)		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,331 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	38.7	37.0	51.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	38.7	37.0	51.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	15.5	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	7,398	
決算規模(千円)	9,386,182	
標準財政規模(千円)	5,769,812	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	85.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,243,925			
1 経常収益	1,243,878			
(1) 医業収益	750,507			
(うち修正医業収益)	687,566			
入院収益	285,047			
外来収益	344,426			
診療収入計	629,473			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	121,034			
(うち他会計負担金)	62,941			
(2) 医業外収益	493,371			
(うち国・都道府県補助金)	185,746			
(うち他会計補助・負担金)	288,667			
(うち長期前受金戻入)	15,468			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	47			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,164,903			
2 経常費用	1,164,902			
(1) 医業費用	1,158,353			
職員給与費	688,943	91.8	59.4	76.5
材料費	130,665	17.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	83,316	11.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	47,349	6.3	11.8	6.4
減価償却費	65,905	8.8	8.7	11.5
経費	266,560	35.5	22.1	32.6
(うち委託料)	131,704	17.5	11.7	14.8
研究研修費	1,512			
資産減耗費	4,768			
(2) 医業外費用	6,549			
(うち支払利息)	139	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	1			
損益	78,976			
純損益	79,022			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.8		103.3	101.5
医業収支比率	64.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	59.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	46.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	28.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	76.6		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,082,460
1 固定資産	815,967
(1) 有形固定資産	798,687
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	17,280
2 流動資産	1,266,493
(1) 現金及び預金	1,022,144
(2) 未収金及び未収収益	238,045
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,304
3 繰延資産	-
負債合計	233,475
1 固定負債	45,943
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	45,943
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	89,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,102
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,763
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	42,807
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	97,821
(1) 長期前受金	375,240
(2) 長期前受金収益化累計額( )	277,419
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,848,985
1 資本金	1,616,750
2 剰余金	232,235
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	232,235
負債・資本合計	2,082,460
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	328,322	351,608
資本勘定繰入	8,157	9,504
計	336,479	361,112

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	黒松内町		
病院名	黒松内町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,791	
決算規模(千円)	4,926,867	
標準財政規模(千円)	2,645,234	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	85.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	28.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	29			
1 経常収益	29			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	29			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	29			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	29			
2 経常費用	29			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29			
(うち支払利息)	29	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	29
資本勘定繰入	-	2,089
計	-	2,118

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	南幌町				
病院名	国保町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,043 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	66.8	64.1	54.4
療養	-	-	-	31.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	66.8	64.1	48.1
平均在院日数(一般病床のみ)		61.0	65.8	46.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,319	
決算規模(千円)	8,119,396	
標準財政規模(千円)	3,425,058	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	107.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	804,698			
1 経常収益	804,698			
(1) 医業収益	561,468			
(うち修正医業収益)	513,799			
入院収益	325,784			
外来収益	154,572			
診療収入計	480,356			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	81,112			
(うち他会計負担金)	47,669			
(2) 医業外収益	243,230			
(うち国・都道府県補助金)	231			
(うち他会計補助・負担金)	215,544			
(うち長期前受金戻入)	20,227			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	690,237			
2 経常費用	690,135			
(1) 医業費用	671,811			
職員給与費	354,900	63.2	59.4	76.5
材料費	40,031	7.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	19,764	3.5	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,505	3.3	11.8	6.4
減価償却費	55,716	9.9	8.7	11.5
経費	220,279	39.2	22.1	32.6
(うち委託料)	72,331	12.9	11.7	14.8
研究研修費	671			
資産減耗費	214			
(2) 医業外費用	18,324			
(うち支払利息)	25	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	102			
損益	114,563			
純損益	114,461			
累積欠損金	625,665			
経常収支比率	116.6		103.3	101.5
医業収支比率	83.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	76.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	32.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	46.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	32.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	78.5		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,021,583
1 固定資産	581,386
(1) 有形固定資産	581,233
(2) 無形固定資産	153
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	440,197
(1) 現金及び預金	357,099
(2) 未収金及び未収収益	81,532
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	1,566
3 繰延資産	-
負債合計	422,480
1 固定負債	136,214
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	136,214
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	113,096
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,974
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,795
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	41,250
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	173,170
(1) 長期前受金	612,621
(2) 長期前受金収益化累計額( )	439,451
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	599,103
1 資本金	1,224,768
2 剰余金	-625,665
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-625,665
負債・資本合計	1,021,583
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	263,213	263,213
資本勘定繰入	23,216	23,216
計	286,429	286,429

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	111.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	奈井江町				
病院名	奈井江町立国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,489 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	50	81.1	92.4	90.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	81.1	92.4	90.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,120	
決算規模(千円)	5,664,608	
標準財政規模(千円)	3,243,718	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	84.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	29.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	825,118			
1 経常収益	809,095			
(1) 医業収益	470,875			
(うち修正医業収益)	413,854			
入院収益	258,428			
外来収益	124,897			
診療収入計	383,325			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	87,550			
(うち他会計負担金)	57,021			
(2) 医業外収益	338,220			
(うち国・都道府県補助金)	26,414			
(うち他会計補助・負担金)	228,596			
(うち長期前受金戻入)	53,286			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16,023			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	794,099			
2 経常費用	793,491			
(1) 医業費用	732,909			
職員給与費	410,114	87.1	59.4	76.5
材料費	40,312	8.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	10,371	2.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,474	5.8	11.8	6.4
減価償却費	74,736	15.9	8.7	11.5
経費	198,072	42.1	22.1	32.6
(うち委託料)	82,820	17.6	11.7	14.8
研究研修費	2,942			
資産減耗費	6,733			
(2) 医業外費用	60,582			
(うち支払利息)	8,869	1.9	1.0	1.3
(3) 特別損失	608			
経常損益	15,604			
純損益	31,019			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.0		103.3	101.5
医業収支比率	64.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	56.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	60.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	34.6		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	66.0		91.9	78.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,440,300
1 固定資産	1,329,677
(1) 有形固定資産	1,329,507
(2) 無形固定資産	170
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	110,623
(1) 現金及び預金	20,538
(2) 未収金及び未収収益	87,364
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,705
3 繰延資産	-
負債合計	1,248,345
1 固定負債	205,657
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	124,357
(2) その他の企業債	81,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	291,286
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	121,639
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,476
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	120,000
(8) 未払金及び未払費用	15,533
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	751,402
(1) 長期前受金	1,781,748
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,030,346
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	191,955
1 資本金	49,265
2 剰余金	142,690
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	142,690
負債・資本合計	1,440,300
不良債務	59,024
実質資金不足額	59,024
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	260,062	285,617
資本勘定繰入	77,400	77,400
計	337,462	363,017

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	59,024	12.5
令和3年度	62,425	12.0
令和2年度	20,747	3.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	59,024
健全化法上の資金不足比率(%)	12.5
地財法上の資金不足額(千円)	140,324
地財法上の資金不足比率(%)	29.8

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	由仁町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	4,822	
決算規模(千円)	5,762,871	
標準財政規模(千円)	3,324,140	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.9
	将来負担比率(%)	74.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	93			
1 経常収益	93			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	93			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	93			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	93			
2 経常費用	93			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	-	-	8.7	11.5
経費	-	-	22.1	32.6
(うち委託料)	-	-	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	93			
(うち支払利息)	93	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.5
医業収支比率	-		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	-		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	59	93
資本勘定繰入	1,923	3,683
計	1,982	3,776

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)

都道府県名  
北海道

市町村・組合名	長沼町		
病院名	町立長沼病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,099 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	84	19.8	45.9	56.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	19.8	45.9	56.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	16.4	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	10,289	
決算規模(千円)	9,240,524	
標準財政規模(千円)	4,943,530	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	84.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	29.7

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	860,079				
1 経常収益	860,079				
(1) 医業収益	396,381				
(うち修正医業収益)	356,693				
入院収益	122,711				
外来収益	116,422				
診療収入計	239,133				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	157,248				
(うち他会計負担金)	39,688				
(2) 医業外収益	463,698				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	414,412				
(うち長期前受金戻入)	45,671				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	864,774				
2 経常費用	864,774				
(1) 医業費用	833,819				
職員給与費	461,336	116.4	59.4	76.5	
材料費	34,360	8.7	26.1	14.9	
(うち薬品費)	12,909	3.3	14.0	7.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,451	5.4	11.8	6.4	
減価償却費	50,687	12.8	8.7	11.5	
経費	286,858	72.4	22.1	32.6	
(うち委託料)	167,943	42.4	11.7	14.8	
研究研修費	399				
資産減耗費	179				
(2) 医業外費用	30,955				
(うち支払利息)	2,454	0.6	1.0	1.3	
(3) 特別損失	-				
経常損失	-4,695				
純損益	-4,695				
累積欠損金	1,475,364				
経常収支比率	99.5		103.3	101.5	
医業収支比率	47.5		85.5	73.2	
修正医業収支比率	42.8		82.8	69.2	
他会計繰入金対経常収益比率	52.8		11.1	22.3	
他会計繰入金対医業収益比率	114.6		14.1	33.0	
他会計繰入金対総収益比率	52.8		11.0	22.3	
実質収益対経常費用比率	46.9		91.9	78.8	

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,247,480
1 固定資産	778,466
(1) 有形固定資産	778,077
(2) 無形固定資産	389
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	469,014
(1) 現金及び預金	121,555
(2) 未収金及び未収収益	345,244
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,215
3 繰延資産	-
負債合計	773,739
1 固定負債	71,059
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	71,059
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	497,303
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,434
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,529
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	33,146
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	205,377
(1) 長期前受金	397,921
(2) 長期前受金収益化累計額( )	192,544
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	473,741
1 資本金	1,689,654
2 剰余金	-1,215,913
(1) 資本剰余金	246,051
(2) 利益剰余金	-1,461,964
負債・資本合計	1,247,480
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	453,486	454,100
資本勘定繰入	15,700	29,925
計	469,186	484,025

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	372.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>			都道府県名 北海道
市町村・組合名	月形町		
病院名	国保月形町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,759 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院		経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	90.7	89.1	85.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	90.7	89.1	85.4
平均在院日数(一般病床のみ)		65.0	48.2	51.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,691	
決算規模(千円)	4,344,343	
標準財政規模(千円)	2,544,707	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	85.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
将来負担比率(%)	-	

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	785,287			
1 経常収益	779,187			
(1) 医業収益	524,588			
(うち修正医業収益)	524,588			
入院収益	405,524			
外来収益	97,429			
診療収入計	502,953			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	21,635			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	254,599			
(うち国・都道府県補助金)	51,936			
(うち他会計補助・負担金)	141,755			
(うち長期前受金戻入)	54,717			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	702,716			
2 経常費用	696,616			
(1) 医業費用	670,339			
職員給与費	364,613	69.5	59.4	87.7
材料費	126,045	24.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	92,443	17.6	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,602	6.4	11.8	5.9
減価償却費	48,977	9.3	8.7	12.7
経費	130,488	24.9	22.1	45.1
(うち委託料)	69,056	13.2	11.7	21.3
研究研修費	131			
資産減耗費	85			
(2) 医業外費用	26,277			
(うち支払利息)	2,131	0.4	1.0	1.0
(3) 特別損失	6,100			
経常損失	82,571			
純損失	82,571			
累積欠損金	696,754			
経常収支比率	111.9		103.3	101.7
医業収支比率	78.3		85.5	62.5
修正医業収支比率	78.3		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	18.2		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	27.0		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	18.1		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	91.5		91.9	67.5

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	830,869
1 固定資産	585,633
(1) 有形固定資産	585,633
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	245,236
(1) 現金及び預金	108,379
(2) 未収金及び未収収益	131,246
(3) 貸倒引当金( )	50
(4) 貯蔵品	5,419
3 繰延資産	-
負債合計	298,751
1 固定負債	92,730
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	92,730
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	100,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,835
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,394
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,715
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	105,714
(1) 長期前受金	218,763
(2) 長期前受金収益化累計額( )	113,049
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	532,118
1 資本金	1,202,766
2 剰余金	-670,648
(1) 資本剰余金	26,106
(2) 利益剰余金	-696,754
負債・資本合計	830,869
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	141,755	141,755
資本勘定繰入	35,581	35,581
計	177,336	177,336

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	132.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名 北海道
市町村・組合名	美瑛町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	7,059 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	56	33.5	40.1	44.7
療養	42	33.5	42.6	49.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	33.5	41.2	46.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.6	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	9,668	
決算規模(千円)	11,635,030	
標準財政規模(千円)	6,450,833	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	85.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	27.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	1,101,930			
1 経常収益	1,101,796			
(1) 医療収益	635,211			
(うち修正医療収益)	540,339			
入院収益	280,053			
外来収益	216,300			
診療収入計	496,353			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医療収益	138,858			
(うち他会計負担金)	94,872			
(2) 医療外収益	466,585			
(うち国・都道府県補助金)	12,271			
(うち他会計補助・負担金)	405,128			
(うち長期前受金戻入)	46,912			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	134			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,147,052			
2 経常費用	1,144,052			
(1) 医療費用	1,101,157			
職員給与費	590,158	92.9	59.4	76.5
材料費	61,510	9.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	21,457	3.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,518	6.1	11.8	6.4
減価償却費	117,760	18.5	8.7	11.5
経費	311,562	49.0	22.1	32.6
(うち委託料)	155,552	24.5	11.7	14.8
研究研修費	358			
資産減耗費	19,809			
(2) 医療外費用	42,895			
(うち支払利息)	14,188	2.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	3,000			
損益	-42,256			
純損益	-45,122			
累積欠損金	150,039			
経常収支比率	96.3		103.3	101.5
医療収支比率	57.7		85.5	73.2
修正医療収支比率	49.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	45.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医療収益比率	78.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	45.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	52.6		91.9	78.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,665,395
1 固定資産	1,512,701
(1) 有形固定資産	1,512,409
(2) 無形固定資産	292
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	152,694
(1) 現金及び預金	64,388
(2) 未収金及び未収収益	83,759
(3) 貸倒引当金	1
(4) 貯蔵品	4,548
3 繰延資産	-
負債合計	1,244,354
1 固定負債	458,913
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	458,913
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	193,783
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,150
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,926
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,568
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	591,658
(1) 長期前受金	1,430,634
(2) 長期前受金収益化累計額	838,976
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額	-
資本合計	421,041
1 資本金	560,454
2 剰余金	-139,413
(1) 資本剰余金	4,746
(2) 利益剰余金	-144,159
負債・資本合計	1,665,395
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	458,169	500,000
資本勘定繰入	42,390	55,180
計	500,559	555,180

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医療収益とは、医療収益からその他医療収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医療収支比率とは、修正医療収益の医療費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医療収益からその他医療収益のうち他会計負担金を除いたものと医療外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

# 病院事業決算状況 (令和4年度)

都道府県名  
北海道

市町村・組合名	上富良野町		
病院名	上富良野町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,708 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	39	46.0	46.0	41.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	39	46.0	46.0	41.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	16.6	16.2

人口(人)	10,348
決算規模(千円)	8,757,073
標準財政規模(千円)	4,463,270
財政力指数	0.29
経常収支比率(％)	87.1
健全化 判断比率	実質赤字比率(％) - 連結実質赤字比率(％) - 実質公債費比率(％) 8.5 将来負担比率(％) 22.6

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	864,943			
1 経常収益	864,943			
(1) 医業収益	494,181			
(うち修正医業収益)	417,187			
入院収益	182,929			
外来収益	177,461			
診療収入計	360,390			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	133,791			
(うち他会計負担金)	76,994			
(2) 医業外収益	370,762			
(うち国・都道府県補助金)	8,384			
(うち他会計補助・負担金)	194,577			
(うち長期前受金戻入)	24,437			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	945,049			
2 経常費用	945,047			
(1) 医業費用	766,769			
職員給与費	536,704	108.6	59.4	87.7
材料費	62,696	12.7	26.1	13.6
(うち薬品費)	29,694	6.0	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,630	6.4	11.8	5.9
減価償却費	35,200	7.1	8.7	12.7
経費	130,111	26.3	22.1	45.1
(うち委託料)	81,771	16.5	11.7	21.3
研究研修費	569			
資産減耗費	1,489			
(2) 医業外費用	178,278			
(うち支払利息)	247	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	2			
経常損益	-80,104			
純損益	-80,106			
累積欠損金	1,210,774			
経常収支比率	91.5		103.3	101.7
医業収支比率	64.4		85.5	62.5
修正医業収支比率	54.4		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	31.4		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	55.0		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	31.4		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	62.8		91.9	67.5

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	880,126
1 固定資産	547,732
(1) 有形固定資産	542,323
(2) 無形固定資産	1,009
(3) 投資その他の資産	4,400
2 流動資産	332,394
(1) 現金及び預金	222,462
(2) 未収金及び未収収益	103,666
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,266
3 繰延資産	-
負債合計	523,735
1 固定負債	169,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	169,010
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	228,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,347
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,865
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	184,148
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	126,349
(1) 長期前受金	593,800
(2) 長期前受金収益化累計額( )	467,451
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	356,391
1 資本金	1,528,745
2 剰余金	-1,172,354
(1) 資本金剰余金	18,659
(2) 利益剰余金	-1,191,013
負債・資本合計	880,126
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	215,673	271,571
資本勘定繰入	17,517	35,192
計	233,190	306,763

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

累積欠損金比率(％)	245.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	中富良野町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,998 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	35	26.7	25.3	26.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	26.7	25.3	26.0
平均在院日数(一般病床のみ)		47.3	42.5	37.3

設立団体の状況		
人口(人)	4,733	
決算規模(千円)	6,243,285	
標準財政規模(千円)	2,955,402	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	70.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	437,324			
1 経常収益	431,633			
(1) 医業収益	222,478			
(うち修正医業収益)	215,030			
入院収益	62,152			
外来収益	104,680			
診療収入計	166,832			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,646			
(うち他会計負担金)	7,448			
(2) 医業外収益	209,155			
(うち国・都道府県補助金)	8,267			
(うち他会計補助・負担金)	185,043			
(うち長期前受金戻入)	14,381			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,691			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	442,101			
2 経常費用	442,101			
(1) 医業費用	429,677			
職員給与費	235,193	105.7	59.4	87.7
材料費	63,176	28.4	26.1	13.6
(うち薬品費)	47,818	21.5	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,039	6.8	11.8	5.9
減価償却費	32,835	14.8	8.7	12.7
経費	85,993	38.7	22.1	45.1
(うち委託料)	48,541	21.8	11.7	21.3
研究研修費	11,970			
資産減耗費	510			
(2) 医業外費用	12,424			
(うち支払利息)	72	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-10,468			
純損益	-4,777			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.6		103.3	101.7
医業収支比率	51.8		85.5	62.5
修正医業収支比率	50.0		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	44.6		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	86.5		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	44.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	54.1		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	852,902
1 固定資産	278,165
(1) 有形固定資産	277,739
(2) 無形固定資産	426
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	574,737
(1) 現金及び預金	544,659
(2) 未収金及び未収収益	27,647
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,431
3 繰延資産	-
負債合計	107,501
1 固定負債	3,565
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	3,565
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	39,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	841
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	12,690
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,564
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	64,841
(1) 長期前受金	297,102
(2) 長期前受金収益化累計額( )	232,261
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	745,401
1 資本金	689,231
2 剰余金	56,170
(1) 資本剰余金	14,029
(2) 利益剰余金	42,141
負債・資本合計	852,902
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,467	192,491
資本勘定繰入	555	833
計	193,022	193,324

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	和寒町		
病院名	国保町立和寒病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	14.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	14.3
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	3,192	
決算規模(千円)	4,716,749	
標準財政規模(千円)	2,813,971	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	78.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	下川町		
病院名	下川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,301 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	41	53.8	58.1	61.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	41	53.8	58.1	61.9
平均在院日数(一般病床のみ)		34.5	29.1	35.8

設立団体の状況	
人口(人)	3,126
決算規模(千円)	5,857,349
標準財政規模(千円)	3,302,524
財政力指数	0.15
経常収支比率(%)	88.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 6.5 9.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	529,085			
1 経常収益	529,085			
(1) 医業収益	304,610			
(うち修正医業収益)	282,164			
入院収益	122,175			
外来収益	118,769			
診療収入計	240,944			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	63,666			
(うち他会計負担金)	22,446			
(2) 医業外収益	224,475			
(うち国・都道府県補助金)	17,634			
(うち他会計補助・負担金)	187,554			
(うち長期前受金戻入)	15,720			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	547,458			
2 経常費用	547,084			
(1) 医業費用	530,595			
職員給与費	333,580	109.5	59.4	87.7
材料費	32,818	10.8	26.1	13.6
(うち薬品費)	11,489	3.8	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,329	7.0	11.8	5.9
減価償却費	35,823	11.8	8.7	12.7
経費	127,914	42.0	22.1	45.1
(うち委託料)	72,249	23.7	11.7	21.3
研究研修費	258			
資産減耗費	202			
(2) 医業外費用	16,489			
(うち支払利息)	7	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	374			
損益	経常損益			
	純損益	-17,999		
累積欠損金	419,625			
経常収支比率	96.7		103.3	101.7
医業収支比率	57.4		85.5	62.5
修正医業収支比率	53.2		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	39.7		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	68.9		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	39.7		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	58.3		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	573,626
1 固定資産	435,809
(1) 有形固定資産	435,519
(2) 無形固定資産	290
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	137,291
(1) 現金及び預金	92,600
(2) 未収金及び未収収益	40,515
(3) 貸倒引当金( )	300
(4) 貯蔵品	3,975
3 繰延資産	526
負債合計	94,113
1 固定負債	35,293
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,061
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	10,232
2 流動負債	46,700
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,666
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,270
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,340
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,120
(1) 長期前受金	142,712
(2) 長期前受金収益化累計額( )	130,592
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	479,513
1 資本金	758,285
2 剰余金	-278,772
(1) 資本剰余金	140,853
(2) 利益剰余金	-419,625
負債・資本合計	573,626
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	337,114	210,000
資本勘定繰入	3,029	3,029
計	340,143	213,029

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	137.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	遠別町		
病院名	遠別町立国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,547 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	その他
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	16	48.0	53.9	68.6
療養	20	8.4	21.2	27.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	26.0	35.7	45.6
平均在院日数(一般病床のみ)		23.6	27.0	30.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,520	
決算規模(千円)	4,732,176	
標準財政規模(千円)	2,871,152	
財政力指数	0.13	
経常収支比率(%)	79.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	391,018			
1 経常収益	391,018			
(1) 医業収益	149,822			
(うち修正医業収益)	138,047			
入院収益	43,571			
外来収益	64,961			
診療収入計	108,532			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	41,290			
(うち他会計負担金)	11,775			
(2) 医業外収益	241,196			
(うち国・都道府県補助金)	5,310			
(うち他会計補助・負担金)	229,069			
(うち長期前受金戻入)	2,922			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	404,213			
2 経常費用	404,213			
(1) 医業費用	387,595			
職員給与費	240,520	160.5	59.4	87.7
材料費	25,462	17.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	10,589	7.1	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,361	8.9	11.8	5.9
減価償却費	13,575	9.1	8.7	12.7
経費	95,281	63.6	22.1	45.1
(うち委託料)	44,723	29.9	11.7	21.3
研究研修費	1,299			
資産減耗費	11,458			
(2) 医業外費用	16,618			
(うち支払利息)	24	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-13,195			
純損益	-13,195			
累積欠損金	279,740			
経常収支比率	96.7		103.3	101.7
医業収支比率	38.7		85.5	62.5
修正医業収支比率	35.6		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	61.6		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	160.8		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	61.6		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	37.2		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	351,720
1 固定資産	162,856
(1) 有形固定資産	162,856
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	188,864
(1) 現金及び預金	170,893
(2) 未収金及び未収収益	14,422
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,249
3 繰延資産	-
負債合計	90,211
1 固定負債	50,900
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,900
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	24,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,980
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	10,126
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,963
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,942
(1) 長期前受金	55,887
(2) 長期前受金収益化累計額( )	40,945
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	261,509
1 資本金	349,716
2 剰余金	-88,207
(1) 資本剰余金	191,223
(2) 利益剰余金	-279,430
負債・資本合計	351,720
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,844	240,844
資本勘定繰入	-	-
計	240,844	240,844

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	186.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		天塩町			
病院名		国保病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,066 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	48	51.8	51.4	65.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	51.8	51.4	65.1
平均在院日数(一般病床のみ)		43.6	37.5	34.7

設立団体の状況		
人口(人)	2,950	
決算規模(千円)	6,067,240	
標準財政規模(千円)	3,147,261	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(‰)	58.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(‰)	-
	連結実質赤字比率(‰)	-
	実質公債費比率(‰)	8.0
	将来負担比率(‰)	11.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	760,350			
1 経常収益	719,444			
(1) 医業収益	405,152			
(うち修正医業収益)	368,858			
入院収益	180,186			
外来収益	151,524			
診療収入計	331,710			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	73,442			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	314,292			
(うち国・都道府県補助金)	42,813			
(うち他会計補助・負担金)	192,859			
(うち長期前受金戻入)	73,933			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	40,906			
(うち他会計繰入金)	40,906			
総費用	719,444			
2 経常費用	719,355			
(1) 医業費用	707,296			
職員給与費	418,813	103.4	59.4	87.7
材料費	68,023	16.8	26.1	13.6
(うち薬品費)	22,406	5.5	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,162	9.2	11.8	5.9
減価償却費	72,384	17.9	8.7	12.7
経費	146,482	36.2	22.1	45.1
(うち委託料)	45,930	11.3	11.7	21.3
研究研修費	1,019			
資産減耗費	575			
(2) 医業外費用	12,059			
(うち支払利息)	10,324	2.5	1.0	1.0
(3) 特別損失	89			
経常損失	89			
純損益	40,906			
累積欠損金	49,208			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	57.3		85.5	62.5
修正医業収支比率	52.2		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	31.9		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	56.6		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	35.5		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	68.2		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,075,326
1 固定資産	934,051
(1) 有形固定資産	933,785
(2) 無形固定資産	266
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	141,275
(1) 現金及び預金	49,749
(2) 未収金及び未収収益	89,967
(3) 貸倒引当金( )	865
(4) 貯蔵品	2,424
3 繰延資産	-
負債合計	899,059
1 固定負債	136,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	128,591
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,252
(7) 一時的債務	2,631
2 流動負債	135,552
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,871
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,522
(6) リース債務	4,447
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,695
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	627,033
(1) 長期前受金	1,823,489
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,196,456
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	176,267
1 資本金	106,128
2 剰余金	70,139
(1) 資本剰余金	119,347
(2) 利益剰余金	-49,208
負債・資本合計	1,075,326
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,786	270,059
資本勘定繰入	62,403	96,982
計	288,189	367,041

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	猿払村		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,055 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	1	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	24	45.4	41.9	45.8
療養	4	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	28	38.9	35.9	39.2
平均在院日数(一般病床のみ)		27.1	33.7	35.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,611	
決算規模(千円)	5,458,169	
標準財政規模(千円)	2,874,853	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	79.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	6.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	521,706			
1 経常収益	521,706			
(1) 医業収益	268,271			
(うち修正医業収益)	263,526			
入院収益	53,491			
外来収益	160,394			
診療収入計	213,885			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	54,386			
(うち他会計負担金)	4,745			
(2) 医業外収益	253,435			
(うち国・都道府県補助金)	641			
(うち他会計補助・負担金)	247,285			
(うち長期前受金戻入)	3,286			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	521,708			
2 経常費用	521,708			
(1) 医業費用	516,631			
職員給与費	267,306	99.6	59.4	87.7
材料費	114,070	42.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	71,952	26.8	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,578	14.0	11.8	5.9
減価償却費	31,366	11.7	8.7	12.7
経費	102,263	38.1	22.1	45.1
(うち委託料)	36,511	13.6	11.7	21.3
研究研修費	1,279			
資産減耗費	347			
(2) 医業外費用	5,077			
(うち支払利息)	667	0.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損	-2			
純損益	-2			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	51.9		85.5	62.5
修正医業収支比率	51.0		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	48.3		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	93.9		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	48.3		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	51.7		91.9	67.5

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	687,137
1 固定資産	368,663
(1) 有形固定資産	366,732
(2) 無形固定資産	1,931
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	318,474
(1) 現金及び預金	120,516
(2) 未収金及び未収収益	184,507
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	13,451
3 繰延資産	-
負債合計	181,201
1 固定負債	111,419
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	111,419
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	32,674
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,199
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	14,638
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	12,562
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	37,108
(1) 長期前受金	102,138
(2) 長期前受金収益化累計額( )	65,030
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	505,936
1 資本金	453,894
2 剰余金	52,042
(1) 資本剰余金	51,950
(2) 利益剰余金	92
負債・資本合計	687,137
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	252,030	252,030
資本勘定繰入	54,936	-
計	306,966	252,030

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名 北海道	
市町村・組合名	浜頓別町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,748 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	59.8	65.0	63.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	59.8	65.0	63.6
平均在院日数(一般病床のみ)		41.2	35.5	27.9

設立団体の状況	
人口(人)	3,448
決算規模(千円)	4,941,794
標準財政規模(千円)	3,056,018
財政力指数	0.19
経常収支比率(%)	85.4
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	860,695			
1 経常収益	860,695			
(1) 医業収益	450,482			
(うち修正医業収益)	407,922			
入院収益	202,920			
外来収益	139,175			
診療収入計	342,095			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	108,387			
(うち他会計負担金)	42,560			
(2) 医業外収益	410,213			
(うち国・都道府県補助金)	40,483			
(うち他会計補助・負担金)	338,840			
(うち長期前受金戻入)	15,519			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	848,930			
2 経常費用	848,930			
(1) 医業費用	814,795			
職員給与費	456,469	101.3	59.4	87.7
材料費	67,361	15.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	31,632	7.0	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,868	6.2	11.8	5.9
減価償却費	36,232	8.0	8.7	12.7
経費	248,112	55.1	22.1	45.1
(うち委託料)	95,271	21.1	11.7	21.3
研究研修費	3,106			
資産減耗費	3,515			
(2) 医業外費用	34,135			
(うち支払利息)	781	0.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	11,765			
純損益	11,765			
累積欠損金	20,231			
経常収支比率	101.4		103.3	101.7
医業収支比率	55.3		85.5	62.5
修正医業収支比率	50.1		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	44.3		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	84.7		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	44.3		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	56.5		91.9	67.5

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,144,872
1 固定資産	459,247
(1) 有形固定資産	453,632
(2) 無形固定資産	615
(3) 投資その他の資産	5,000
2 流動資産	685,625
(1) 現金及び預金	576,911
(2) 未収金及び未収収益	99,796
(3) 貸倒引当金( )	43
(4) 貯蔵品	8,961
3 繰延資産	-
負債合計	272,457
1 固定負債	91,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	91,137
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
2 流動負債	80,697
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,516
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,459
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,380
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	100,623
(1) 長期前受金	433,312
(2) 長期前受金収益化累計額( )	332,689
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	872,415
1 資本金	920,365
2 剰余金	-47,950
(1) 資本剰余金	-27,719
(2) 利益剰余金	-20,231
負債・資本合計	1,144,872
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	381,400	381,400
資本勘定繰入	12,436	12,436
計	393,836	393,836

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	中頓別町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,420 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	20	39.0	26.9	25.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	20	39.0	26.9	25.6
平均在院日数(一般病床のみ)		25.8	38.9	34.8

設立団体の状況	
人口(人)	1,637
決算規模(千円)	4,181,732
標準財政規模(千円)	2,355,858
財政力指数	0.11
経常収支比率(%)	61.9
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - -1.0 -

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	571,478			
1 経常収益	571,478			
(1) 医業収益	265,977			
(うち修正医業収益)	213,264			
入院収益	74,120			
外来収益	67,997			
診療収入計	142,117			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	123,860			
(うち他会計負担金)	52,713			
(2) 医業外収益	305,501			
(うち国・都道府県補助金)	3,091			
(うち他会計補助・負担金)	273,139			
(うち長期前受金戻入)	27,313			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	571,478			
2 経常費用	571,478			
(1) 医業費用	559,356			
職員給与費	354,956	133.5	59.4	87.7
材料費	35,231	13.2	26.1	13.6
(うち薬品費)	11,870	4.5	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,591	6.6	11.8	5.9
減価償却費	40,407	15.2	8.7	12.7
経費	127,668	48.0	22.1	45.1
(うち委託料)	20,518	7.7	11.7	21.3
研究研修費	772			
資産減耗費	322			
(2) 医業外費用	12,122			
(うち支払利息)	563	0.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	85,593			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	47.6		85.5	62.5
修正医業収支比率	38.1		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	57.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	122.5		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	57.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	43.0		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	976,169
1 固定資産	495,676
(1) 有形固定資産	495,676
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	480,493
(1) 現金及び預金	110,768
(2) 未収金及び未収収益	367,248
(3) 貸倒引当金( )	638
(4) 貯蔵品	3,115
3 繰延資産	-
負債合計	420,930
1 固定負債	175,627
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,627
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	64,873
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,874
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,969
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,030
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	180,430
(1) 長期前受金	419,127
(2) 長期前受金収益化累計額( )	238,697
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	555,239
1 資本金	640,832
2 剰余金	-85,593
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-85,593
負債・資本合計	976,169
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	304,541	325,852
資本勘定繰入	14,049	23,265
計	318,590	349,117

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	枝幸町				
病院名	枝幸町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,195 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	46	68.7	65.0	55.2
療養	37	82.8	82.2	83.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	83	75.0	72.7	67.8
平均在院日数(一般病床のみ)		37.8	52.6	34.6

設立団体の状況	
人口(人)	7,565
決算規模(千円)	12,383,803
標準財政規模(千円)	6,833,821
財政力指数	0.20
経常収支比率(%)	79.2
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,017,830			
1 経常収益	2,017,830			
(1) 医業収益	851,046			
(うち修正医業収益)	786,469			
入院収益	360,509			
外来収益	337,120			
診療収入計	697,629			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	153,417			
(うち他会計負担金)	64,577			
(2) 医業外収益	1,166,784			
(うち国・都道府県補助金)	55,465			
(うち他会計補助・負担金)	981,117			
(うち長期前受金戻入)	93,358			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,982,039			
2 経常費用	1,981,755			
(1) 医業費用	1,870,687			
職員給与費	1,054,619	123.9	59.4	76.5
材料費	252,404	29.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	127,331	15.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	109,313	12.8	11.8	6.4
減価償却費	222,580	26.2	8.7	11.5
経費	333,936	39.2	22.1	32.6
(うち委託料)	179,607	21.1	11.7	14.8
研究研修費	943			
資産減耗費	6,205			
(2) 医業外費用	111,068			
(うち支払利息)	23,416	2.8	1.0	1.3
(3) 特別損失	284			
経常損益	36,075			
純損益	35,791			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.8		103.3	101.5
医業収支比率	45.5		85.5	73.2
修正医業収支比率	42.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	51.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	122.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	51.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	49.1		91.9	78.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,535,094
1 固定資産	2,871,527
(1) 有形固定資産	2,871,526
(2) 無形固定資産	1
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	663,567
(1) 現金及び預金	453,999
(2) 未収金及び未収収益	179,970
(3) 貸倒引当金( )	338
(4) 貯蔵品	29,936
3 繰延資産	-
負債合計	1,996,208
1 固定負債	1,185,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,185,914
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	382,847
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	313,501
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	59,263
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,060
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	427,447
(1) 長期前受金	945,659
(2) 長期前受金収益化累計額( )	518,212
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,538,886
1 資本金	1,397,974
2 剰余金	140,912
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	140,912
負債・資本合計	3,535,094
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	1,045,097	1,045,694
資本勘定繰入	199,162	249,130
計	1,244,259	1,294,824

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	豊富町		
病院名	豊富町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	3,974
決算規模(千円)	6,362,455
標準財政規模(千円)	3,464,394
財政力指数	0.19
経常収支比率(%)	68.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,060			
1 経常収益	3,060			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,060			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	3,060			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,060			
2 経常費用	3,060			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,060			
(うち支払利息)	3,060	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,060	3,060
資本勘定繰入	47,493	47,493
計	50,553	50,553

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	美幌町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,739 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	99	59.2	64.2	63.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	59.2	64.2	63.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	15.2	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	18,697	
決算規模(千円)	12,914,745	
標準財政規模(千円)	7,055,812	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,120,266			
1 経常収益	2,120,266			
(1) 医業収益	1,792,797			
(うち修正医業収益)	1,740,587			
入院収益	789,191			
外来収益	858,101			
診療収入計	1,647,292			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	145,505			
(うち他会計負担金)	52,210			
(2) 医業外収益	327,469			
(うち国・都道府県補助金)	57,572			
(うち他会計補助・負担金)	224,540			
(うち長期前受金戻入)	24,270			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,043,170			
2 経常費用	2,043,170			
(1) 医業費用	1,956,420			
職員給与費	1,025,909	57.2	59.4	76.5
材料費	301,343	16.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	83,738	4.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	217,580	12.1	11.8	6.4
減価償却費	123,890	6.9	8.7	11.5
経費	501,795	28.0	22.1	32.6
(うち委託料)	216,618	12.1	11.7	14.8
研究研修費	3,483			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	86,750			
(うち支払利息)	20,414	1.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	77,096			
純損益	77,096			
累積欠損金	3,181,363			
経常収支比率	103.8		103.3	101.5
医業収支比率	91.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	89.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	13.1		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	90.2		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,897,545
1 固定資産	1,250,723
(1) 有形固定資産	1,250,630
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	646,822
(1) 現金及び預金	327,128
(2) 未収金及び未収収益	314,219
(3) 貸倒引当金( )	521
(4) 貯蔵品	5,996
3 繰延資産	-
負債合計	1,476,831
1 固定負債	874,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	868,564
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	5,836
2 流動負債	370,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	168,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	70,505
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	94,040
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	232,381
(1) 長期前受金	506,394
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	274,013
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	420,714
1 資本金	3,582,597
2 剰余金	-3,161,883
(1) 資本金剰余金	19,480
(2) 利益剰余金	-3,181,363
負債・資本合計	1,897,545
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	273,305	276,750
資本勘定繰入	125,037	125,037
計	398,342	401,787

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	177.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	斜里町		
病院名	斜里町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,521 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	58.2	62.7	66.4
療養	40	70.3	75.3	68.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	63.3	68.1	67.4
平均在院日数(一般病床のみ)		24.3	21.3	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	11,418	
決算規模(千円)	9,653,520	
標準財政規模(千円)	5,905,237	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	88.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	58.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,488,128			
1 経常収益	1,488,128			
(1) 医業収益	935,104			
(うち修正医業収益)	892,048			
入院収益	516,494			
外来収益	310,783			
診療収入計	827,277			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	107,827			
(うち他会計負担金)	43,056			
(2) 医業外収益	553,024			
(うち国・都道府県補助金)	2,817			
(うち他会計補助・負担金)	481,341			
(うち長期前受金戻入)	24,398			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,394,590			
2 経常費用	1,394,590			
(1) 医業費用	1,342,578			
職員給与費	820,213	87.7	59.4	76.5
材料費	136,012	14.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	90,838	9.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,174	4.8	11.8	6.4
減価償却費	79,068	8.5	8.7	11.5
経費	301,459	32.2	22.1	32.6
(うち委託料)	160,385	17.2	11.7	14.8
研究研修費	5,826			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	52,012			
(うち支払利息)	1,498	0.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	93,538			
純損益	93,538			
累積欠損金	942,577			
経常収支比率	106.7		103.3	101.5
医業収支比率	69.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	66.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.2		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	56.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	35.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	69.1		91.9	78.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,341,135
1 固定資産	739,907
(1) 有形固定資産	739,814
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	601,228
(1) 現金及び預金	474,729
(2) 未収金及び未収収益	120,845
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	5,654
3 繰延資産	-
負債合計	1,005,956
1 固定負債	527,868
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	190,988
(2) その他の企業債	51,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	60,000
(6) 引当金	225,180
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	236,052
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	39,199
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,517
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	155,336
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	242,036
(1) 長期前受金	400,994
(2) 長期前受金収益化累計額( )	158,958
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	335,179
1 資本金	1,242,135
2 剰余金	-906,956
(1) 資本金剰余金	35,621
(2) 利益剰余金	-942,577
負債・資本合計	1,341,135
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	524,383	524,397
資本勘定繰入	42,974	48,060
計	567,357	572,457

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	9,876	0.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	滝上町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	その他
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	57.5
療養	-	-	-	6.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	41.2
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	49.4

設立団体の状況	
人口(人)	2,421
決算規模(千円)	4,764,471
標準財政規模(千円)	2,961,500
財政力指数	0.12
経常収支比率(%)	87.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	963			
1 経常収益	963			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	963			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	963			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	963			
2 経常費用	963			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	963			
(うち支払利息)	963	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	65,505
1 固定資産	65,505
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	65,505
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	65,505
1 固定負債	65,505
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	65,505
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	65,505
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	963
資本勘定繰入	-	20,804
計	-	21,767

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	興部町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,985 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	32	61.4	64.9	52.0
療養	18	22.5	28.0	42.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	47.4	51.6	48.4
平均在院日数(一般病床のみ)		45.5	39.8	35.4

設立団体の状況			
人	口(人)		
決算規模	(千円)	5,635,006	
標準財政規模	(千円)	3,095,231	
財政力指数		0.22	
経常収支比率	(%)	79.2	
健全化判断比率	実質赤字比率	(%)	-
	連結実質赤字比率	(%)	-
	実質公債費比率	(%)	7.4
	将来負担比率	(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	668,864			
1 経常収益	663,939			
(1) 医業収益	333,509			
(うち修正医業収益)	273,299			
入院収益	145,438			
外来収益	91,533			
診療収入計	236,971			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	96,538			
(うち他会計負担金)	60,210			
(2) 医業外収益	330,430			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	294,273			
(うち長期前受金戻入)	17,303			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,925			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	734,114			
2 経常費用	734,114			
(1) 医業費用	705,720			
職員給与費	345,137	103.5	59.4	76.5
材料費	36,625	11.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	10,241	3.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,810	5.0	11.8	6.4
減価償却費	61,811	18.5	8.7	11.5
経費	260,091	78.0	22.1	32.6
(うち委託料)	43,672	13.1	11.7	14.8
研究研修費	463			
資産減耗費	1,593			
(2) 医業外費用	28,394			
(うち支払利息)	7,128	2.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-70,175			
純損益	-65,250			
累積欠損金	850,927			
経常収支比率	90.4		103.3	101.5
医業収支比率	47.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	38.7		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	53.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	106.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	53.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	42.2		91.9	78.8

貸借対照表(千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	1,844,733	
1 固定資産	1,570,167	
(1) 有形固定資産	1,508,036	
(2) 無形固定資産	70	
(3) 投資その他の資産	62,061	
2 流動資産	274,566	
(1) 現金及び預金	214,324	
(2) 未収金及び未収収益	54,305	
(3) 貸倒引当金	-	
(4) 貯蔵品	5,937	
3 繰延資産	-	
負債合計	1,515,413	
1 固定負債	915,710	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	915,710	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	-	
(7) 一時借入金	-	
2 流動負債	97,521	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,263	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	27,280	
(6) リース債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	23,978	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	502,182	
(1) 長期前受金	654,512	
(2) 長期前受金収益化累計額	152,330	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額	-	
資本合計	329,320	
1 資本金	1,154,729	
2 剰余金	-825,409	
(1) 資本剰余金	25,518	
(2) 利益剰余金	-850,927	
負債・資本合計	1,844,733	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額	-	
資本不足額(繰延収益控除後)	-	
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	354,483	354,483
資本勘定繰入	28,516	28,516
計	382,999	382,999

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
項目	比率(%)
累積欠損金比率	255.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和4年度) 都道府県名 北海道

市町村・組合名 雄武町
病院名 国保病院
施設及び業務概況等
法適用区分 当然財務 特殊診療機能 ト透訓
病院区分 一般病院 不採算地区病院 第1種該当
建物面積 4,308 m<sup>2</sup> 不採算地区中核病院
診療科数 7 指定病院の状況 救
許可公営企業 看 護 配 置 1 0 : 1
D P C 対象病院 - 経営形態 直営
類似区分 50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)
区分 病床数 令和4年度 令和3年度 令和2年度
一般 25 33.6 41.2 42.5
療養 - - - -
結核 - - - -
精神 - - - -
感染症 - - - -
計 25 33.6 41.2 42.5
平均在院日数(一般病床のみ) 16.4 18.5 21.3

設立団体の状況
人口(人) 4,199
決算規模(千円) 7,079,479
標準財政規模(千円) 3,833,302
財政力指数 0.19
経常収支比率(%) 74.2
健全化 実質赤字比率(%) -
連結実質赤字比率(%) -
判断比率 実質公債費比率(%) 7.8
将来負担比率(%) -

損益計算書 (千円・%)
区分 決算額 費用 医業収益 全国平均 類似平均
総収益 734,997
1 経常収益 734,997
(1) 医業収益 272,254
(うち修正医業収益) 219,194
入院収益 77,784
外来収益 106,631
診療収入計 184,415
繰延運営権対価収益 -
運営権者更新投資収益 -
その他医業収益 87,839
(うち他会計負担金) 53,060
(2) 医業外収益 462,743
(うち国・都道府県補助金) 8,509
(うち他会計補助・負担金) 391,099
(うち長期前受金戻入) 3,864
(うち資本費繰入収益) 35,841
(3) 特別利益 -
(うち他会計繰入金) -
総費用 720,114
2 経常費用 720,114
(1) 医業費用 686,929
職員給与費 390,719 143.5 59.4 87.7
材料費 41,502 15.2 26.1 13.6
(うち薬品費) 18,988 7.0 14.0 7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費) 22,299 8.2 11.8 5.9
減価償却費 51,689 19.0 8.7 12.7
経費 158,514 58.2 22.1 45.1
(うち委託料) 68,998 25.3 11.7 21.3
研究研修費 40,609
資産減耗費 3,896
(2) 医業外費用 33,185
(うち支払利息) 6,301 2.3 1.0 1.0
(3) 特別損失 -
損益 経常損益 14,883
純損益 14,883
累積欠損金 84,511
経常収支比率 102.1 103.3 101.7
医業収支比率 39.6 85.5 62.5
修正医業収支比率 31.9 82.8 57.3
他会計繰入金対経常収益比率 60.4 11.1 33.6
他会計繰入金対医業収益比率 163.1 14.1 57.9
他会計繰入金対総収益比率 60.4 11.0 33.5
実質収益対経常費用比率 40.4 91.9 67.5

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)
区分 決算額
資産合計 977,187
1 固定資産 915,554
(1) 有形固定資産 875,449
(2) 無形固定資産 38,860
(3) 投資その他の資産 1,245
2 流動資産 61,633
(1) 現金及び預金 20,003
(2) 未収金及び未収収益 37,714
(3) 貸倒引当金( ) -
(4) 貯蔵品 3,916
3 繰延資産 -
負債合計 669,628
1 固定負債 516,141
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債 514,176
(2) その他の企業債 -
(3) 再建債(特例債含む) -
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金 -
(5) その他の長期借入金 -
(6) 引当金 -
(7) 一 時 借 入 金 -
(7) 一 時 借 入 金 1,965
2 流動負債 119,952
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債 60,590
(2) その他の企業債 -
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金 -
(4) その他の長期借入金 -
(5) 引当金 19,979
(6) リ 一 時 借 入 金 1,179
(7) 一 時 借 入 金 -
(8) 未払金及び未払費用 34,952
(9) 前受金及び前受収益 -
3 繰延収益 33,535
(1) 長期前受金 93,655
(2) 長期前受金収益化累計額( ) 60,120
(3) 繰延運営権対価 -
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( ) -
(5) 運営権者更新投資 -
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( ) -
資本合計 307,559
1 資本金 373,422
2 剰余金 -65,863
(1) 資本金剰余金 14,148
(2) 利益剰余金 -80,011
負債・資本合計 977,187
不良債務 -
実質資金不足額 -
資本不足額( ) -
資本不足額(繰延収益控除後)( ) -
備考

他会計からの繰入状況(千円)
区分 基準額 実繰入額
収益勘定繰入 444,159 444,159
資本勘定繰入 35,841 35,841
計 480,000 480,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移
年度 不良債務額(千円) 不良債務比率(%)
令和4年度 - -
令和3年度 - -
令和2年度 - -

資金不足等の状況
累積欠損金比率(%) 31.0
健全化法上の資金不足額(千円) -
健全化法上の資金不足比率(%) -
地財法上の資金不足額(千円) -
地財法上の資金不足比率(%) -

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	豊浦町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,963 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	37.9	31.5	37.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	37.9	31.5	37.7
平均在院日数(一般病床のみ)		70.2	73.0	46.7

設立団体の状況		
人口(人)	3,821	
決算規模(千円)	5,594,135	
標準財政規模(千円)	3,070,014	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(‰)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(‰)	-
	連結実質赤字比率(‰)	-
	実質公債費比率(‰)	13.7
	将来負担比率(‰)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	624,325			
1 経常収益	624,325			
(1) 医業収益	340,579			
(うち修正医業収益)	340,579			
入院収益	138,833			
外来収益	153,596			
診療収入計	292,429			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	48,150			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	283,746			
(うち国・都道府県補助金)	687			
(うち他会計補助・負担金)	258,163			
(うち長期前受金戻入)	7,840			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	658,396			
2 経常費用	658,396			
(1) 医業費用	629,834			
職員給与費	356,371	104.6	59.4	76.5
材料費	96,279	28.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	75,827	22.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,992	4.7	11.8	6.4
減価償却費	45,794	13.4	8.7	11.5
経費	130,004	38.2	22.1	32.6
(うち委託料)	40,101	11.8	11.7	14.8
研究研修費	499			
資産減耗費	887			
(2) 医業外費用	28,562			
(うち支払利息)	7,288	2.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-34,071			
純損益	-34,071			
累積欠損金	174,153			
経常収支比率	94.8		103.3	101.5
医業収支比率	54.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	54.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	41.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	75.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	41.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	55.6		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,521,842
1 固定資産	1,003,994
(1) 有形固定資産	1,003,942
(2) 無形固定資産	52
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	517,848
(1) 現金及び預金	440,911
(2) 未収金及び未収収益	64,885
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	12,052
3 繰延資産	-
負債合計	732,659
1 固定負債	466,265
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	337,769
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	128,496
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	116,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,542
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,036
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,771
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	149,549
(1) 長期前受金	272,334
(2) 長期前受金収益化累計額( )	122,785
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	789,183
1 資本金	945,360
2 剰余金	-156,177
(1) 資本金剰余金	17,976
(2) 利益剰余金	-174,153
負債・資本合計	1,521,842
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	259,369	258,163
資本勘定繰入	48,895	-
計	308,264	258,163

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(‰)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(‰)	51.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(‰)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(‰)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>			都道府県名 北海道
市町村・組合名	白老町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,079 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	48	27.8	23.7	21.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	27.8	23.7	21.5
平均在院日数(一般病床のみ)		22.1	13.8	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	16,212	
決算規模(千円)	12,625,348	
標準財政規模(千円)	6,392,077	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	10.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	910,374			
1 経常収益	910,374			
(1) 医業収益	488,756			
(うち修正医業収益)	399,069			
入院収益	143,365			
外来収益	195,976			
診療収入計	339,341			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	149,415			
(うち他会計負担金)	89,687			
(2) 医業外収益	421,618			
(うち国・都道府県補助金)	8,993			
(うち他会計補助・負担金)	408,390			
(うち長期前受金戻入)	454			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	855,089			
2 経常費用	855,089			
(1) 医業費用	852,182			
職員給与費	471,311	96.4	59.4	87.7
材料費	48,057	9.8	26.1	13.6
(うち薬品費)	31,468	6.4	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,374	3.4	11.8	5.9
減価償却費	20,630	4.2	8.7	12.7
経費	311,643	63.8	22.1	45.1
(うち委託料)	158,570	32.4	11.7	21.3
研究研修費	287			
資産減耗費	254			
(2) 医業外費用	2,907			
(うち支払利息)	34	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	55,285			
純損益	55,285			
累積欠損金	985,340			
経常収支比率	106.5		103.3	101.7
医業収支比率	57.4		85.5	62.5
修正医業収支比率	46.8		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	54.7		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	101.9		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	54.7		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	48.2		91.9	67.5

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	592,826	
1 固定資産	359,278	
(1) 有形固定資産	357,796	
(2) 無形固定資産	1,482	
(3) 投資その他の資産	-	
2 流動資産	233,548	
(1) 現金及び預金	154,323	
(2) 未収金及び未収収益	56,537	
(3) 貸倒引当金( )	-	
(4) 貯蔵品	22,448	
3 繰延資産	-	
負債合計	234,989	
1 固定負債	54,428	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,100	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	-	
(7) 一時的借入金	328	
2 流動負債	172,376	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	25,974	
(6) リリース債務	1,966	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	141,784	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	8,185	
(1) 長期前受金	96,847	
(2) 長期前受金収益化累計額( )	88,662	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-	
資本合計	357,837	
1 資本	1,307,475	
2 剰余金	-949,638	
(1) 資本剰余金	28,102	
(2) 利益剰余金	-977,740	
負債・資本合計	592,826	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額( )	-	
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-	
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	275,571	498,077
資本勘定繰入	68,054	68,054
計	343,625	566,131

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	18,985	4.1
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	201.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度) 都道府県名 北海道

Table with columns: 市町村・組合名, 病院名, 施設及び業務概況等. Includes hospital name: むかわ町鶴川厚生病院.

特殊診療機能欄: ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄: 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

Table: 病床利用率・平均在院日数 (%・日). Columns: 区分, 病床数, 令和4年度, 令和3年度, 令和2年度.

Table: 設立団体の状況. Columns: 人, 決算規模(千円), 標準財政規模(千円), 財政力指数, 経常収支比率(%), 健全化判断比率.

Table: 損益計算書 (千円・%). Columns: 区分, 決算額, 費用, 医業収益, 全国平均, 類似平均. Includes rows for total revenue, expenses, and ratios.

Table: 貸借対照表 (千円・%). Columns: 区分, 決算額. Includes rows for assets (fixed, current) and liabilities (fixed, current).

Table: 他会計からの繰入状況(千円). Columns: 区分, 基準額, 実繰入額. Includes rows for revenue and capital.

Table: 不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移. Columns: 年度, 不良債務額(千円), 不良債務比率(%).

Table: 資金不足等の状況. Columns: 累積欠損金比率(%), 健全化法上の資金不足額(千円), 健全化法上の資金不足比率(%), 地財法上の資金不足額(千円), 地財法上の資金不足比率(%).

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名	
			北海道	
市町村・組合名	日高町			
病院名	門別国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	7,805 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	4	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	13:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	34	52.7	46.4	61.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	34	52.7	46.4	61.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	19.6	23.2

設立団体の状況		
人口(人)	11,279	
決算規模(千円)	12,768,855	
標準財政規模(千円)	6,956,262	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(％)	98.6	
健全化	実質赤字比率(％)	-
判断比率	連結実質赤字比率(％)	-
	実質公債費比率(％)	13.8
	将来負担比率(％)	51.7

損益計算書 (千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,551,139			
1 経常収益	1,551,139			
(1) 医業収益	742,955			
(うち修正医業収益)	679,486			
入院収益	176,021			
外来収益	444,976			
診療収入計	620,997			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	121,958			
(うち他会計負担金)	63,469			
(2) 医業外収益	808,184			
(うち国・都道府県補助金)	10,620			
(うち他会計補助・負担金)	458,860			
(うち長期前受金戻入)	50,628			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,531,470			
2 経常費用	1,531,470			
(1) 医業費用	1,028,171			
職員給与費	631,558	85.0	59.4	87.7
材料費	113,525	15.3	26.1	13.6
(うち薬品費)	46,300	6.2	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,223	9.0	11.8	5.9
減価償却費	113,655	15.3	8.7	12.7
経費	168,465	22.7	22.1	45.1
(うち委託料)	107,126	14.4	11.7	21.3
研究研修費	968			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	503,299			
(うち支払利息)	18,683	2.5	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	19,669			
純損失	19,669			
累積欠損金	281,205			
経常収支比率	101.3		103.3	101.7
医業収支比率	72.3		85.5	62.5
修正医業収支比率	66.1		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	33.7		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	70.3		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	33.7		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	67.2		91.9	67.5

貸借対照表 (千円・％)		
区分	決算額	
資産合計	2,514,219	
1 固定資産	2,186,111	
(1) 有形固定資産	2,186,111	
(2) 無形固定資産	-	
(3) 投資その他の資産	-	
2 流動資産	328,108	
(1) 現金及び預金	112,187	
(2) 未収金及び未収収益	207,902	
(3) 貸倒引当金( )	-	
(4) 貯蔵品	8,019	
3 繰延資産	-	
負債合計	2,726,532	
1 固定負債	1,063,627	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,063,627	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	-	
(7) リース債務	-	
2 流動負債	223,503	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,265	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	-	
(6) リース債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	68,938	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	1,439,402	
(1) 長期前受金	1,936,663	
(2) 長期前受金収益化累計額( )	497,261	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-	
資本合計	-212,313	
1 資本金	68,892	
2 剰余金	-281,205	
(1) 資本剰余金	-	
(2) 利益剰余金	-281,205	
負債・資本合計	2,514,219	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額( )	212,313	
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-	
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	213,904	522,329
資本勘定繰入	87,970	153,199
計	301,874	675,528

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	37.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		平取町			
病院名		国保病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,447 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄  
指定病院の状況欄

ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	42	49.6	47.0	55.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	49.6	47.0	55.4
平均在院日数(一般病床のみ)		26.9	30.5	31.5

設立団体の状況		
人口(人)	4,776	
決算規模(千円)	8,011,960	
標準財政規模(千円)	3,948,797	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(‰)	81.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(‰)	-
	連結実質赤字比率(‰)	-
	実質公債費比率(‰)	7.1
	将来負担比率(‰)	41.2

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	833,043				
1 経常収益	795,180				
(1) 医業収益	356,185				
(うち修正医業収益)	319,929				
入院収益	136,364				
外来収益	132,143				
診療収入計	268,507				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	87,678				
(うち他会計負担金)	36,256				
(2) 医業外収益	438,995				
(うち国・都道府県補助金)	20,022				
(うち他会計補助・負担金)	311,120				
(うち長期前受金戻入)	98,253				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	37,863				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	780,462				
2 経常費用	780,462				
(1) 医業費用	770,379				
職員給与費	450,340	126.4	59.4	87.7	
材料費	52,914	14.9	26.1	13.6	
(うち薬品費)	19,999	5.6	14.0	7.0	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,708	9.2	11.8	5.9	
減価償却費	98,253	27.6	8.7	12.7	
経費	168,595	47.3	22.1	45.1	
(うち委託料)	72,046	20.2	11.7	21.3	
研究研修費	277				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	10,083				
(うち支払利息)	6,083	1.7	1.0	1.0	
(3) 特別損失	-				
損益	14,718				
純損益	52,581				
累積欠損金	134,178				
経常収支比率	101.9		103.3	101.7	
医業収支比率	46.2		85.5	62.5	
修正医業収支比率	41.5		82.8	57.3	
他会計繰入金対経常収益比率	43.7		11.1	33.6	
他会計繰入金対医業収益比率	97.5		14.1	57.9	
他会計繰入金対総収益比率	41.7		11.0	33.5	
実質収益対経常費用比率	57.4		91.9	67.5	

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	2,336,155	
1 固定資産	2,260,067	
(1) 有形固定資産	2,218,487	
(2) 無形固定資産	507	
(3) 投資その他の資産	41,073	
2 流動資産	76,088	
(1) 現金及び預金	6,363	
(2) 未収金及び未収収益	60,507	
(3) 貸倒引当金( )	443	
(4) 貯蔵品	9,661	
3 繰延資産	-	
負債合計	2,256,854	
1 固定負債	2,006,298	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,005,398	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	900	
(7) 一時借入金	-	
2 流動負債	202,318	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,041	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	25,318	
(6) リース債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	22,951	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	48,238	
(1) 長期前受金	452,652	
(2) 長期前受金収益化累計額( )	404,414	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-	
資本合計	79,301	
1 資本金	201,414	
2 剰余金	-122,113	
(1) 資本剰余金	12,065	
(2) 利益剰余金	-134,178	
負債・資本合計	2,336,155	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額( )	-	
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-	
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	216,329	347,376
資本勘定繰入	9,638	134,150
計	225,967	481,526

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			北海道
市町村・組合名	新ひだか町		
病院名	新ひだか町立静内病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,932㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	58	52.3	51.3	51.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	52.3	51.3	51.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	13.6	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	21,517	
決算規模(千円)	18,961,090	
標準財政規模(千円)	9,377,356	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	28.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,396,910			
1 経常収益	1,395,884			
(1) 医業収益	872,464			
(うち修正医業収益)	872,464			
入院収益	412,402			
外来収益	374,373			
診療収入計	786,775			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	85,689			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	523,420			
(うち国・都道府県補助金)	159,507			
(うち他会計補助・負担金)	328,780			
(うち長期前受金戻入)	16,317			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,026			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,359,386			
2 経常費用	1,358,210			
(1) 医業費用	1,295,679			
職員給与費	655,334	75.1	59.4	76.5
材料費	122,631	14.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	63,288	7.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	59,343	6.8	11.8	6.4
減価償却費	60,774	7.0	8.7	11.5
経費	455,227	52.2	22.1	32.6
(うち委託料)	307,165	35.2	11.7	14.8
研究研修費	627			
資産減耗費	1,086			
(2) 医業外費用	62,531			
(うち支払利息)	13,325	1.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,176			
経常損益	37,674			
純損益	37,524			
累積欠損金	499,955			
経常収支比率	102.8		103.3	101.5
医業収支比率	67.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	67.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	37.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	23.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	78.6		91.9	78.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,519,316
1 固定資産	1,050,883
(1) 有形固定資産	1,050,672
(2) 無形固定資産	211
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	468,433
(1) 現金及び預金	201,491
(2) 未収金及び未収収益	252,809
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	14,133
3 繰延資産	-
負債合計	2,222,918
1 固定負債	453,063
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	453,063
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	697,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	171,097
(2) その他の企業債	6,153
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,343
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	370,000
(8) 未払金及び未払費用	91,539
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,072,723
(1) 長期前受金	2,912,528
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,839,805
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-703,602
1 資本金	160,776
2 剰余金	-864,378
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-864,378
負債・資本合計	1,519,316
不良債務	57,602
実質資金不足額	57,602
資本不足額( )	703,602
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	220,568	328,780
資本勘定繰入	86,400	98,964
計	306,968	427,744

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	57,602	5.4
令和3年度	52,534	4.8
令和2年度	118,848	11.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.0
健全化法上の資金不足額(千円)	19,785
健全化法上の資金不足比率(%)	1.8
地財法上の資金不足額(千円)	57,602
地財法上の資金不足比率(%)	5.3

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名 北海道	
市町村・組合名	新ひだか町			
病院名	新ひだか町立三石国民健康保険病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	2,104 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	4	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置	その他	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	22	65.8	70.1	74.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	22	65.8	36.7	38.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	21,517	
決算規模(千円)	18,961,090	
標準財政規模(千円)	9,377,356	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	28.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	478,577			
1 経常収益	477,869			
(1) 医業収益	195,082			
(うち修正医業収益)	195,082			
入院収益	75,602			
外来収益	96,116			
診療収入計	171,718			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	23,364			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	282,787			
(うち国・都道府県補助金)	3,037			
(うち他会計補助・負担金)	273,611			
(うち長期前受金戻入)	1,516			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	708			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	514,974			
2 経常費用	513,975			
(1) 医業費用	489,697			
職員給与費	171,360	87.8	59.4	87.7
材料費	35,188	18.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	16,187	8.3	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,001	9.7	11.8	5.9
減価償却費	16,439	8.4	8.7	12.7
経費	266,474	136.6	22.1	45.1
(うち委託料)	113,951	58.4	11.7	21.3
研究研修費	136			
資産減耗費	100			
(2) 医業外費用	24,278			
(うち支払利息)	498	0.3	1.0	1.0
(3) 特別損失	999			
損益	経常損益	-36,106		
	純損益	-36,397		
累積欠損金	364,423			
経常収支比率	93.0		103.3	101.7
医業収支比率	39.8		85.5	62.5
修正医業収支比率	39.8		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	57.3		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	140.3		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	57.2		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	39.7		91.9	67.5

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,519,316
1 固定資産	1,050,883
(1) 有形固定資産	1,050,672
(2) 無形固定資産	211
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	468,433
(1) 現金及び預金	201,491
(2) 未収金及び未収収益	252,809
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	14,133
3 繰延資産	-
負債合計	2,222,918
1 固定負債	453,063
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	453,063
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	697,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	171,097
(2) その他の企業債	6,153
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,343
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	370,000
(8) 未払金及び未払費用	91,539
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,072,723
(1) 長期前受金	2,912,528
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,839,805
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-703,602
1 資本金	160,776
2 剰余金	-864,378
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-864,378
負債・資本合計	1,519,316
不良債務	57,602
実質資金不足額	57,602
資本不足額(繰延収益控除後)( )	703,602
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	118,655	273,611
資本勘定繰入	18,433	18,433
計	137,088	292,044

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	57,602	5.4
令和3年度	52,534	4.8
令和2年度	118,848	11.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.0
健全化法上の資金不足額(千円)	19,785
健全化法上の資金不足比率(%)	1.8
地財法上の資金不足額(千円)	57,602
地財法上の資金不足比率(%)	5.3

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	士幌町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	5,166 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	6	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	48.0	73.8	72.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	48.0	73.8	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		54.6	47.6	49.9

人口(人)	5,848	
決算規模(千円)	8,016,603	
標準財政規模(千円)	4,414,526	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)	- - 7.1 -

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	796,926			
1 経常収益	796,926			
(1) 医業収益	356,518			
(うち修正医業収益)	356,518			
入院収益	153,322			
外来収益	141,871			
診療収入計	295,193			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	61,325			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	440,408			
(うち国・都道府県補助金)	12,550			
(うち他会計補助・負担金)	402,015			
(うち長期前受金戻入)	23,513			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	866,696			
2 経常費用	866,696			
(1) 医業費用	820,657			
職員給与費	508,310	142.6	59.4	76.5
材料費	56,358	15.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	24,042	6.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,708	6.6	11.8	6.4
減価償却費	77,766	21.8	8.7	11.5
経費	175,463	49.2	22.1	32.6
(うち委託料)	94,694	26.6	11.7	14.8
研究研修費	966			
資産減耗費	1,794			
(2) 医業外費用	46,039			
(うち支払利息)	9,085	2.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	91.9		103.3	101.5
医業収支比率	43.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	43.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	50.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	112.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	50.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	45.6		91.9	78.8

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	2,044,755
1 固定資産	1,857,415
(1) 有形固定資産	1,857,285
(2) 無形固定資産	130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	187,340
(1) 現金及び預金	108,666
(2) 未収金及び未収収益	72,588
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	5,670
3 繰延資産	-
負債合計	1,912,328
1 固定負債	748,370
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	748,370
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	181,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	92,500
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	48,985
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	40,384
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	982,089
(1) 長期前受金	1,158,237
(2) 長期前受金収益化累計額( )	176,148
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	132,427
1 資本	984,825
2 剰余金	-852,398
(1) 資本剰余金	196,870
(2) 利益剰余金	-1,049,268
負債・資本合計	2,044,755
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	402,015	402,015
資本勘定繰入	84,976	99,880
計	486,991	501,895

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

累積欠損金比率(%)	294.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	鹿追町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,233 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	その他
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	53.0	58.3	54.7
療養	20	40.7	45.4	53.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	48.1	53.1	54.3
平均在院日数(一般病床のみ)		28.0	28.9	42.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,266	
決算規模(千円)	7,598,928	
標準財政規模(千円)	4,136,813	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	81.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	594,269			
1 経常収益	594,193			
(1) 医業収益	382,229			
(うち修正医業収益)	344,238			
入院収益	136,065			
外来収益	177,880			
診療収入計	313,945			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	68,284			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	211,964			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	192,339			
(うち長期前受金戻入)	5,418			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	76			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	594,719			
2 経常費用	594,719			
(1) 医業費用	578,785			
職員給与費	370,612	97.0	59.4	76.5
材料費	59,682	15.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	32,948	8.6	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,734	7.0	11.8	6.4
減価償却費	43,030	11.3	8.7	11.5
経費	104,478	27.3	22.1	32.6
(うち委託料)	70,866	18.5	11.7	14.8
研究研修費	366			
資産減耗費	617			
(2) 医業外費用	15,934			
(うち支払利息)	1,246	0.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損	-526			
純損益	-450			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		103.3	101.5
医業収支比率	66.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	59.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	38.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	60.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	38.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	61.2		91.9	78.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	948,665
1 固定資産	566,232
(1) 有形固定資産	566,232
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	382,433
(1) 現金及び預金	332,936
(2) 未収金及び未収収益	47,998
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	1,499
3 繰延資産	-
負債合計	182,189
1 固定負債	55,408
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,408
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	71,222
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,807
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,386
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,029
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	55,559
(1) 長期前受金	197,468
(2) 長期前受金収益化累計額( )	141,909
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	766,476
1 資本金	742,942
2 剰余金	23,534
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	23,534
負債・資本合計	948,665
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	125,874	230,330
資本勘定繰入	-	1,613
計	125,874	231,943

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	芽室町				
病院名	国保芽室病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,497 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	120	68.6	46.2	50.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	68.6	46.2	50.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	14.7	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	18,048	
決算規模(千円)	12,881,822	
標準財政規模(千円)	7,525,269	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	87.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	58.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,732,251			
1 経常収益	2,732,251			
(1) 医業収益	1,617,968			
(うち修正医業収益)	1,529,454			
入院収益	812,806			
外来収益	598,273			
診療収入計	1,411,079			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	206,889			
(うち他会計負担金)	88,514			
(2) 医業外収益	1,114,283			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	341,569			
(うち長期前受金戻入)	84,932			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,206,152			
2 経常費用	2,206,152			
(1) 医業費用	2,149,759			
職員給与費	1,328,706	82.1	59.4	67.0
材料費	206,278	12.7	26.1	18.2
(うち薬品費)	95,241	5.9	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	94,225	5.8	11.8	9.4
減価償却費	116,301	7.2	8.7	10.2
経費	487,235	30.1	22.1	28.8
(うち委託料)	146,716	9.1	11.7	13.2
研究研修費	3,905			
資産減耗費	7,334			
(2) 医業外費用	56,393			
(うち支払利息)	5,007	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	526,099			
純損益	526,099			
累積欠損金	-			
経常収支比率	123.8		103.3	104.5
医業収支比率	75.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	71.1		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	26.6		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	104.4		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,146,733
1 固定資産	2,003,230
(1) 有形固定資産	2,003,230
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,143,503
(1) 現金及び預金	266,017
(2) 未収金及び未収収益	855,414
(3) 貸倒引当金( )	1,428
(4) 貯蔵品	23,500
3 繰延資産	-
負債合計	1,547,380
1 固定負債	400,654
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	400,654
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	320,345
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,535
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	90,537
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	177,782
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	826,381
(1) 長期前受金	2,208,575
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,382,194
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,599,353
1 資本金	482,954
2 剰余金	1,116,399
(1) 資本剰余金	1,090,628
(2) 利益剰余金	25,771
負債・資本合計	3,146,733
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	430,083	430,083
資本勘定繰入	52,248	54,101
計	482,331	484,184

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	大樹町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,057 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	75.0	76.7	79.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	75.0	76.7	79.1
平均在院日数(一般病床のみ)		44.4	36.7	41.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,420	
決算規模(千円)	8,843,447	
標準財政規模(千円)	4,428,719	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	17.4

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,018,820				
1 経常収益	1,018,820				
(1) 医業収益	580,655				
(うち修正医業収益)	489,808				
入院収益	233,700				
外来収益	208,232				
診療収入計	441,932				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	138,723				
(うち他会計負担金)	90,847				
(2) 医業外収益	438,165				
(うち国・都道府県補助金)	36,978				
(うち他会計補助・負担金)	326,564				
(うち長期前受金戻入)	67,294				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,072,710				
2 経常費用	1,072,710				
(1) 医業費用	1,052,808				
職員給与費	715,015	123.1	59.4	76.5	
材料費	121,177	20.9	26.1	14.9	
(うち薬品費)	71,850	12.4	14.0	7.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,094	6.6	11.8	6.4	
減価償却費	72,732	12.5	8.7	11.5	
経費	142,869	24.6	22.1	32.6	
(うち委託料)	63,033	10.9	11.7	14.8	
研究研修費	563				
資産減耗費	452				
(2) 医業外費用	19,902				
(うち支払利息)	50	-	1.0	1.3	
(3) 特別損失	-				
経常損失	-53,890				
純損失	-53,890				
累積欠損金	932,018				
経常収支比率	95.0		103.3	101.5	
医業収支比率	55.2		85.5	73.2	
修正医業収支比率	46.5		82.8	69.2	
他会計繰入金対経常収益比率	41.0		11.1	22.3	
他会計繰入金対医業収益比率	71.9		14.1	33.0	
他会計繰入金対総収益比率	41.0		11.0	22.3	
実質収益対経常費用比率	56.1		91.9	78.8	

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,667,687
1 固定資産	1,382,856
(1) 有形固定資産	1,378,966
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,890
2 流動資産	284,831
(1) 現金及び預金	160,499
(2) 未収金及び未収収益	114,992
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	9,340
3 繰延資産	-
負債合計	1,455,104
1 固定負債	641,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	641,139
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	117,141
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	39,770
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,032
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,339
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	696,824
(1) 長期前受金	1,075,693
(2) 長期前受金収益化累計額( )	378,869
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	212,583
1 資本金	1,143,894
2 剰余金	-931,311
(1) 資本剰余金	707
(2) 利益剰余金	-932,018
負債・資本合計	1,667,687
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	415,360	417,411
資本勘定繰入	23,867	47,733
計	439,227	465,144

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	160.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	広尾町		
病院名	広尾町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,387	
決算規模(千円)	7,707,403	
標準財政規模(千円)	4,781,090	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	87.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	25.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	118			
1 経常収益	118			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	118			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	118			
2 経常費用	118			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	118			
(うち支払利息)	118	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	池田町				
病院名	十勝いけだ地域医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,678 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	50.3	54.9	57.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	50.3	54.9	57.3
平均在院日数(一般病床のみ)		9.2	11.0	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	6,294	
決算規模(千円)	8,026,930	
標準財政規模(千円)	4,229,596	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	87.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	16.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	267,082			
1 経常収益	267,082			
(1) 医業収益	1,006			
(うち修正医業収益)	1,006			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,006			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	266,076			
(うち国・都道府県補助金)	1,500			
(うち他会計補助・負担金)	242,133			
(うち長期前受金戻入)	22,370			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	381,084			
2 経常費用	381,084			
(1) 医業費用	378,928			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	131,848	13106.2	8.7	11.5
経費	243,105	24165.5	22.1	32.6
(うち委託料)	1,222	121.5	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	3,975			
(2) 医業外費用	2,156			
(うち支払利息)	1,458	144.9	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-114,002			
純損失	-114,002			
累積欠損金	1,759,822			
経常収支比率	70.1		103.3	101.5
医業収支比率	0.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	0.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	90.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	24068.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	90.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	6.5		91.9	78.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,714,773
1 固定資産	1,426,605
(1) 有形固定資産	1,426,043
(2) 無形固定資産	562
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	288,168
(1) 現金及び預金	279,674
(2) 未収金及び未収収益	8,764
(3) 貸倒引当金( )	270
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,757,931
1 固定負債	1,032,818
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,022,795
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,023
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	122,802
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	122,074
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	528
(8) 未払金及び未払費用	528
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	602,311
(1) 長期前受金	861,453
(2) 長期前受金収益化累計額( )	259,142
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-43,158
1 資本金	1,710,564
2 剰余金	-1,753,722
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,753,722
負債・資本合計	1,714,773
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	43,158
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	241,473	242,133
資本勘定繰入	97,294	146,625
計	338,767	388,758

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	174932.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名
				北海道
市町村・組合名	本別町			
病院名	国保病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	5,554 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	10	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	59.4	64.8	74.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	59.4	64.8	74.5
平均在院日数(一般病床のみ)		34.8	30.6	37.9

項目	数値
人口(人)	6,618
決算規模(千円)	7,673,748
標準財政規模(千円)	4,270,410
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	83.6
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.5
将来負担比率(%)	26.1

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,151,300			
1 経常収益	1,151,300			
(1) 医業収益	850,196			
(うち修正医業収益)	611,196			
入院収益	312,826			
外来収益	259,739			
診療収入計	572,565			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	277,631			
(うち他会計負担金)	239,000			
(2) 医業外収益	301,104			
(うち国・都道府県補助金)	42,707			
(うち他会計補助・負担金)	215,015			
(うち長期前受金戻入)	22,578			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,170,806			
2 経常費用	1,170,806			
(1) 医業費用	1,125,722			
職員給与費	711,641	83.7	59.4	76.5
材料費	111,111	13.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	35,180	4.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	65,669	7.7	11.8	6.4
減価償却費	76,132	9.0	8.7	11.5
経費	222,673	26.2	22.1	32.6
(うち委託料)	78,940	9.3	11.7	14.8
研究研修費	1,483			
資産減耗費	2,682			
(2) 医業外費用	45,084			
(うち支払利息)	13,784	1.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-19,506			
純損失	-19,506			
累積欠損金	2,005,938			
経常収支比率	98.3		103.3	101.5
医業収支比率	75.5		85.5	73.2
修正医業収支比率	54.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	53.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	39.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	59.6		91.9	78.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	1,070,364
1 固定資産	893,102
(1) 有形固定資産	892,264
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	838
2 流動資産	177,262
(1) 現金及び預金	65,375
(2) 未収金及び未収収益	91,466
(3) 貸倒引当金( )	101
(4) 貯蔵品	17,119
(5) 繰延資産	-
負債合計	963,856
1 固定負債	575,678
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	548,078
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	27,600
2 流動負債	221,578
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	92,523
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	48,698
(6) リース債務	4,579
(7) 一時借入金	30,000
(8) 未払金及び未払費用	40,240
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	166,600
(1) 長期前受金	483,532
(2) 長期前受金収益化累計額( )	316,932
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	106,508
1 資本金	2,110,882
2 剰余金	-2,004,374
(1) 資本剰余金	1,564
(2) 利益剰余金	-2,005,938
負債・資本合計	1,070,364
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	452,663	454,015
資本勘定繰入	66,617	76,170
計	519,280	530,185

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

項目	数値
累積欠損金比率(%)	235.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名		足寄町			
病院名		国保病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,102 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	51.2	55.7	52.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	51.2	55.7	52.0
平均在院日数(一般病床のみ)		26.6	25.3	21.8

設立団体の状況		
人口(人)	6,563	
決算規模(千円)	9,710,684	
標準財政規模(千円)	5,764,822	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	987,716			
1 経常収益	987,716			
(1) 医業収益	652,594			
(うち修正医業収益)	479,423			
入院収益	211,569			
外来収益	224,674			
診療収入計	436,243			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	216,351			
(うち他会計負担金)	173,171			
(2) 医業外収益	335,122			
(うち国・都道府県補助金)	32,106			
(うち他会計補助・負担金)	254,875			
(うち長期前受金戻入)	19,726			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,057,009			
2 経常費用	1,057,009			
(1) 医業費用	1,020,922			
職員給与費	573,288	87.8	59.4	76.5
材料費	78,266	12.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	20,086	3.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,006	6.9	11.8	6.4
減価償却費	75,610	11.6	8.7	11.5
経費	290,033	44.4	22.1	32.6
(うち委託料)	66,912	10.3	11.7	14.8
研究研修費	1,192			
資産減耗費	2,533			
(2) 医業外費用	36,087			
(うち支払利息)	8,070	1.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	-69,293			
純損益	-69,293			
累積欠損金	2,495,624			
経常収支比率	93.4		103.3	101.5
医業収支比率	63.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	47.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	43.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	65.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	43.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	52.9		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,179,083
1 固定資産	989,811
(1) 有形固定資産	989,595
(2) 無形固定資産	216
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	189,272
(1) 現金及び預金	110,563
(2) 未収金及び未収収益	73,075
(3) 貸倒引当金( )	943
(4) 貯蔵品	6,577
(5) 繰延資産	-
負債合計	836,214
1 固定負債	506,983
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	506,983
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	170,869
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,317
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,079
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,290
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	158,362
(1) 長期前受金	458,800
(2) 長期前受金収益化累計額( )	300,438
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	342,869
1 資本金	2,838,493
2 剰余金	-2,495,624
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,495,624
負債・資本合計	1,179,083
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	427,943	428,046
資本勘定繰入	57,899	82,194
計	485,842	510,240

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	382.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	厚岸町				
病院名	厚岸病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,988 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	51.0	57.3	54.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	51.0	57.3	54.8
平均在院日数(一般病床のみ)		25.7	27.8	27.5

設立団体の状況		
人口(人)	8,892	
決算規模(千円)	11,422,507	
標準財政規模(千円)	5,470,051	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	82.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,318,440			
1 経常収益	1,318,440			
(1) 医業収益	787,398			
(うち修正医業収益)	659,006			
入院収益	240,994			
外来収益	308,031			
診療収入計	549,025			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	238,373			
(うち他会計負担金)	128,392			
(2) 医業外収益	531,042			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	400,576			
(うち長期前受金戻入)	84,134			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,297,285			
2 経常費用	1,297,285			
(1) 医業費用	1,232,416			
職員給与費	693,058	88.0	59.4	76.5
材料費	116,834	14.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	49,185	6.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,177	7.8	11.8	6.4
減価償却費	79,435	10.1	8.7	11.5
経費	335,689	42.6	22.1	32.6
(うち委託料)	100,404	12.8	11.7	14.8
研究研修費	1,941			
資産減耗費	5,459			
(2) 医業外費用	64,869			
(うち支払利息)	17,584	2.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	21,155			
純損益	21,155			
累積欠損金	631,432			
経常収支比率	101.6		103.3	101.5
医業収支比率	63.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	53.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	40.1		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	67.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	40.1		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	60.9		91.9	78.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,055,888
1 固定資産	1,906,002
(1) 有形固定資産	1,790,530
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	115,472
2 流動資産	149,886
(1) 現金及び預金	12,887
(2) 未収金及び未収収益	122,269
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	14,730
3 繰延資産	-
負債合計	2,631,228
1 固定負債	392,289
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	306,665
(2) その他の企業債	85,624
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	279,025
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	153,885
(2) その他の企業債	9,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,222
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	30,000
(8) 未払金及び未払費用	39,171
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,959,914
(1) 長期前受金	3,813,464
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,853,550
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-575,340
1 資本金	56,092
2 剰余金	-631,432
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-631,432
負債・資本合計	2,055,888
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	575,340
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	519,720	528,968
資本勘定繰入	98,478	151,032
計	618,198	680,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	80.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	60,878
地財法上の資金不足比率(%)	7.7

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	標茶町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,985 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	38.7	39.4	45.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	38.7	39.4	45.1
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	18.0	20.0

人口(人)	7,230	
決算規模(千円)	13,813,037	
標準財政規模(千円)	6,180,805	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	46.3

区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	1,208,185			
1 経常収益	1,208,185			
(1) 医業収益	696,848			
(うち修正医業収益)	521,525			
入院収益	240,854			
外来収益	197,658			
診療収入計	438,512			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	258,336			
(うち他会計負担金)	175,323			
(2) 医業外収益	511,337			
(うち国・都道府県補助金)	11,662			
(うち他会計補助・負担金)	488,650			
(うち長期前受金戻入)	7,720			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,202,055			
2 経常費用	1,202,055			
(1) 医業費用	1,155,000			
職員給与費	600,331	86.1	59.4	76.5
材料費	93,778	13.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	37,468	5.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,748	6.7	11.8	6.4
減価償却費	67,696	9.7	8.7	11.5
経費	380,590	54.6	22.1	32.6
(うち委託料)	97,516	14.0	11.7	14.8
研究研修費	1,509			
資産減耗費	11,096			
(2) 医業外費用	47,055			
(うち支払利息)	13,419	1.9	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	6,130			
純損益	6,130			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.5		103.3	101.5
医業収支比率	60.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	45.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	55.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	95.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	55.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	45.3		91.9	78.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	1,866,826
1 固定資産	1,561,000
(1) 有形固定資産	1,560,612
(2) 無形固定資産	388
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	305,826
(1) 現金及び預金	232,873
(2) 未収金及び未収収益	64,234
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	8,719
3 繰延資産	-
負債合計	669,688
1 固定負債	230,799
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	228,811
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	1,988
2 流動負債	278,848
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	109,440
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,188
(6) リース債務	1,322
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	121,662
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	160,041
(1) 長期前受金	208,350
(2) 長期前受金収益化累計額( )	48,309
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,197,138
1 資本金	1,187,701
2 剰余金	9,437
(1) 資本剰余金	3,307
(2) 利益剰余金	6,130
負債・資本合計	1,866,826
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	663,973	663,973
資本勘定繰入	102,904	102,904
計	766,877	766,877

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 北海道	
市町村・組合名	別海町				
病院名	別海病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 未 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,565 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	84	63.6	70.0	72.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	63.6	70.0	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)		23.3	20.7	20.0

設立団体の状況		
人口(人)	14,380	
決算規模(千円)	28,412,400	
標準財政規模(千円)	9,734,296	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	31.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,285,950			
1 経常収益	2,285,950			
(1) 医業収益	1,422,241			
(うち修正医業収益)	1,382,496			
入院収益	601,999			
外来収益	596,619			
診療収入計	1,198,618			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	223,623			
(うち他会計負担金)	39,745			
(2) 医業外収益	863,709			
(うち国・都道府県補助金)	70,982			
(うち他会計補助・負担金)	718,250			
(うち長期前受金戻入)	63,206			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,374,344			
2 経常費用	2,374,344			
(1) 医業費用	2,268,130			
職員給与費	1,082,027	76.1	59.4	76.5
材料費	288,789	20.3	26.1	14.9
(うち薬品費)	147,680	10.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	141,109	9.9	11.8	6.4
減価償却費	219,260	15.4	8.7	11.5
経費	670,992	47.2	22.1	32.6
(うち委託料)	406,487	28.6	11.7	14.8
研究研修費	3,323			
資産減耗費	3,739			
(2) 医業外費用	106,214			
(うち支払利息)	22,857	1.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-88,394			
純損失	-88,394			
累積欠損金	2,554,371			
経常収支比率	96.3		103.3	101.5
医業収支比率	62.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	61.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	33.2		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	53.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	33.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	64.4		91.9	78.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,117,844
1 固定資産	2,766,235
(1) 有形固定資産	2,766,235
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	351,609
(1) 現金及び預金	103,765
(2) 未収金及び未収収益	235,151
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	12,693
3 繰延資産	-
負債合計	2,778,629
1 固定負債	1,429,881
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,408,781
(2) その他の企業債	21,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	336,418
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	150,501
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	67,960
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	117,495
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,012,330
(1) 長期前受金	2,027,603
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,015,273
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	339,215
1 資本金	2,893,586
2 剰余金	-2,554,371
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,554,371
負債・資本合計	3,117,844
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	757,995	757,995
資本勘定繰入	88,128	88,128
計	846,123	846,123

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	179.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	中標津町		
病院名	中標津病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	16,710 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	15	指定病院の状況	救へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	173	62.3	56.4	52.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	173	62.3	56.4	50.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	13.7	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	23,010	
決算規模(千円)	16,745,332	
標準財政規模(千円)	8,784,912	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	72.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,085,535			
1 経常収益	5,085,535			
(1) 医業収益	3,720,595			
(うち修正医業収益)	3,443,416			
入院収益	1,721,307			
外来収益	1,513,663			
診療収入計	3,234,970			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	485,625			
(うち他会計負担金)	277,179			
(2) 医業外収益	1,364,940			
(うち国・都道府県補助金)	566,479			
(うち他会計補助・負担金)	680,049			
(うち長期前受金戻入)	82,324			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,632,719			
2 経常費用	4,630,757			
(1) 医業費用	4,365,601			
職員給与費	1,907,029	51.3	59.4	67.0
材料費	791,127	21.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	267,919	7.2	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	523,208	14.1	11.8	9.4
減価償却費	201,899	5.4	8.7	10.2
経費	1,434,241	38.5	22.1	28.8
(うち委託料)	524,550	14.1	11.7	13.2
研究研修費	6,223			
資産減耗費	25,082			
(2) 医業外費用	265,156			
(うち支払利息)	41,016	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,962			
経常損	454,778			
純損	452,816			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.8		103.3	104.5
医業収支比率	85.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	78.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	25.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	18.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	89.1		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,391,453
1 固定資産	3,486,468
(1) 有形固定資産	3,466,671
(2) 無形固定資産	19,797
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	904,985
(1) 現金及び預金	10,152
(2) 未収金及び未収収益	842,516
(3) 貸倒引当金( )	1,000
(4) 貯蔵品	53,317
3 繰延資産	-
負債合計	3,261,528
1 固定負債	1,944,561
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,668,676
(2) その他の企業債	270,743
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,142
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	679,916
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	342,063
(2) その他の企業債	23,543
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	122,532
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	156,982
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	637,051
(1) 長期前受金	1,231,899
(2) 長期前受金収益化累計額( )	594,848
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,129,925
1 資本金	677,109
2 剰余金	452,816
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	452,816
負債・資本合計	4,391,453
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	892,633	957,228
資本勘定繰入	213,872	213,872
計	1,106,505	1,171,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	271,127	8.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				北海道	
市町村・組合名	標津町				
病院名	標津町国民健康保険標津病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,686 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	35	44.7	54.3	48.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	44.7	54.3	48.0
平均在院日数(一般病床のみ)		33.0	45.9	34.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,023	
決算規模(千円)	6,823,643	
標準財政規模(千円)	4,168,010	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	74.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	1,031,721			
1 経常収益	1,031,721			
(1) 医業収益	362,769			
(うち修正医業収益)	362,769			
入院収益	112,459			
外来収益	185,772			
診療収入計	298,231			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	64,538			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	668,952			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	657,483			
(うち長期前受金戻入)	9,797			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,008,847			
2 経常費用	1,008,847			
(1) 医業費用	990,703			
職員給与費	616,178	169.9	59.4	87.7
材料費	55,066	15.2	26.1	13.6
(うち薬品費)	36,297	10.0	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,769	5.2	11.8	5.9
減価償却費	66,819	18.4	8.7	12.7
経費	208,241	57.4	22.1	45.1
(うち委託料)	53,323	14.7	11.7	21.3
研究研修費	39,583			
資産減耗費	4,816			
(2) 医業外費用	18,144			
(うち支払利息)	3,319	0.9	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	22,874			
純損益	22,874			
累積欠損金	707,701			
経常収支比率	102.3		103.3	101.7
医業収支比率	36.6		85.5	62.5
修正医業収支比率	36.6		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	63.7		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	181.2		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	63.7		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	37.1		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,037,432
1 固定資産	720,115
(1) 有形固定資産	719,759
(2) 無形固定資産	356
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	317,317
(1) 現金及び預金	191,162
(2) 未収金及び未収収益	115,710
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	10,445
3 繰延資産	-
負債合計	309,836
1 固定負債	196,279
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	194,937
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	1,342
2 流動負債	107,310
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,563
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,149
(6) リース債務	673
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,445
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,247
(1) 長期前受金	64,915
(2) 長期前受金収益化累計額( )	58,668
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	727,596
1 資本金	1,132,782
2 剰余金	-405,186
(1) 資本剰余金	302,515
(2) 利益剰余金	-707,701
負債・資本合計	1,037,432
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	657,483	657,483
資本勘定繰入	9,002	14,597
計	666,485	672,080

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	195.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	広域紋別病院企業団		
病院名	広域紋別病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,584 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感へ災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	148	48.2	45.8	49.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	28.1	-	-
計	150	47.9	45.2	48.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	11.0	12.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,013,480			
1 経常収益	4,003,659			
(1) 医業収益	2,173,292			
(うち修正医業収益)	2,094,300			
入院収益	988,018			
外来収益	1,040,129			
診療収入計	2,028,147			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	145,145			
(うち他会計負担金)	78,992			
(2) 医業外収益	1,830,367			
(うち国・都道府県補助金)	284,976			
(うち他会計補助・負担金)	1,261,627			
(うち長期前受金戻入)	255,953			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,821			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,022,530			
2 経常費用	4,000,505			
(1) 医業費用	3,860,472			
職員給与費	1,927,680	88.7	59.4	67.0
材料費	501,376	23.1	26.1	18.2
(うち薬品費)	223,404	10.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	277,864	12.8	11.8	9.4
減価償却費	448,214	20.6	8.7	10.2
経費	967,483	44.5	22.1	28.8
(うち委託料)	262,619	12.1	11.7	13.2
研究研修費	9,302			
資産減耗費	6,417			
(2) 医業外費用	140,033			
(うち支払利息)	263	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	22,025			
経常損益	3,154			
純損益	-9,050			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		103.3	104.5
医業収支比率	56.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	54.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	33.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	61.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	33.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	66.6		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,568,879
1 固定資産	7,517,041
(1) 有形固定資産	5,259,657
(2) 無形固定資産	710
(3) 投資その他の資産	2,256,674
2 流動資産	1,051,838
(1) 現金及び預金	231,198
(2) 未収金及び未収収益	791,229
(3) 貸倒引当金( )	909
(4) 貯蔵品	30,263
3 繰延資産	-
負債合計	8,064,352
1 固定負債	5,568,963
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,982,692
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	443,015
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	296,393
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	615,803
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	204,524
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	125,103
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	88,261
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	196,981
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,879,586
(1) 長期前受金	3,786,432
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,906,846
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	504,527
1 資本金	469
2 剰余金	504,058
(1) 資本剰余金	266,673
(2) 利益剰余金	237,385
負債・資本合計	8,568,879
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	444,062	1,340,619
資本勘定繰入	186,838	78,800
計	630,900	1,419,419

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		北海道	
市町村・組合名	利尻島国民健康保険病院組合		
病院名	利尻島国保中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,659 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	42	30.0	21.8	25.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	30.0	21.8	25.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	10.0	13.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,040,968			
1 経常収益	1,039,023			
(1) 医業収益	427,608			
(うち修正医業収益)	369,390			
入院収益	132,777			
外来収益	197,017			
診療収入計	329,794			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	97,814			
(うち他会計負担金)	58,218			
(2) 医業外収益	611,415			
(うち国・都道府県補助金)	521,403			
(うち他会計補助・負担金)	44,960			
(うち長期前受金戻入)	35,082			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,945			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,074,478			
2 経常費用	944,535			
(1) 医業費用	895,108			
職員給与費	516,911	120.9	59.4	87.7
材料費	65,307	15.3	26.1	13.6
(うち薬品費)	50,244	11.8	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,972	2.1	11.8	5.9
減価償却費	88,132	20.6	8.7	12.7
経費	222,950	52.1	22.1	45.1
(うち委託料)	94,614	22.1	11.7	21.3
研究研修費	1,359			
資産減耗費	449			
(2) 医業外費用	49,427			
(うち支払利息)	1,289	0.3	1.0	1.0
(3) 特別損失	129,943			
経常損益	94,488			
純損益	-33,510			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.0		103.3	101.7
医業収支比率	47.8		85.5	62.5
修正医業収支比率	41.3		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	24.1		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	9.9		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	99.1		91.9	67.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,124,839
1 固定資産	1,275,069
(1) 有形固定資産	1,267,523
(2) 無形固定資産	546
(3) 投資その他の資産	7,000
2 流動資産	849,770
(1) 現金及び預金	302,654
(2) 未収金及び未収収益	469,568
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	66,922
3 繰延資産	-
負債合計	1,057,423
1 固定負債	81,705
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,137
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	7,568
2 流動負債	250,585
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,426
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,888
(6) リース債務	19,279
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	185,227
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	725,133
(1) 長期前受金	1,158,519
(2) 長期前受金収益化累計額( )	433,386
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,067,416
1 資本金	738,323
2 剰余金	329,093
(1) 資本剰余金	970
(2) 利益剰余金	328,123
負債・資本合計	2,124,839
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	101,937	103,178
資本勘定繰入	7,088	9,088
計	109,025	112,266

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。